

千葉市文化芸術振興計画策定に関わる
市民意識調査報告書

令和5年3月

千葉市

目次

1. 調査の概要	1
1. 1 調査の目的	1
1. 2 調査の実施方法.....	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査時期・調査方法.....	1
2. 意識調査	2
2. 1 設問内容	2
2. 2 本報告書における表及び図表の見方.....	2
2. 3 回収結果	3
3. 集計結果	4
3. 1 調査のまとめ.....	4
3. 2 市民意識調査.....	7
3. 3 文化芸術団体調査.....	35
3. 4 若者調査	55
3. 5 アーティスト調査.....	79
参考1 同一・類似項目に対する属性別の回答結果.....	91
参考2 設問内容	103
(1) 市民調査	103
(2) 文化芸術団体調査.....	106
(3) 若者調査	108
(4) アーティスト調査.....	111

1. 調査の概要

1. 1 調査の目的

市民の文化・芸術及び文化施設等に係る関心や期待、利用実態等を把握し、千葉市の次期文化芸術振興計画の施策の体系（骨子案）検討の基礎資料とすることを目的として市民意識調査を実施した。

1. 2 調査の実施方法

(1) 調査対象

本調査においては、千葉市における文化・芸術施策に関する実態・意見等を幅広く得るため、4種の調査を実施した。

【市民調査】

千葉市在住の20歳以上の市民（住民基本台帳から無作為抽出）2,000人

【文化芸術団体調査】

千葉市内を拠点として活動する芸術・文化団体20団体

【若者調査】

千葉市内の中学校（4校）・高等学校（2校）・大学（12校）

【アーティスト調査】

千葉市にゆかりのあるアーティスト 59人

(2) 調査時期・調査方法

本調査の調査時期・調査方法は以下の通り。

【市民調査】

調査時期：令和4年10月31日～令和4年11月25日

調査方法：調査票を郵送し、以下のいずれかにて回答回収

- ①回答結果を郵送 ②ちば電子申請サービスにてWeb回答

【文化芸術団体調査】

調査時期：令和4年10月31日～令和4年11月25日

調査方法：調査票を郵送し、郵送にて回答回収

【若者調査】

調査時期：令和4年10月～令和4年12月

調査方法：千葉市文化振興課より学校を通じて調査依頼し、回答回収

中学…各学校にて回答回収

高等学校・大学…ちば電子申請サービスにてWeb回答

【アーティスト調査】

調査時期：令和4年12月

調査方法：千葉市文化振興課にて千葉市にゆかりのあるアーティストを抽出・調査依頼し、ちば電子申請サービスにてWeb回答

表 1 調査の概要

	対象者	実施時期	形式
市民調査	千葉市在住の 20 歳以上の市民（住民基本台帳から無作為抽出）2000 人	R4 年 10 月～11 月	紙・WEB
文化芸術団体調査	千葉市内を拠点として活動する芸術・文化団体 20 団体	R4 年 10 月～11 月	紙
若者調査	千葉市内の中・高・大 中学校 4 校 高等学校 2 校 大学 1 2 校	R4 年 10 月～12 月	紙・WEB
アーティスト調査	千葉市内にゆかりのあるアーティスト 59 人	R4 年 12 月	WEB

2. 意識調査

2. 1 設問内容

各調査における調査項目と質問内容、選択肢は参考 2 に示す。

2. 2 本報告書における表及び図表の見方

- ① 図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- ② 集計は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表示しているため、比率の合計が 100.0% とならない場合がある。
- ③ 複数回答を求めた設問では 設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が 100.0% を超えることがある。
- ④ 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- ⑤ 本文中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。

2. 3 回収結果

得られた回答数及び回収率を以下に示す。

表 2 アンケート回答数

	対象者	実施時期	形式	回答数 (回収率)
市民調査	千葉市在住の 20 歳以上の 市民（住民基本台帳から無 作為抽出）2000 人	R4 年 11 月	紙・WEB	633 (31.7%)
文化芸術団 体調査	千葉市内を拠点として活動 する芸術・文化団体 20 団 体	R4 年 11 月	紙	13 (65.0%)
若者調査	千葉市内の中・高・大 中学校 4 校 高校 2 校 大学 1 2 校	R4 年 10 月～12 月	紙・WEB	657
アーティスト 調査	千葉市内にゆかりのあるア ーティスト 59 人	R4 年 12 月	WEB	13 (22.0%)

3. 集計結果

3. 1 調査のまとめ

市民意識（市民・文化芸術団体・若者・アーティスト）調査結果より、以下について明らかとなった。

①文化芸術振興のために重点をおくべきこと

- ・「千葉市が文化的なまちだと思うか」は、前回調査時の 28.5%より 6.2 ポイント上昇し、34.7%まで上昇したものの、3分の1程度に留まっている（参照 28 頁・図 22、図 23）。「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」は、市民、文化芸術団体及び若者に共通して、気軽に文化芸術を楽しむ催しの充実を求める人が多い（参照 34 頁・図 29、53 頁・図 49、78 頁・図 72）。
- ・「文化芸術の鑑賞・体験機会の充足度」の肯定層は、49.9%である（参照 17 頁・図 11）。「文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題」は、市民は情報を入手しにくいと感じている人が多く、若者は鑑賞・体験したいものがないと感じている人が多い（参照 18 頁・図 12、63 頁・図 57）。
- ・「文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること」としては、市民は現地で鑑賞・体験する機会や鑑賞・体験する機会の情報発信を期待し（参照 19 頁・図 13）、若者は、参加費の安い（無料）鑑賞・体験機会の増加を期待している（参照 64 頁・図 58）。
- ・「市民参加を活性化する取り組み」について、現在行っているや今後行っていくと回答した文化芸術団体は 61.6%である（参照 48 頁・図 44）。その具体的な内容は、市民が楽しめる分かりやすい内容となるような公演内容の工夫やワークショップや体験会の開催等が挙げられた。
- ・「今後実施したい広報活動」は、文化芸術団体は市政だよりも 84.6%で一番多いものの、ホームページや SNS は前回調査時の 38.5%から 15.3 ポイント上昇し、53.8%となった（参照 45 頁・図 41）。
- ・アーティストの求める「市に行ってほしいアーティスト支援」は、活動費の補助が最も高いが、次いで発表・展示の場の提供である（参照 83 頁・図 78）。
- ・若者の「文化芸術の学習で期待すること」は、現地に行き、コンサートや展示などを直接鑑賞する機会が一番多い（参照 65 頁・図 59）。

②主体的な文化芸術活動を進めるために重要なこと

- ・市民の「文化芸術に今後どのように取り組んでいきたいか」は、趣味の範囲で活動していきたいといった能動的な回答が 33.6%あった（参照 15 頁・図 9）。
- ・市民が「活動する上で千葉市に望むこと」は、身近な教室や講座が欲しいや同じ趣味を持つ人と交流を図りたいが多い（参照 14 頁・図 8）。文化芸術団体は、「活動する上での課題」を、文化活動を行う人の発掘が不足していると把握している（参照 43 頁・図 39）。アーティストは「市に行ってほしい支援」として、活動費の補助を求めている（参照 83 頁、図 78）。
- ・文化芸術団体は、「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実や市民の文化芸術活動場所の充実と考えている（参照 53 頁・図 49）。
- ・「子どもや若者が加入する取り組み、育成する取り組み」は、文化芸術団体の半数以上の 53.8%が行っていると回答している（参照 49 頁・図 45）。具体的な取り組みは、地域の子どものために練習の機会を設けている、ワークショップの実施等である。

③アーティストの育成・支援・活用について

- ・「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、文化芸術団体 38.5%が子ども達の文化芸術体験の充実と回答している（参照 53 頁・図 49）。アーティストの半数以上 53.8%は、若手アーティストや作家の育成支援と回答している（参照 90 頁・図 83）。
- ・「若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援」として発表の場の提供と回答したのは、市民の 49.8%で 1 位（参照 27 頁・図 21）、若者も 41.1%で 1 位である（参照 72 頁・図 66）。
- ・「若手アーティスト活躍のためにできること」として、市民は、コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入が 59.2%で一番多い（参照 26 頁・図 20）。若者の回答は、SNS 等での周知が 49.0%で一番多い（参照 71 頁・図 65）。
- ・「市に行ってほしいアーティスト支援」として、アーティストは、活動費の補助や発表・展示場所の提供を望んでいる（参照 83 頁・図 78）。
- ・「市ゆかりのアーティストの活躍」は、市民の 83.9%が感じられない、と回答している（参照 24 頁・図 18）。
- ・「市ゆかりのアーティストへの期待」の内容は、市民は、活躍した分野の認知度の向上と参加者の増や千葉市の知名度向上が 29.9%で 1 位である（参照 25 頁・図 19）。若者は、市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増が 38.7%で 1 位である（参照 70 頁・図 64）。

④文化芸術に求めるもの

- ・「文化芸術が市に与える効果として期待するもの」として、観光資源として市外からの来訪者増と回答したのは、市民は 33.0%で 1 位（参照 31 頁・図 26）、若者は 28.3%で 2 位（参照 76 頁・図 70）、アーティストは 23.1%で 2 位である（参照 87 頁・図 80）。
- ・「重点的に連携すべき分野」の回答の 1 位と 2 位は、市民は経済 53.4%、自然 40.9%である（参照 33 頁・図 28）。文化芸術団体は、子ども 76.9%、経済 23.1%、歴史 23.1%、福祉 23.1%である（参照 52 頁・図 48）。若者は、経済 70.0%、スポーツ 44.6%である（参照 77 頁・図 71）。アーティストは、経済 46.2%、歴史 38.5%である（参照 89 頁・図 82）。
- ・「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催と回答したのは、市民は 36.2%で 3 位（参照 34 頁・図 29）、若者は 21.8%で 2 位である（参照 78 頁・図 72）。

⑤千葉市にとっての文化芸術とは

- ・「文化芸術に千葉市らしさを感じられるか」は、市民の 75%が否定層である（参照 29 頁・図 24）。
- ・「文化芸術が市に与える効果として期待するもの」として千葉市らしさの創出と回答したのは、市民は 25.6%で 2 位（参照 31 頁・図 26）、若者は 38.5%で 1 位である（参照 76 頁・図 70）。
- ・「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催と回答したのは、市民は 30.2%で 3 位（参照 34 頁・図 29）、若者は 21.8%で 3 位である（参照 78 頁・図 72）。アーティストは、新しい文化芸術への取り組み・支援と回答したのは、30.8%で 3 位である（参照 90 頁・図 83）。
- ・「歴史的な文化財の活用について」として、市民は歴史的に価値のあるものを鑑賞したり触れたり

する機会を創出するために活用の回答が 31.3%で1位、歴史等を学び、継承してくために活用が 27.6%で2位である（参照 32 頁・図 27）。

・「千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの」について、市民は歴史・文化財と回答したのは 45.5%で2位である（参照 30 頁・図 25）。

・「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として歴史と回答したのは、市民は 33.3%で3位（参照 33 頁・図 28）、アーティストは 38.5%で2位である（参照 89 頁・図 82）。

3. 2 市民意識調査

(1) 基本属性

属性 1. 年代 (SA)

「60代」の回答が20.2%と最も多く、次いで「40代」(17.9%)、「70代以上」(17.5%)、「50代」(17.4%)の回答が多かった。

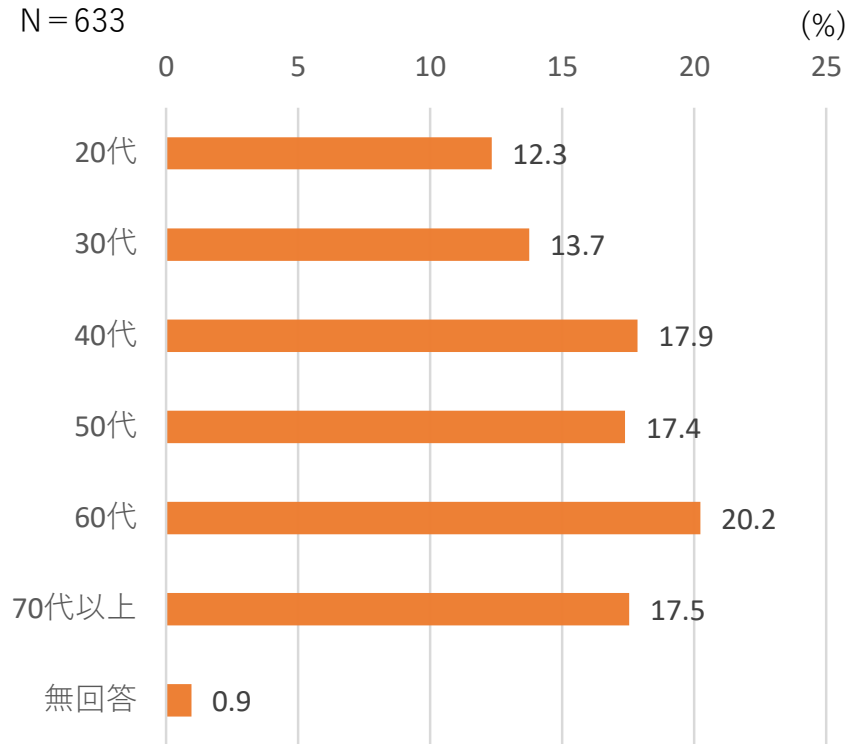


図 1 年代

属性 2. 主な滞在場所 (SA)

「千葉市内」の回答が 72.4%と最も多く、次いで「千葉県内（千葉市除く）」(11.8%)、「東京都」(11.2%)であった。

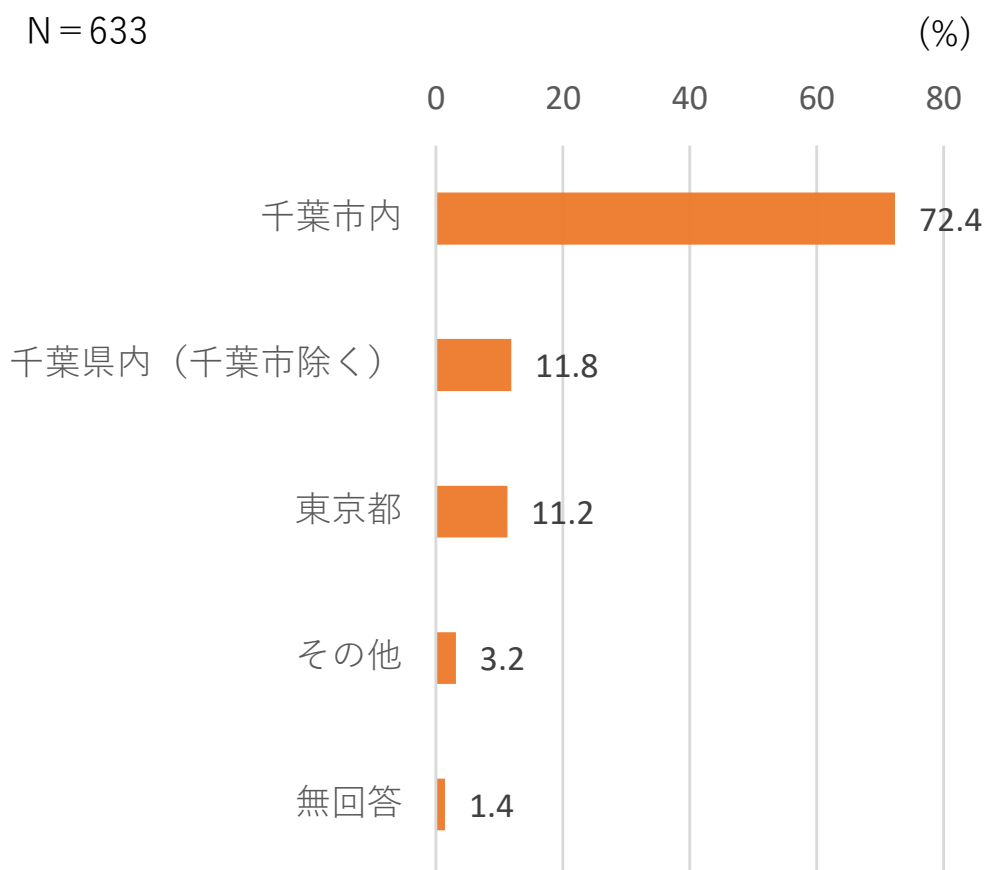


図 2 主な滞在場所

「その他」の主な内容		
千葉県・東京都以外	3	埼玉県さいたま市 (n=2) / 茨城県土浦市 (n=1)

1. 主に鑑賞する文化芸術（MA・3つまで）

「音楽」の回答が66.2%と最も多く、次いで「メディア芸術」の回答が61.0%であった。「美術」（37.1%）、「歴史・文化財」（23.2%）、「芸能」（19.4%）と続くが、「音楽」及び「メディア芸術」の2つが、他の分野に比べて関心が高いことがみてとれる。

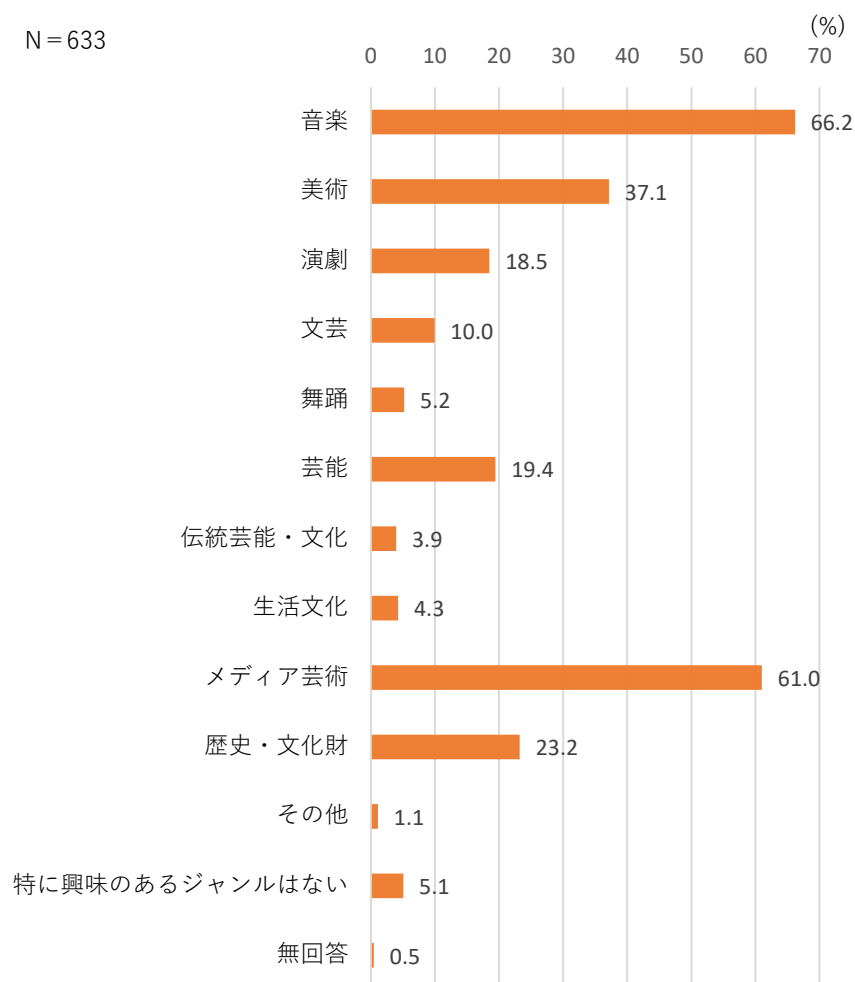


図 3 主に鑑賞する文化芸術

「その他」の主な内容		
劇	3	宝塚歌劇 (n=1) / 時代劇 (桃太郎侍) (n=1) / 朗読劇 (n=1)
運動	2	スポーツ (n=1) / 剣道 (n=1)
その他	3	将棋 (n=1) / 映画 (n=1) / 料理 (n=1)

<前回調査（平成 26 年）結果との比較>

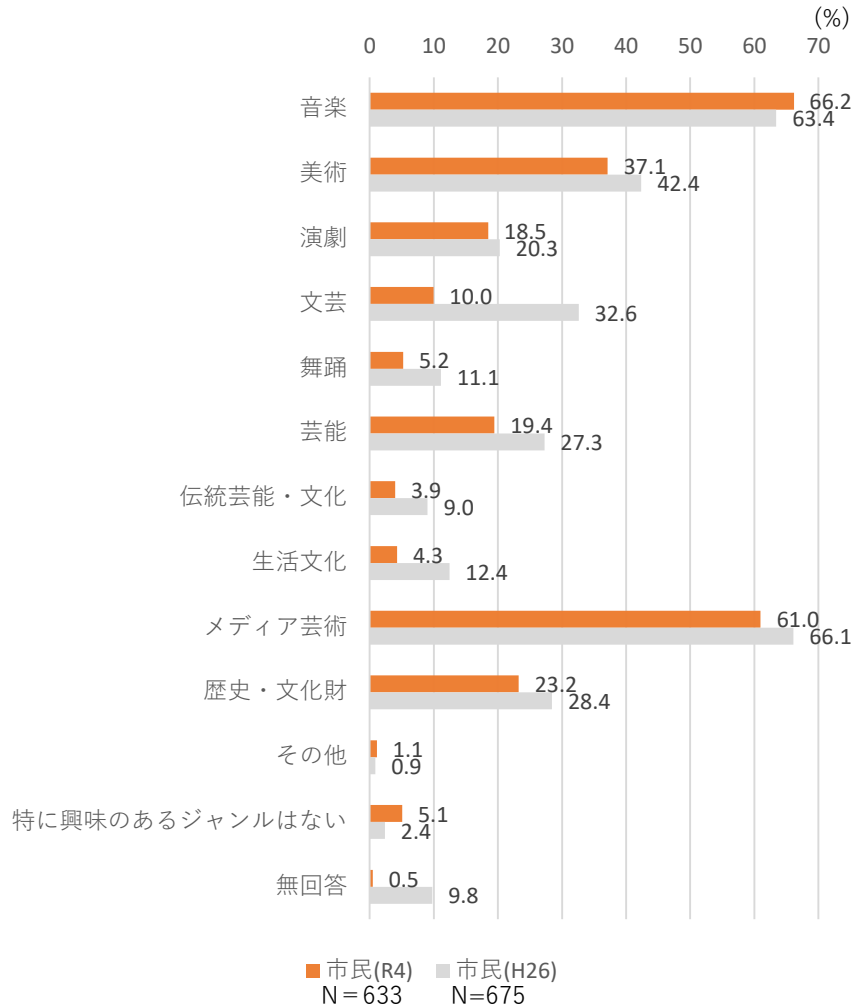


図 4 主に鑑賞する文化芸術（前回調査結果との比較）

前回は、「メディア芸術」が 66.1%、次いで「音楽」が 63.4%であり、一位と二位が逆転しているものの、この2つの分野が今回と同様に、特に高くなっており、同傾向を示している。

2. 今後鑑賞したいと思う文化芸術（MA・3つまで）

選択行動としての「主に鑑賞する文化芸術」は、「音楽」と「メディア芸術」が高かったが、「今後鑑賞したいと思う文化芸術」は、「音楽」（42.0%）、「美術」（37.3%）、「演劇」（37.0%）、「メディア芸術」（31.8%）の順であり、32%～42%の間に上位4つの分野が占める。潜在的には、「音楽」や「メディア芸術」と同様に、「美術」や「演劇」への関心があることを示している。

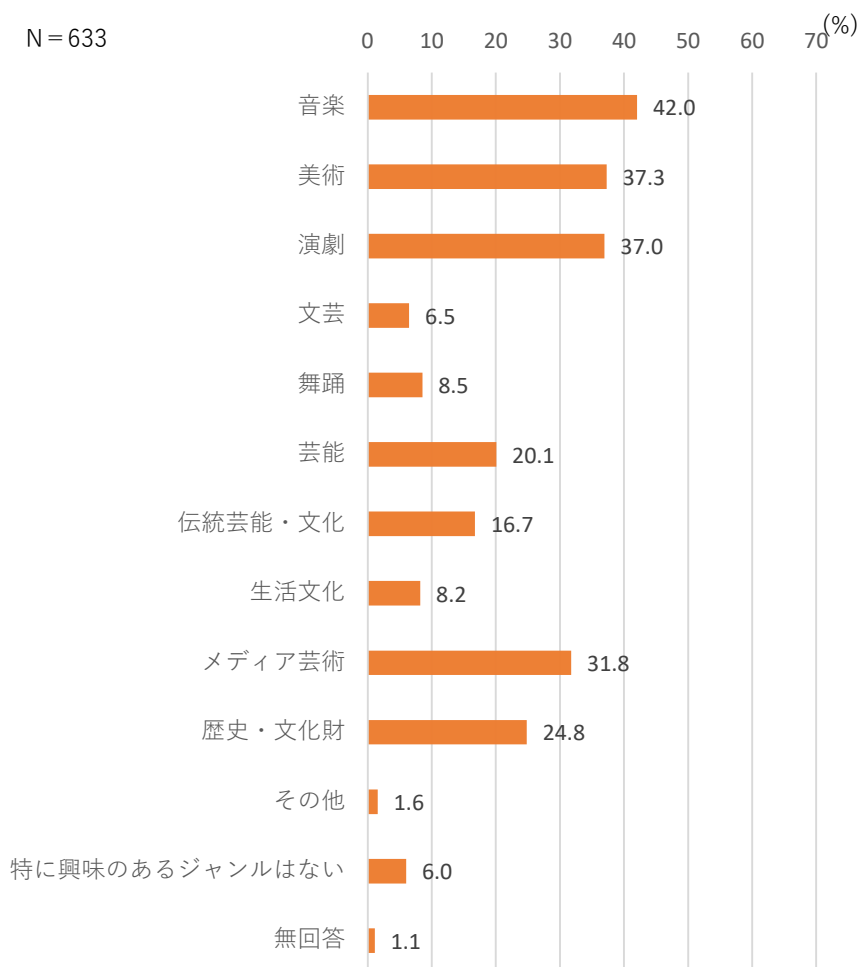


図 5 今後鑑賞したいと思う文化芸術

「その他」の主な内容		
劇	3	宝塚歌劇 (n=1) / 剣劇 (n=1) / 朗読劇 (n=1)
運動	4	スポーツ (n=2) / 剣道 (n=1) / ダンス (n=1)
その他	2	イベント (n=2)

3. 今活動（創作含む）を楽しんでいる文化芸術（MA・3つまで）

今活動（創作含む）を楽しんでいる文化芸術は、「音楽」（29.2%）、「メディア芸術」（27.8%）、「美術」（24.2%）の順である。活動を楽しんでいる分野について、鑑賞もしている傾向がみてとれる。一方、「特に興味のあるジャンルはない」の回答も24%あった。

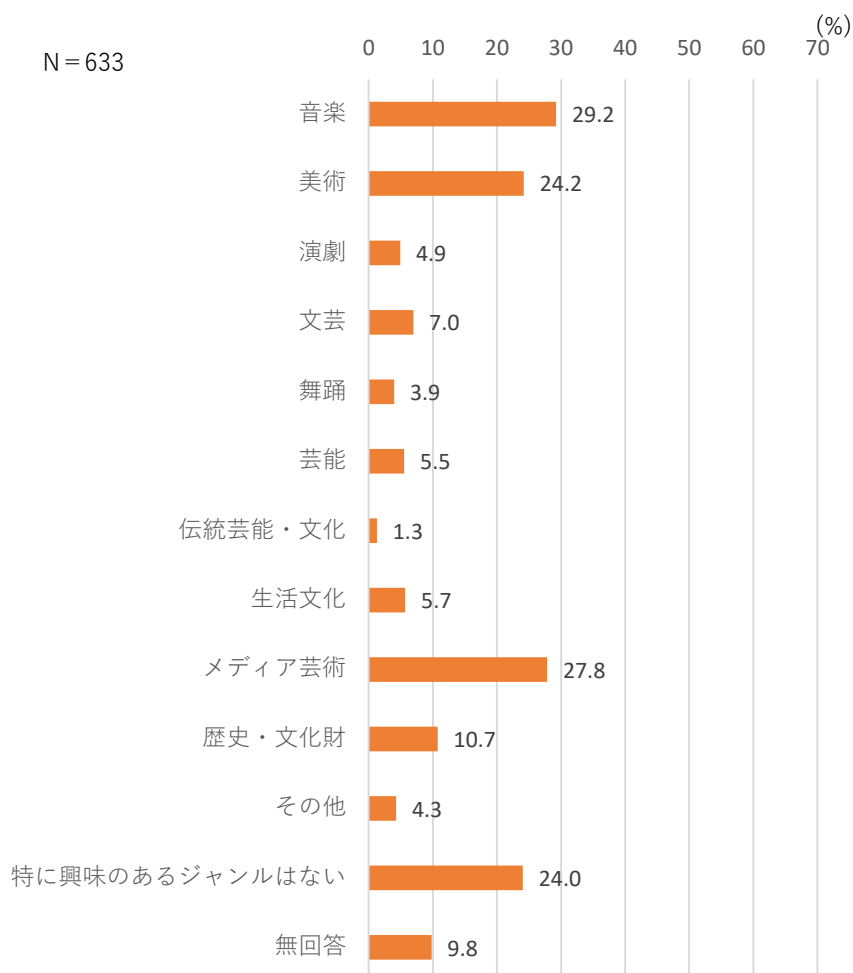


図 6 今活動（創作含む）を楽しんでいる文化芸術

「その他」の主な内容		
劇	2	大衆演劇 (n=1) / 朗読劇 (n=1)
運動	6	散策 (n=3) / フラダンス (n=1) / 剣道 (n=1) / ピラティス (n=1)
その他	13	興味はあるが楽しんでいるものがない・余裕がない等 (n=4) / 手芸 (n=2) / 釣竿作り (n=1) / ブログ (n=1) / 料理 (n=1) / 着物の着付 (n=1) / ネットのドラマ (n=1) / 折り紙 (n=1) / ボードゲーム (n=1)

4. 今後活動（創作含む）を楽しんでみたい文化芸術（MA・3つまで）

今後活動（創作含む）を楽しんでみたい文化芸術は、「美術」（29.9%）、「音楽」（29.2%）、「メディア芸術」（23.9%）の順である。今活動を楽しんでいる文化芸術の「音楽」、「美術」の順序が入れ替わったものの、同傾向と言える。「メディア芸術」では、今活動を楽しんでいる文化芸術よりも3.9ポイント減少しているものの、それ以外の分野では、今後楽しみたい方でポイントが増加している。

「特に興味のあるジャンルはない」の回答も5.8ポイント減少しており、今は活動していないが、今後活動を楽しみたいという潜在的傾向がみてとれる。

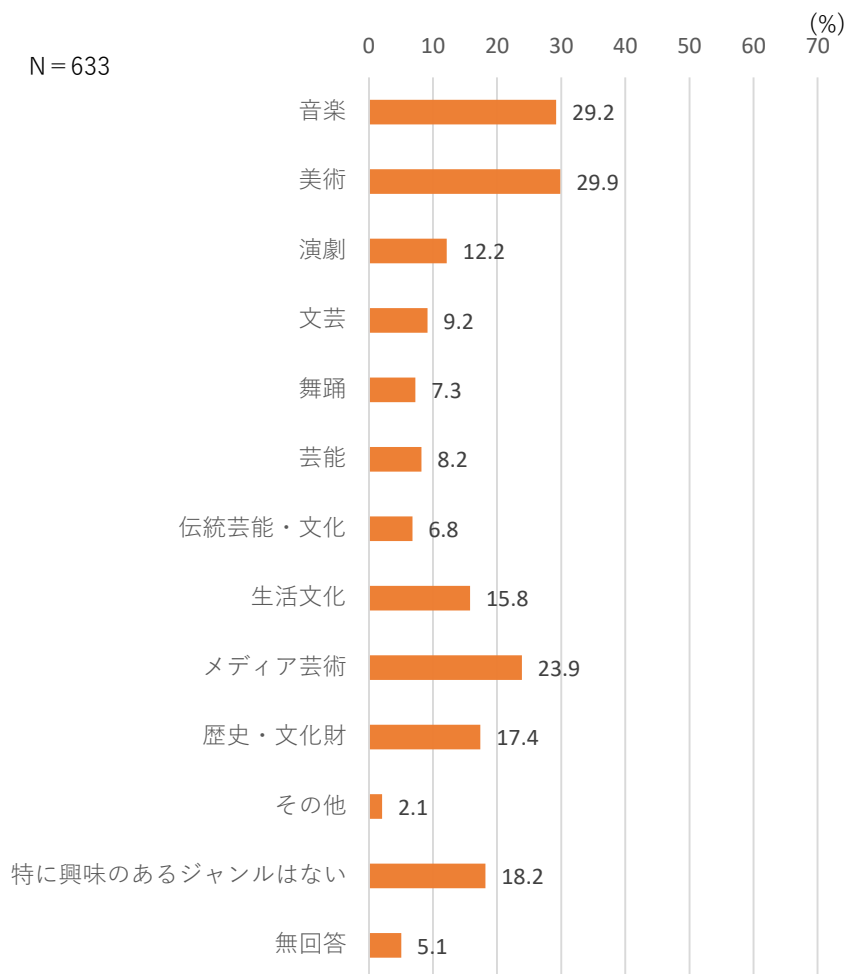


図 7 今後活動（創作含む）を楽しんでみたい文化芸術

「その他」の主な内容		
劇	1	朗読劇 (n=1)
運動	4	ヨガ (n=1) / 太極拳・気功など (n=1) / 剣道 (n=1) / ダンス (n=1)
その他	3	折り紙 (n=1) / ボードゲーム (n=1) / 国語研究 (n=1)

5. 今活動（創作含む）を楽しんでいる文化芸術に関して活動する上で望むこと（MA・3つまで）

今活動（創作含む）を楽しんでいる文化芸術に関して活動する上で望むことは、「身近に教室や講座が欲しい」が47.7%と最も高く、次いで「同じ趣味を持つ人と交流を図りたい」（43.7%）である。身近な場所で行える文化芸術活動、交流の場を求めている人が多いことがみてとれる。

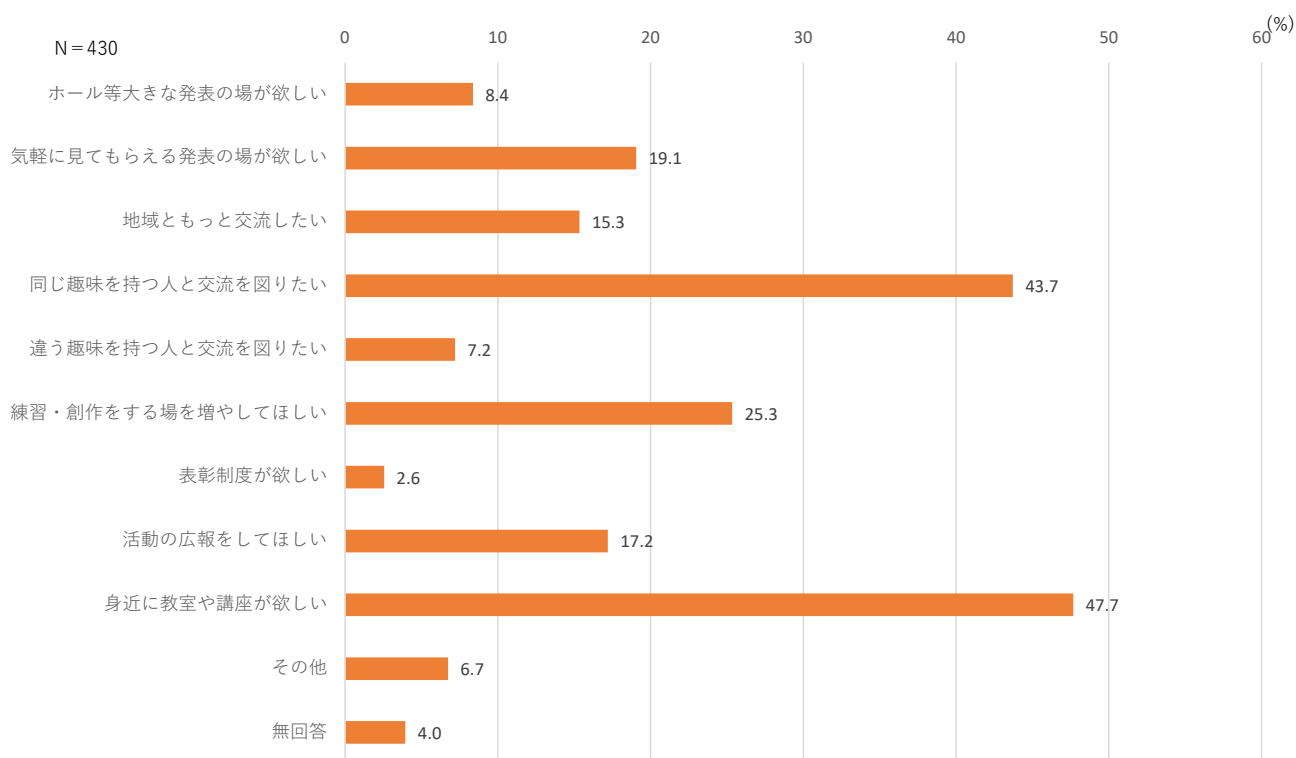


図 8 今活動（創作含む）を楽しんでいる文化芸術に関して活動する上で望むこと

「その他」の主な内容		
活動方法	3	一人で楽しみたい (n=2) / 一緒に見たい (n=1)
その他	3	図書館で小説の蔵書を増やしてほしい (n=1) / 土日に親子で活動できる講座 (n=1) / 生活支援 (n=1)

6. 文化芸術に今後どのように取り組んでいきたいか (SA)

文化芸術に今後どのように取り組んでいきたいかは、「作品を鑑賞したい」が 55.6%と最も高く、次いで「趣味の範囲で活動していきたい (余暇活動)」(33.6%) である。

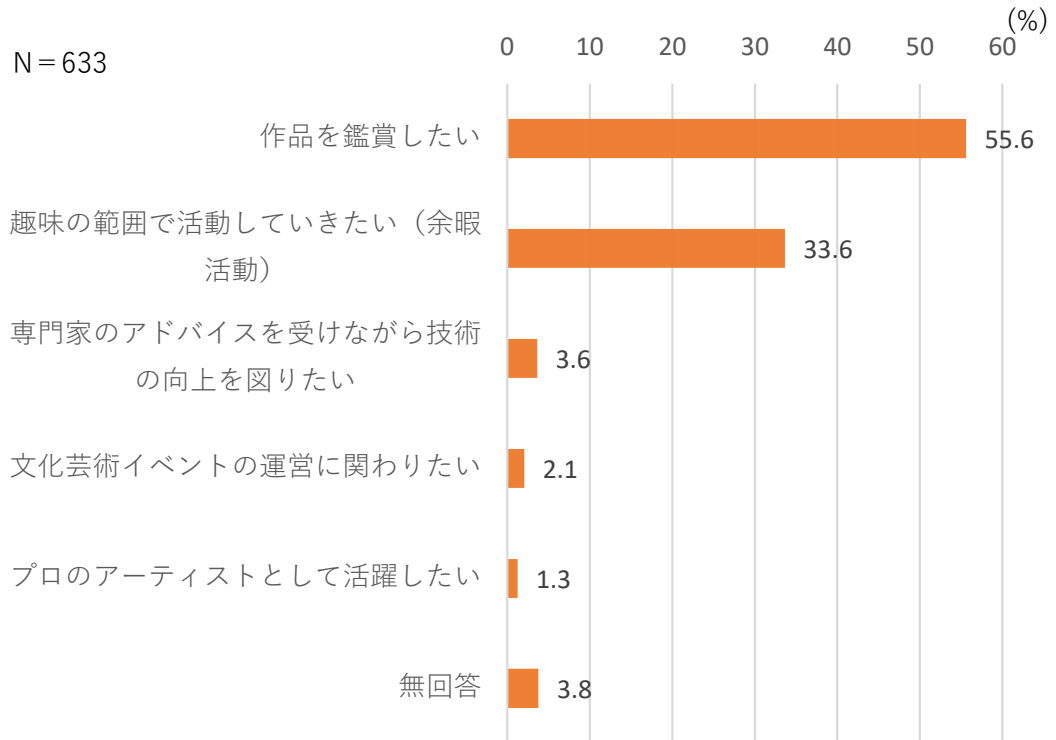


図 9 文化芸術に今後どのように取り組んでいきたいか

7. ①千葉市内で過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術（MA・3つまで）

千葉市内で過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術は、「音楽」（27.0%）、「美術」（22.7%）、「メディア芸術」（22.4%）の順に高い。問1（主に鑑賞する文化芸術）では、「音楽」（65.7%）、「メディア芸術」（60.8%）、「美術」（37.1%）の順で、「音楽」及び「メディア芸術」の2つと「美術」の差が見受けられたが、実際の鑑賞・体験では、「美術」との鑑賞・体験機会の差がないことがみてとれる。

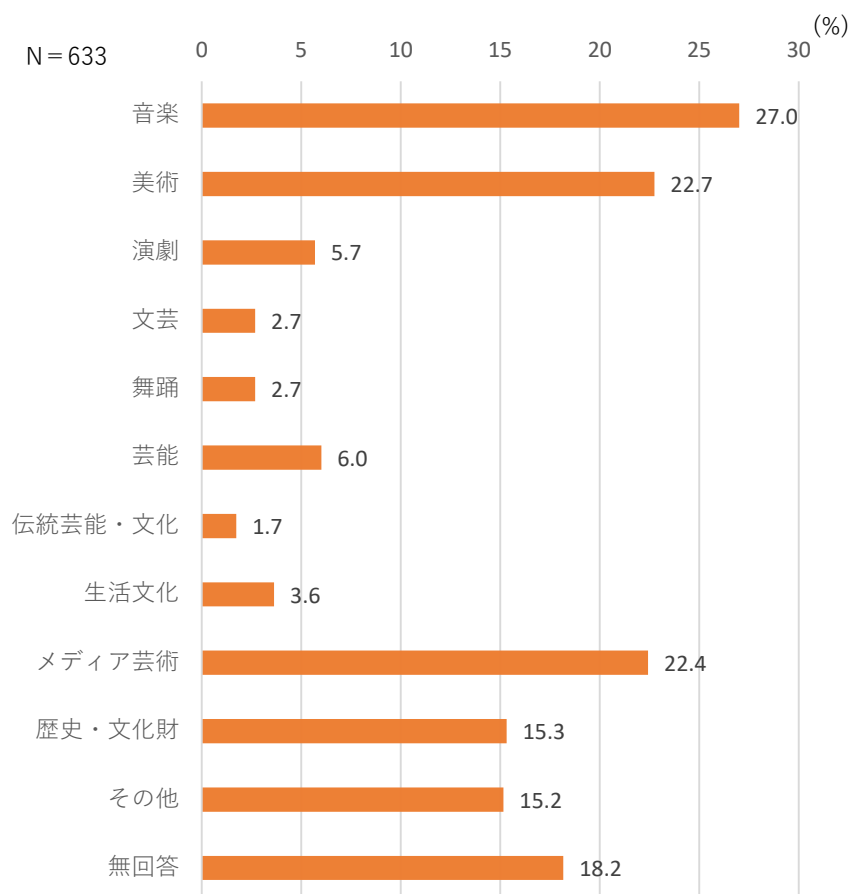


図 10 千葉市内で過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術

「その他」の主な内容		
鑑賞・体験場所	4	千葉市内以外 (n=4)
その他	7	映画 (n=3) / 花見や動物園 (n=1) / ダンス発表 (n=1) / 区役所でのコンサート (n=1) / ホテルでの表彰式 (n=1)

7. ②千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の充足度 (SA)

千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の充足度は、「充足している」(5.8%)と「まあまあ充足している」(44.1%)を合わせた「充足」が49.9%であり、「不足している」(29.2%)と「全く足りない」(8.5%)を合わせた「不足」が37.8%である。

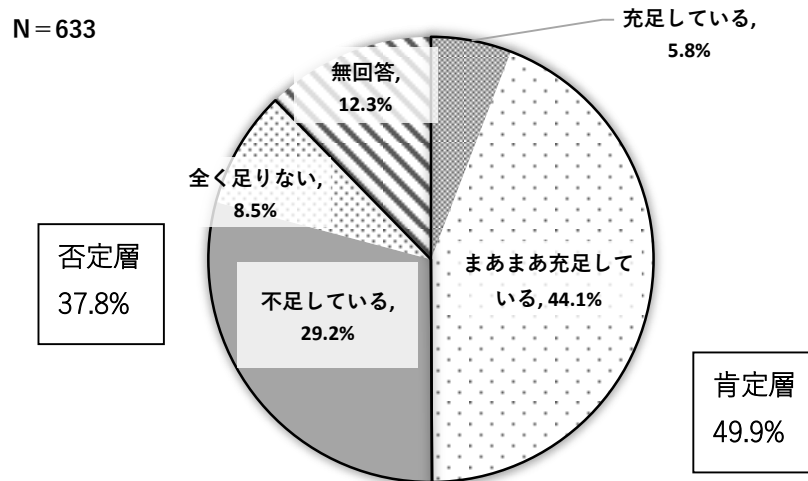


図 11 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の充足度

8. 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題 (SA)

千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題は、「文化芸術に関する情報を入手しにくい」が31.6%と最も高く、次いで「鑑賞・体験したいものがない」(21.3%)である。

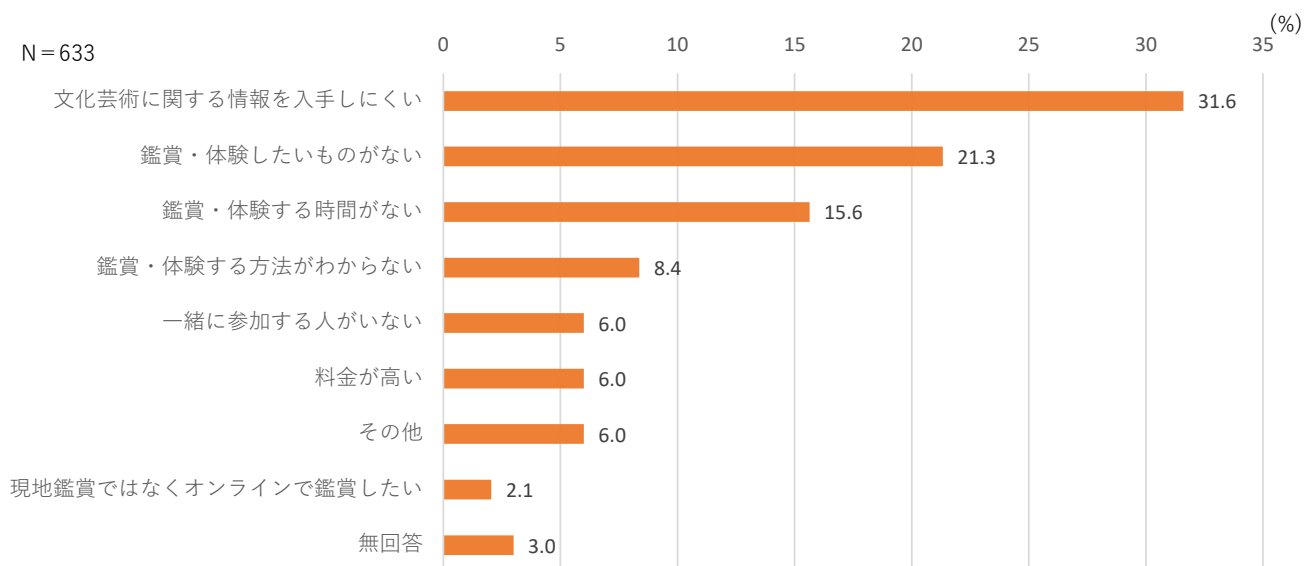


図 12 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題

「その他」の主な内容		
アクセス	10	交通不便 (n=6) / 身体不自由など (n=4)
施設	7	施設が充実していない (n=6) / 建物が古い (n=1)
子育て	5	子育てとのバランス (n=3) / 子どもと一緒に楽しめるものが少ない (n=2)
その他	4	歴史的建造物や史跡の維持管理 (n=1) / 情報があまり詳しくない (n=1) / 習志野市との設備・サービス共用化を進めてほしい (n=1) / 魅力的な展示がない (n=1)

9. 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること (SA)

千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験で今後期待することは、「現地で鑑賞・体験する機会」が41.5%と最も高く、次いで「鑑賞・体験する機会の情報発信」(37.3%)である。前問における課題の解決を期待していることがみてとれる。

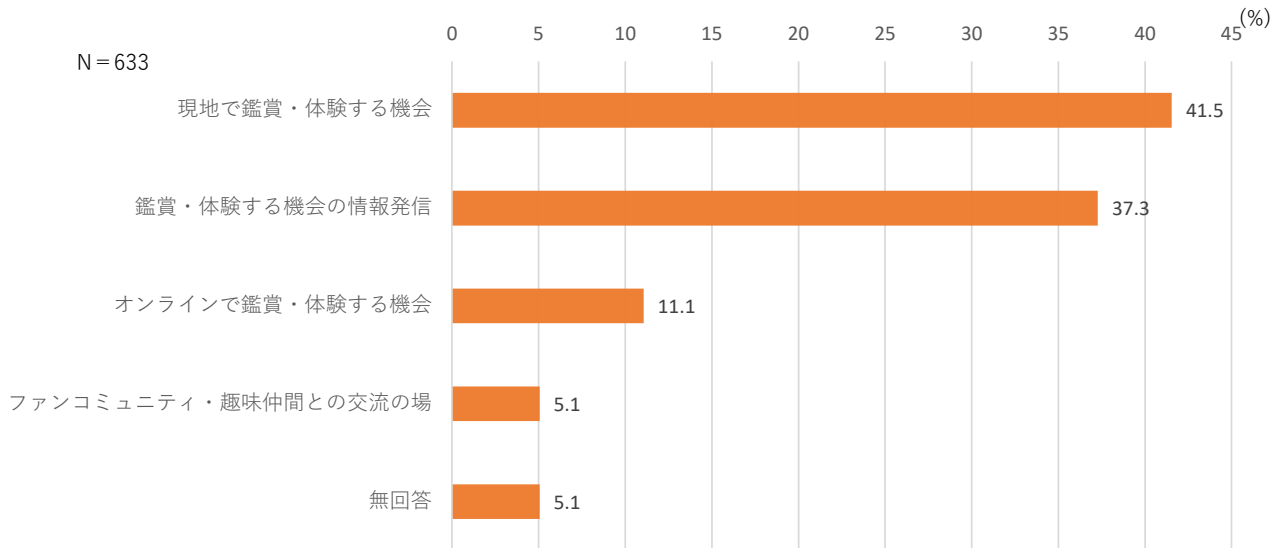


図 13 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること

10. 千葉市の事業・イベント・施設の認知度（MA・あてはまるもの全て）

千葉市の事業・イベント・施設の認知度は、「千葉市美術館」（75.2%）、「千葉市民会館」（67.5%）、「千葉市文化センター」（58.8%）の順に高く、文化施設の認知はある程度なされていることがわかる。一方、イベントでは、「ベイサイドジャズ千葉」が最も高く、16.6%、次点でワンコインコンサート（11.1%）、市民芸術祭（9.2%）が続く。

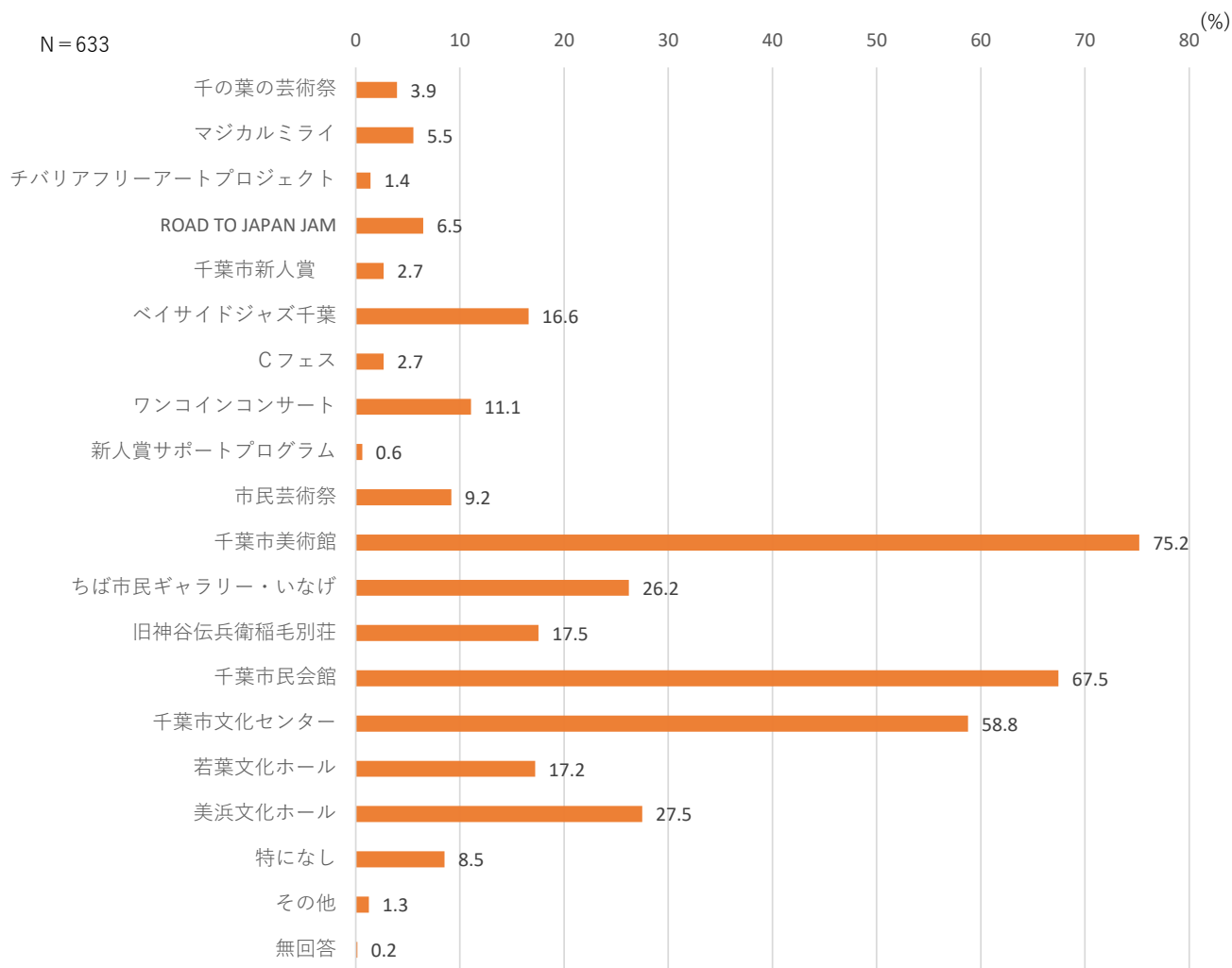


図 14 千葉市の事業・イベント・施設の認知度

「その他」の主な内容		
その他	4	千葉 LOOK (n=1) / 千葉市花の美術館 (n=1) / YohaS 夜ハス (n=1) / さんばしまつり (n=1)

11. 多様な主体が参加するイベント (SA)

今後も、多様な主体（外国人・子ども・高齢者・障害者など）が活躍できる多角的なイベントを推進すべきと回答は92.1%であり、9割以上が推進すべきと考えていることがみてとれる。

N = 633

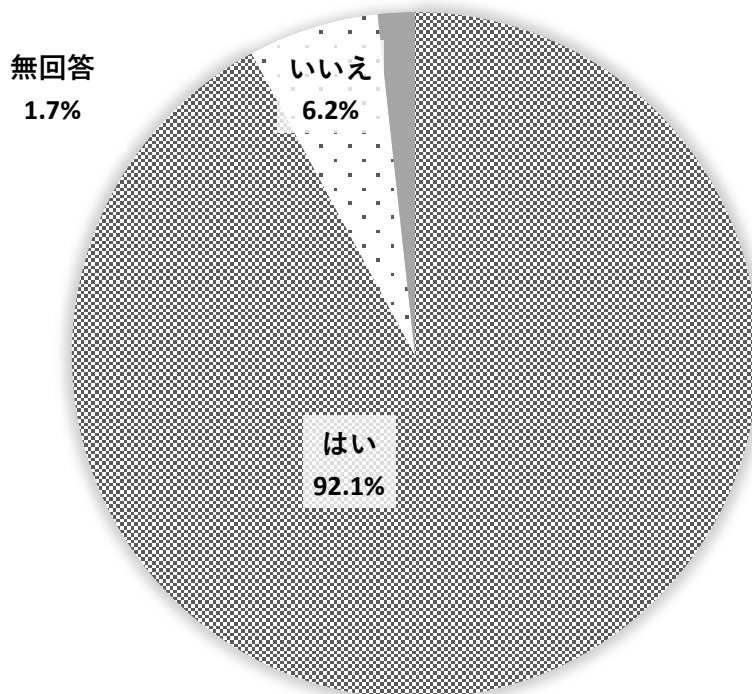


図 15 多様な主体が参加するイベント

12. ①市のイベントや施設の情報を得る手段（MA・あてはまるもの全て）

市のイベントや施設の情報を得る手段は、「市政だより」が86.9%と最も高く、次いで「千葉市役所ホームページ」（41.4%）、ポスター（37.6%）である。

一方で、「千葉市のSNS」（19.4%）、「各施設のSNS」（12.5%）であり、SNSについては、あまり高くない。

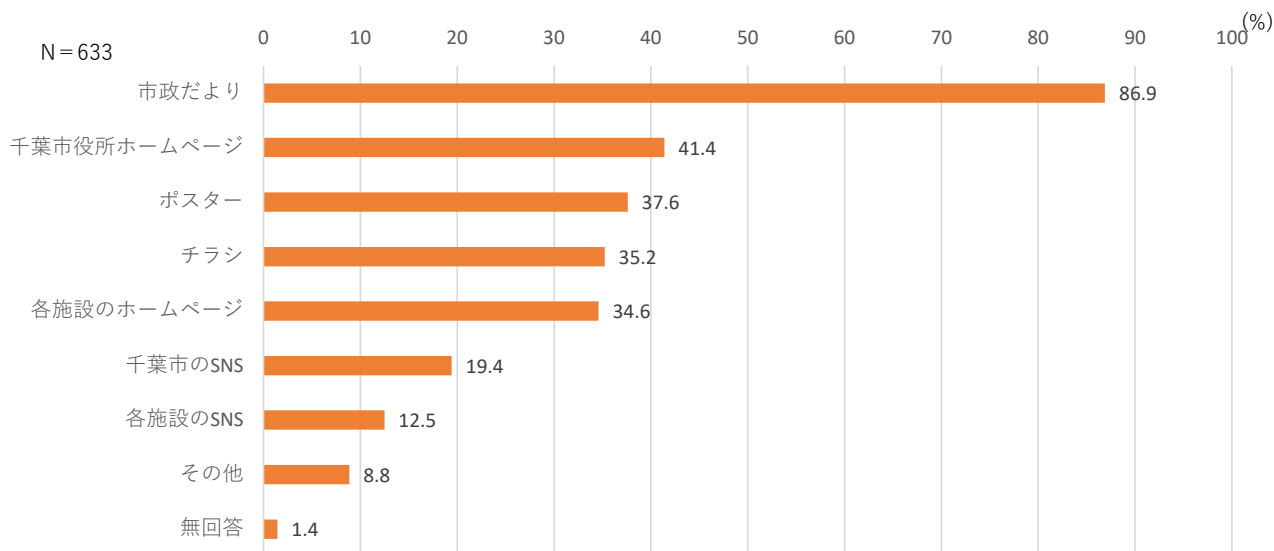


図 16 市のイベントや施設の情報を得る手段

「その他」の主な内容		
インターネット	5	個人の SNS (n=2) / インターネット (n=1) / ネット記事 (n=1) / ファンクラブサイト (n=1)
その他	16	人づて (n=3) / ちいき新聞 (n=3) / 回覧板 (n=3) / ベイタウンニュース (n=1) / 千葉日報 (n=1) / イベントの主催 (n=1) / 得られていない (n=4)

12. ②希望する市のイベントや施設の情報発信（MA・あてはまるもの全て）

希望する情報発信の手段は、「市政だより」が49.3%と最も高く、次いで「千葉市のSNS」(26.9%)である。現時点では「千葉市のSNS」から情報を得ていない(19.4%)ものの、今後の「千葉市のSNS」に期待していることがみてとれる。

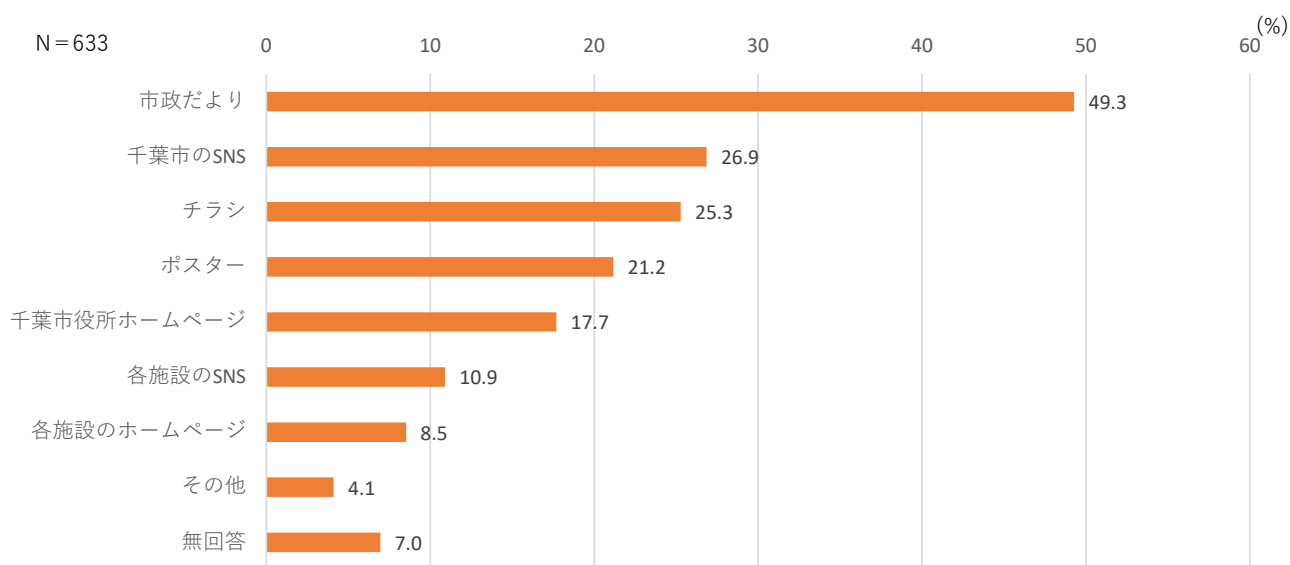


図 17 希望する市のイベントや施設の情報発信

「その他」の主な内容		
インターネット	10	SNS (n=7) / インターネット (n=1) / メール (n=2)
その他	8	回覧板 (n=3) / ちいき新聞 (n=2) / 人づて (n=1) / アクセスしなくても情報が入る方法 (n=1) / 千葉テレビ (n=1)

13. 市ゆかりのアーティストの活躍 (SA)

市ゆかりのアーティストの活躍については、「感じられる」(2.5%)と「やや感じられる」(12.2%)を合わせた「感じられる」が14.7%であり、「あまり感じられない」(47.6%)と「感じられない」(36.3%)を合わせた「感じられない」が83.9%であり、市ゆかりのアーティストの活躍が感じられない状況がみてとれる。

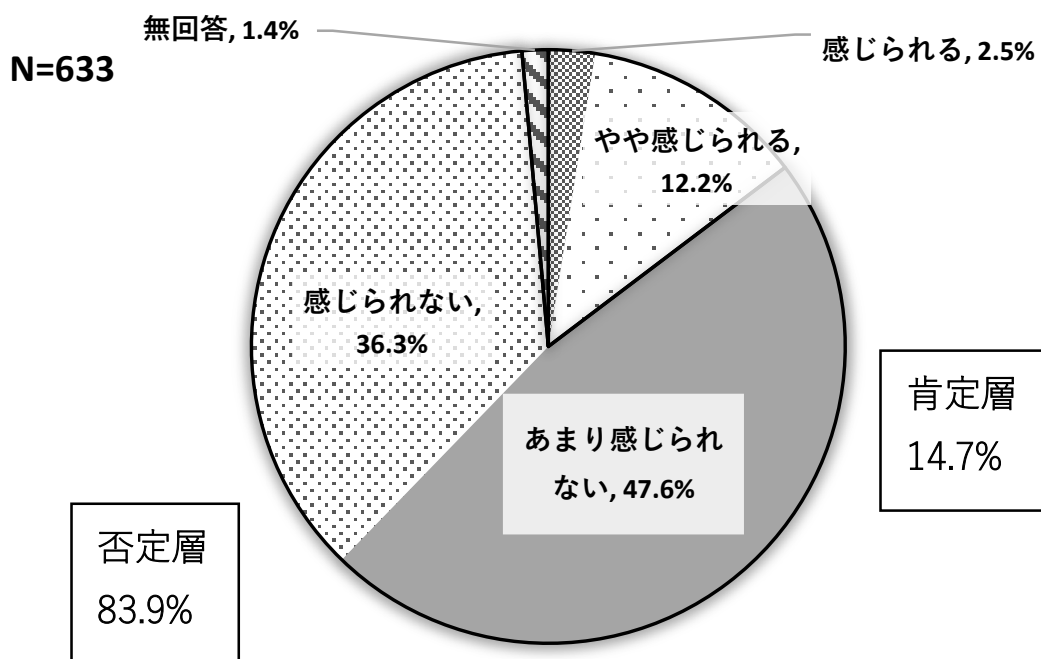


図 18 市ゆかりのアーティストの活躍

14. 市ゆかりのアーティストへの期待 (SA)

市ゆかりのアーティストへの期待は、「活躍した分野の認知度の向上と参加者の増」が 29.9%と最も高く、次いで「千葉市の知名度向上」(28.3%)、「市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増」(27.5%)である。

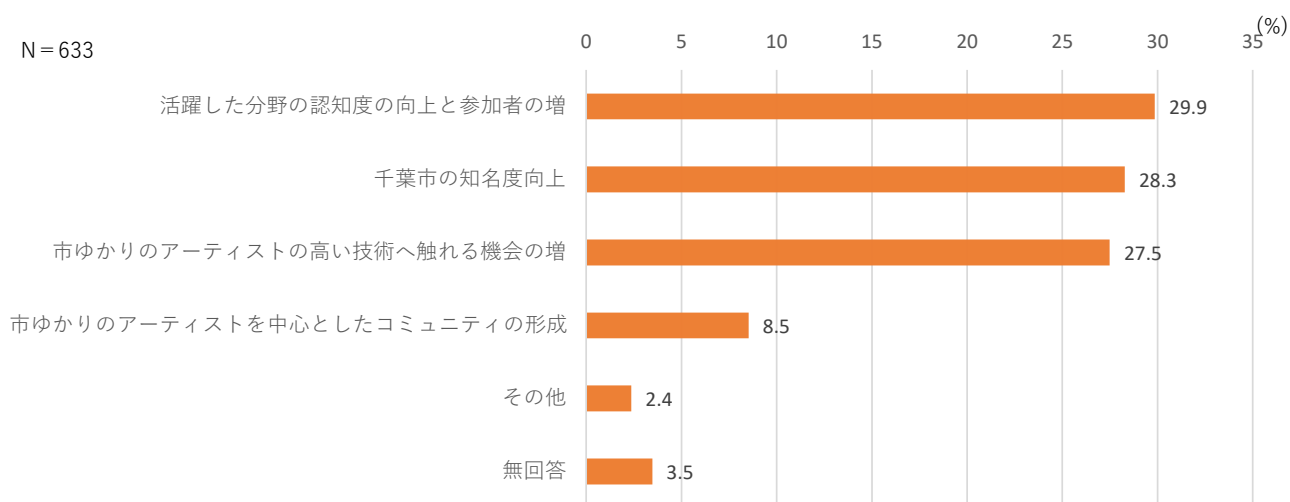


図 19 市ゆかりのアーティストへの期待

「その他」の主な内容		
その他	1	活躍するなら都内に出るべき (n=1)

15. 若手アーティスト活躍のためにあなたができること (SA)

若手アーティストが活躍するためにあなたができることは、「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」が59.2%と最も高い。

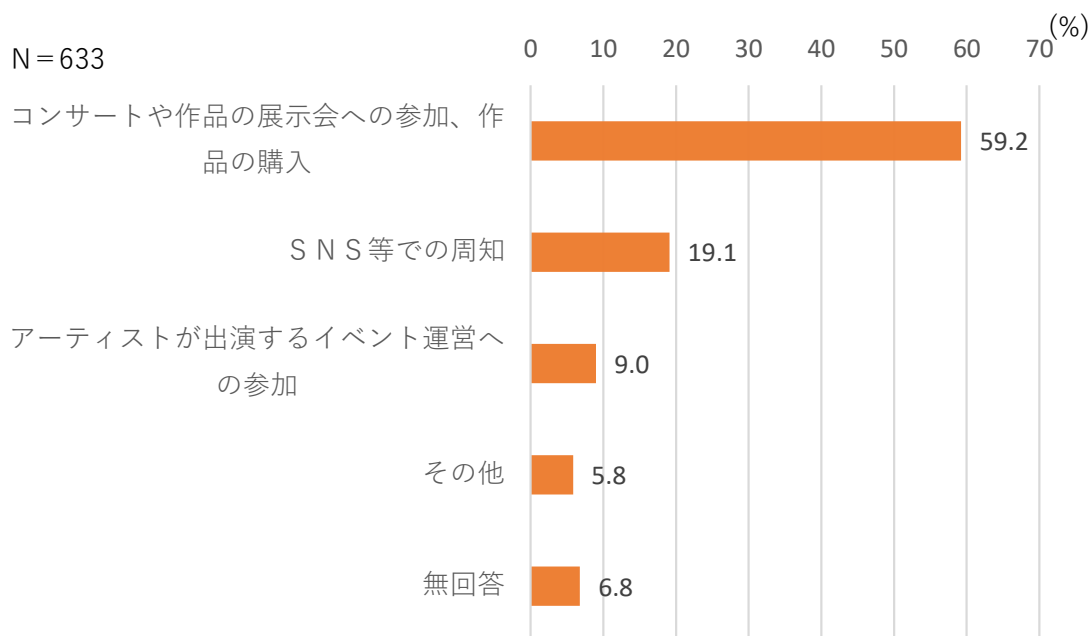


図 20 若手アーティスト活躍のためにあなたができること

「その他」の主な内容		
その他	5	若手アーティストの認知 (n=3) / 都内への進出を促す (n=1) / サポーター (ファン) になる (n=1)

16. 若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援（SA）

若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援は、「発表の場の提供」が49.8%と最も高い。

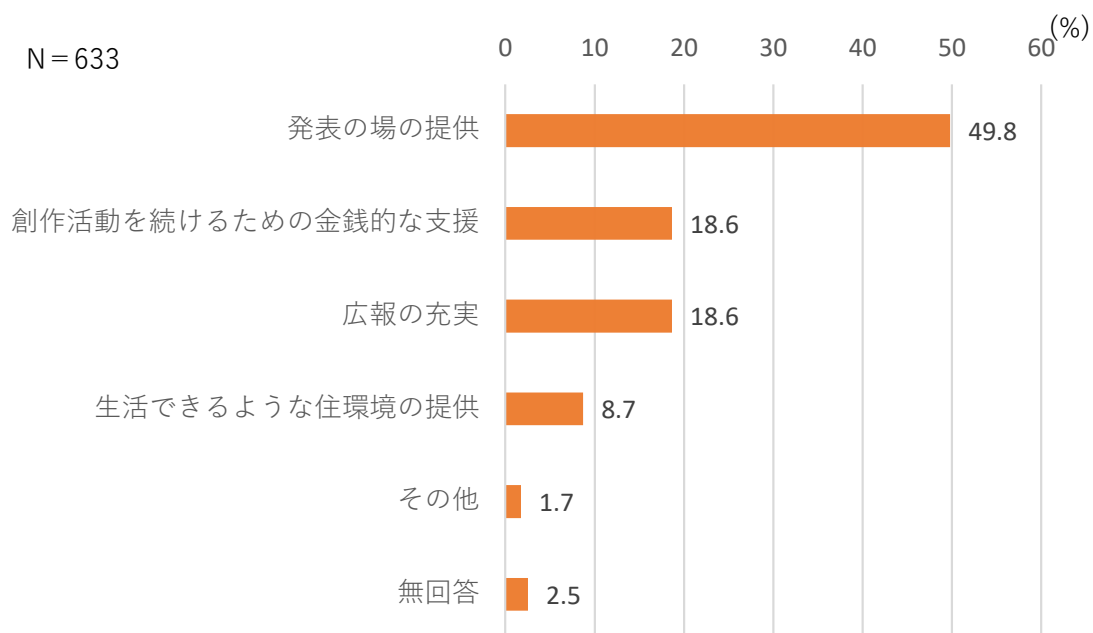


図 21 若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援

「その他」の主な内容		
その他	4	SNSなどがあるので支援は不要 (n=2) / 市広報等への積極的適価での登用 (n=1) / 都内進出の援助 (n=1)

17. 千葉市は「文化的なまち」か (SA)

千葉市は「文化的なまち」かは、「思う」(3.9%)と「やや思う」(30.8%)を合わせた「思う」が34.7%であり、「あまり思わない」(47.6%)と「思わない」(36.3%)を合わせた「思わない」が64.6%であり、文化的なまちであると思われていない傾向がある。

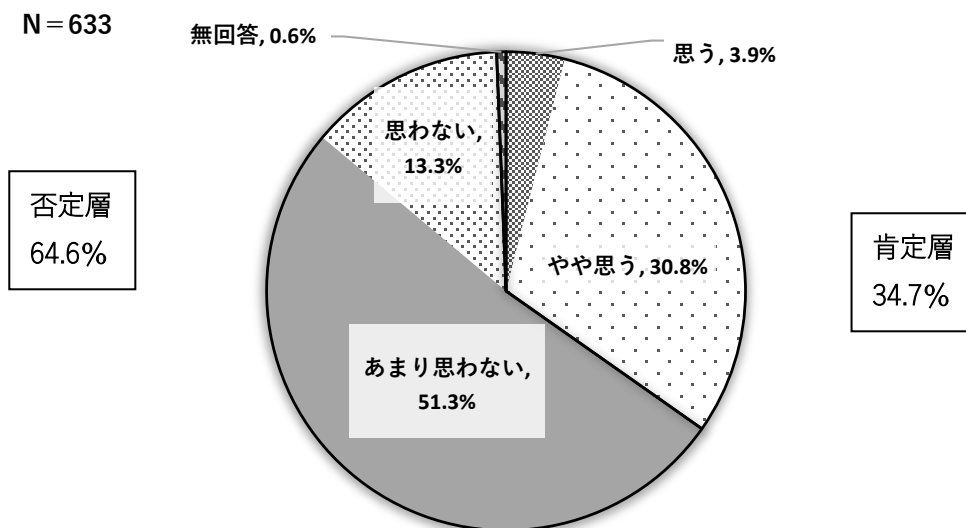


図 22 千葉市は「文化的なまち」か

<前回調査結果との比較>

※「どちらでもない」の選択肢は前回のみ

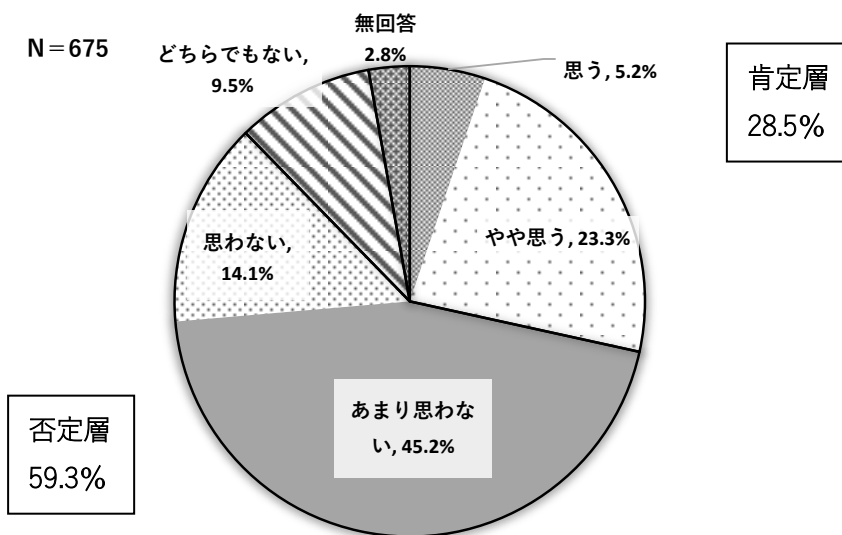


図 23 千葉市は「文化的なまち」か (前回調査結果との比較)

今回は、「思う」(5.2%)と「やや思う」(23.3%)を合わせた「思う」が28.5%であり、「あまり思わない」(45.2%)と「思わない」(14.1%)を合わせた「思わない」が59.3%であった。

18. 千葉市の文化芸術は千葉市らしさがあるか (SA)

千葉市の文化芸術は千葉市らしさがあるかは、「感じられる」(2.1%)と「やや感じられる」(21.5%)を合わせた「感じられる」が23.5%であり、「あまり感じられない」(56.7%)と「感じられない」(18.3%)を合わせた「感じられない」が75.0%であり、千葉市らしさは感じられていない傾向がある。

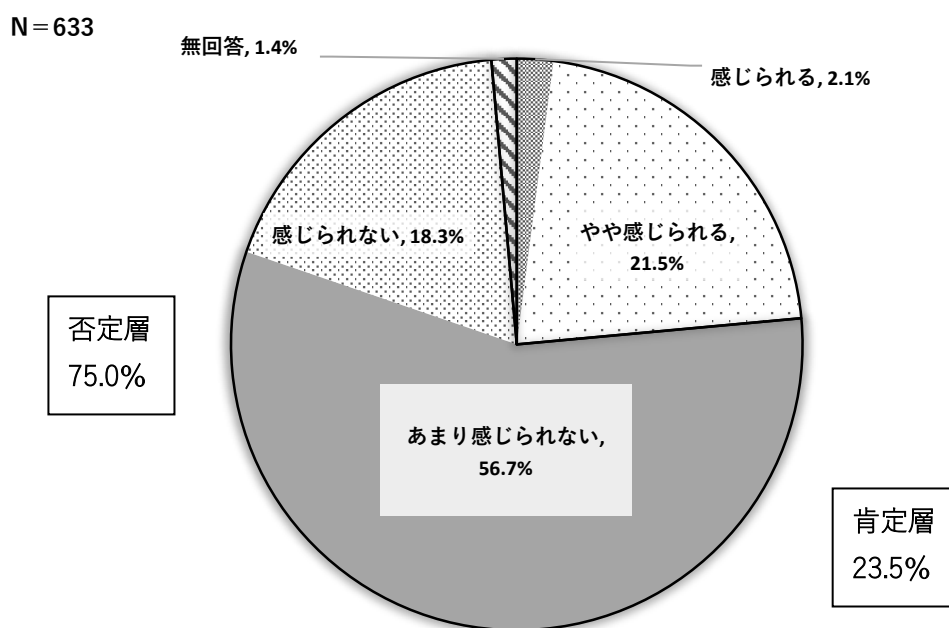


図 24 千葉市の文化芸術は千葉市らしさがあるか

19. 千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの（MA・3つまで）

千葉市の文化芸術として広く発信すべきものは、「音楽」が50.2%と最も高く、次いで「歴史・文化財」（45.5%）、「美術品」（35.4%）である。

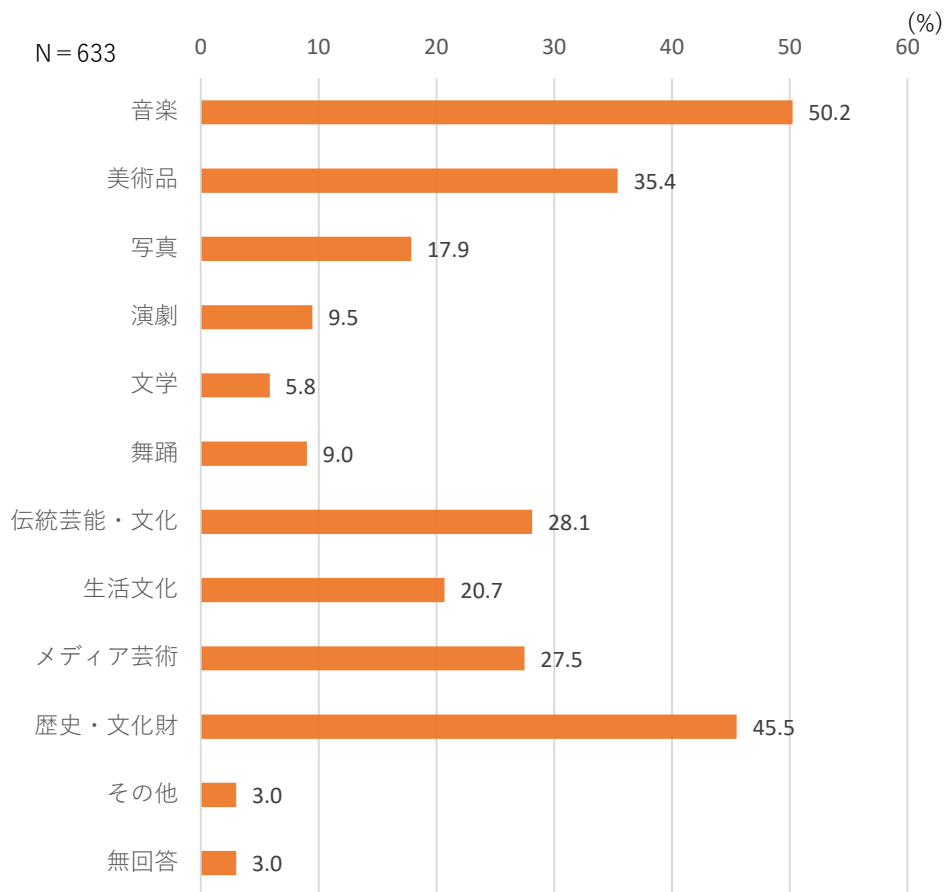


図 25 千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの

「その他」の主な内容		
千葉市らしさ	5	千葉市らしさの定義が不明 (n=4) / 千葉市らしさは必要ない (n=1)
その他	5	もっと自由な文化 (n=1) / 全ての文化芸術 (n=1) / 食 (n=1) / 折り紙 (n=1) / 発信の必要はない (n=1)

20. 文化芸術が市に与える効果として期待するもの（SA）

文化芸術が市に与える効果として期待する効果は、「観光資源として市外からの来訪者増」が33.0%と最も高く、次いで「千葉市らしさの創出」（25.6%）、「余暇活動の充実」（20.9%）である。

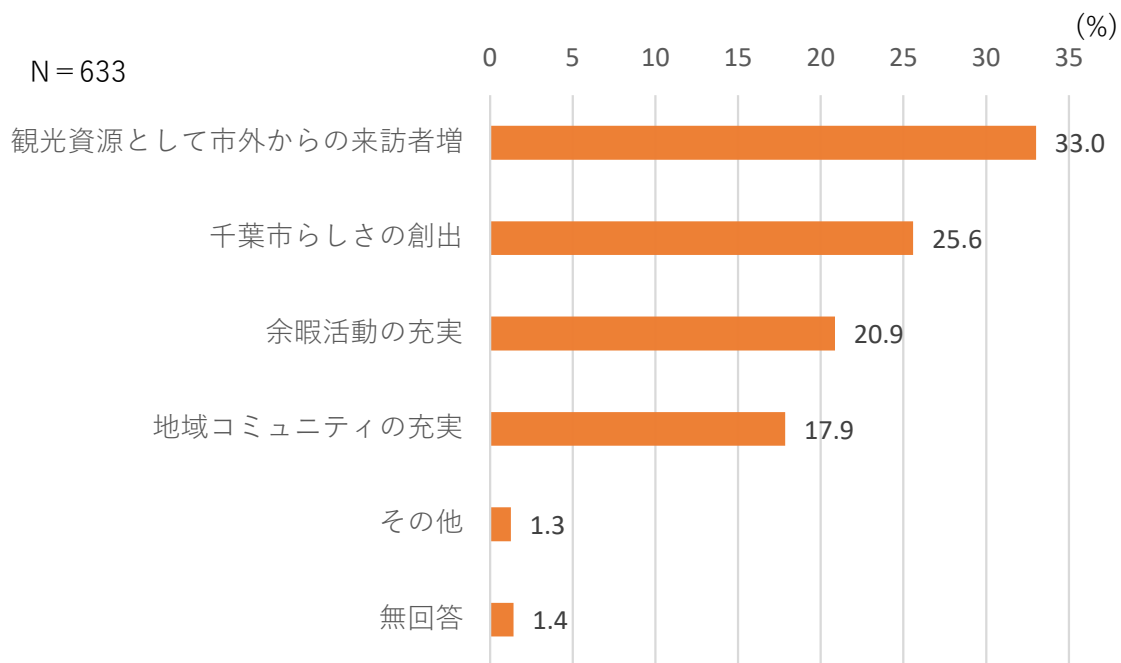


図 26 文化芸術に期待する千葉市に与える効果

「その他」の主な内容		
その他	4	物事を深く考え、他者に対する多様性を認めたり、寛容性を持つ市民が増えること・人生を楽しむ人が増えること (n=1) / 景観の向上。美しい意匠のものが街にあることにより、市民（人間）意識が高まり、お互いを思いやりあえる地域になればいい (n=1) / 他市では見られない独自の文化 (n=1) / 千葉を好きになる (n=1)

21. 歴史的文化財の活用 (SA)

歴史的文化財の活用として、「歴史的に価値のあるものを鑑賞したり触れたりする機会を創出するために活用」が 31.3%と最も高く、次いで「歴史等を学び、継承していくために活用」(27.6%)、「観光資源としての活用」(22.9%)である。

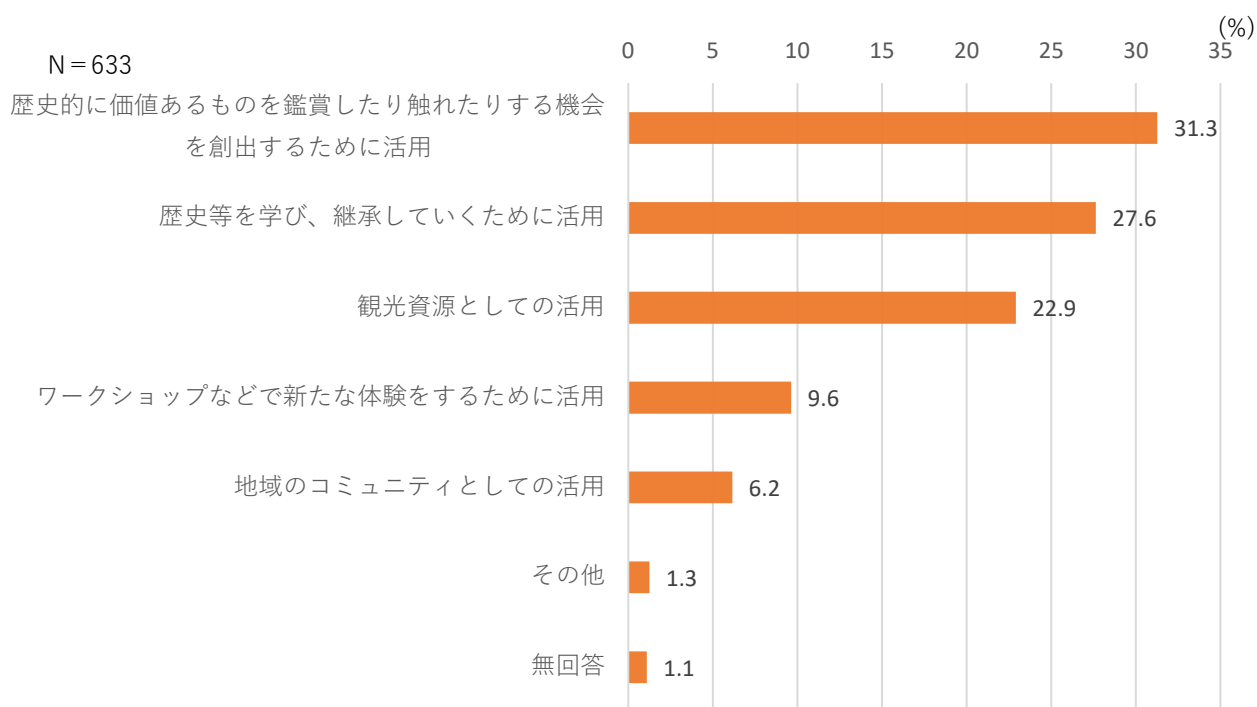


図 27 歴史的文化財の活用

「その他」の主な内容		
その他	5	こども向けのイベント (n=1) / カフェやインスタ映えスポットの設置 (n=1) / 高品城の遺跡の復活 (n=1) / 最低限の保存だけで十分 (n=1) / 活用するほどの価値を感じられない (n=1)

22. 重点的に連携すべき分野（MA・2つまで）

重点的に連携すべき分野は、「経済」が53.4%と最も高く、次いで「自然」(40.9%)、「歴史」(33.3%)、「スポーツ」(30.0%)、「こども」(24.0%)、「福祉」(8.4%)の順である。

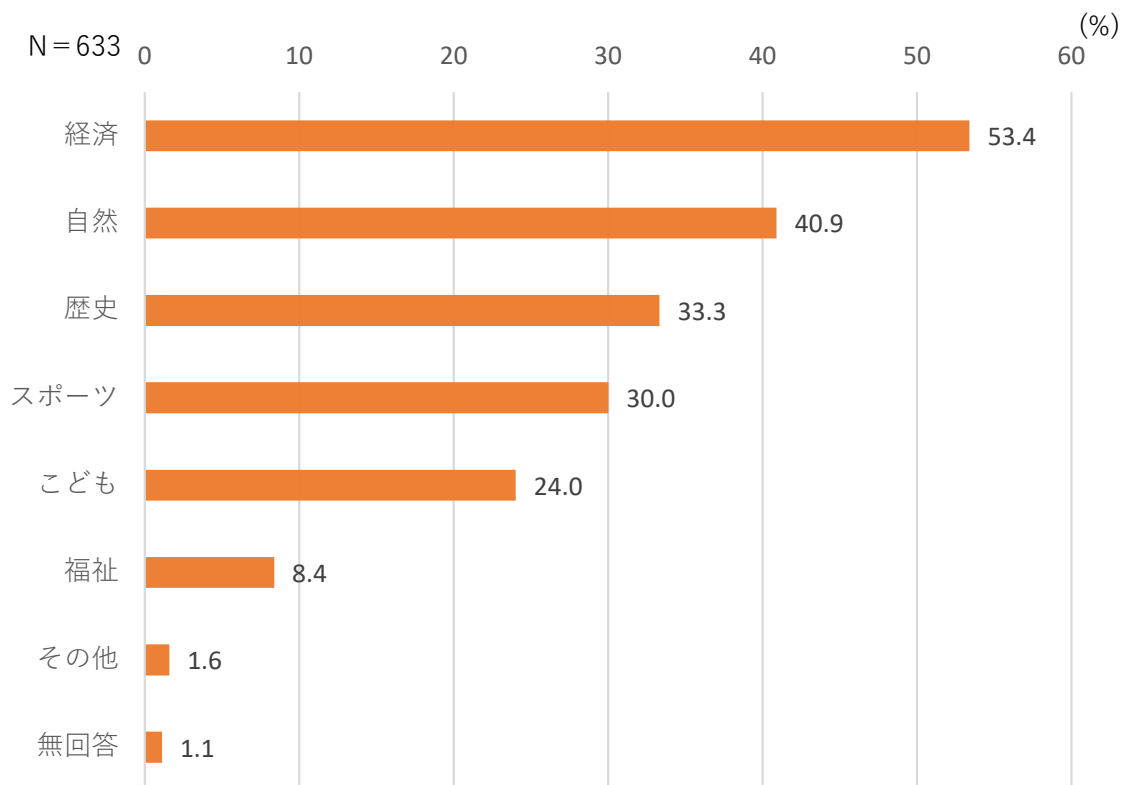


図 28 重点的に連携すべき分野

「その他」の主な内容		
その他	4	小規模街角コンサート等の主催 (n=1) / 無名作家の発掘と、そのプロモーション (n=1) / ただの野外イベントではなく、商業施設の力を借りながら、確かなキュレーターを配置し、若手作家の登竜門的な発表の場を設けてほしい (n=1) / NFT (n=1)

23. 文化芸術振興のために重点をおくべきこと（MA・3つまで）

文化芸術振興のために重点をおくべきことは、「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」が49.9%と最も高く、次いで「博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催」(36.2%)、「市内外から多くの人が訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催」(30.2%)である。

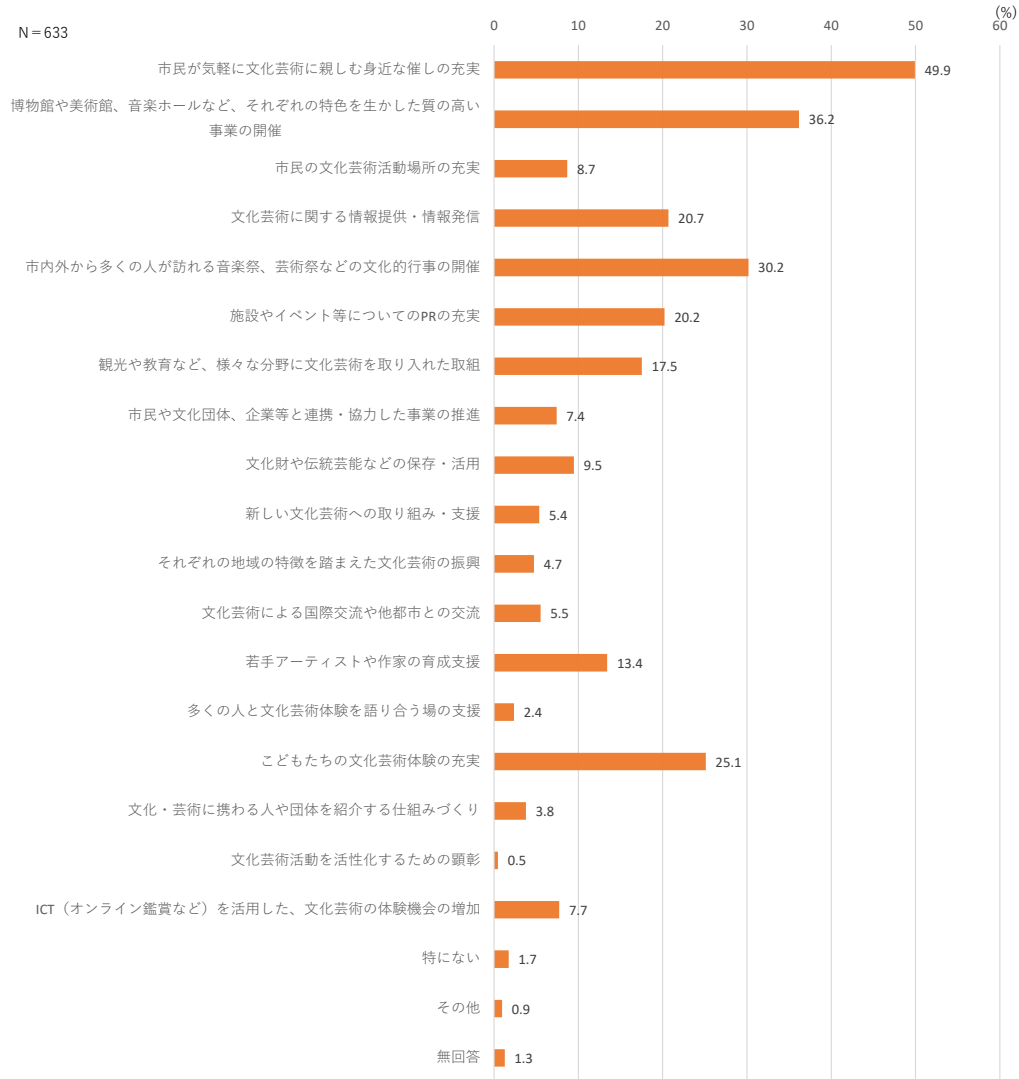


図 29 文化芸術振興のために重点をおくべきこと

「その他」の主な内容		
その他	6	地域で親子やファミリー向けの季節のイベント (n=1) /公共交通機関の充実 (n=1) /東京への援助 (n=1) /NFT (n=1) /街全体で芸術に触れるお祭りの開催 (n=1) /三内丸山遺跡のような遺跡を中心に複合型施設を設けたり、全国の出土品を展示会として開催したりしてほしい。県内、市内の遺跡を結ぶバス等観光客が移動の負担を軽減できるような機会 (n=1)

3. 3 文化芸術団体調査

属性 1. 活動拠点（地区）(MA)

活動拠点は、「中央区」が 61.5%と最も多く、次いで「稲毛区」(38.5%)、「美浜区」(30.8%) となっている。

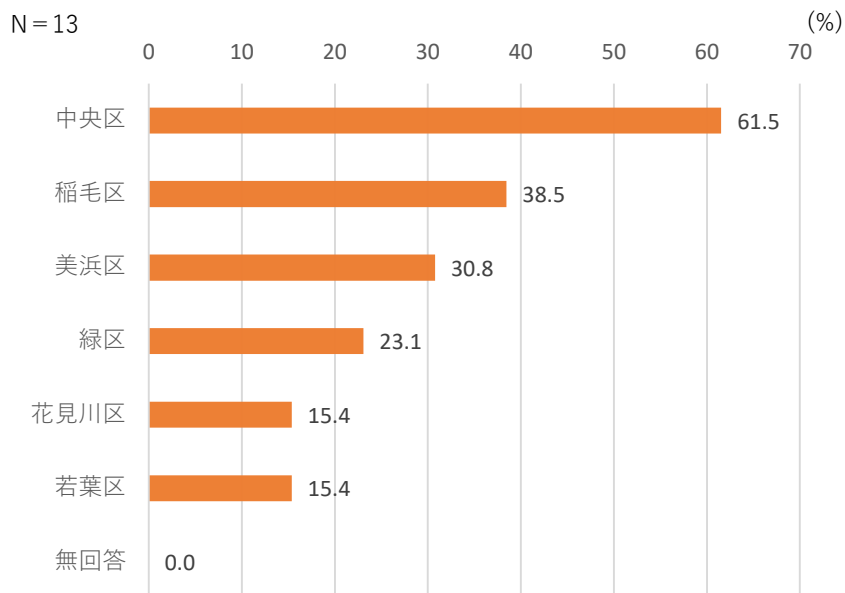


図 30 活動拠点（地区）

属性 2. 活動年数 (SA)

活動年数は、「25年以上」が 84.6%と最も多く、次いで「15～25年未満」(7.7%) 及び「2～5年未満」(7.7%) である。

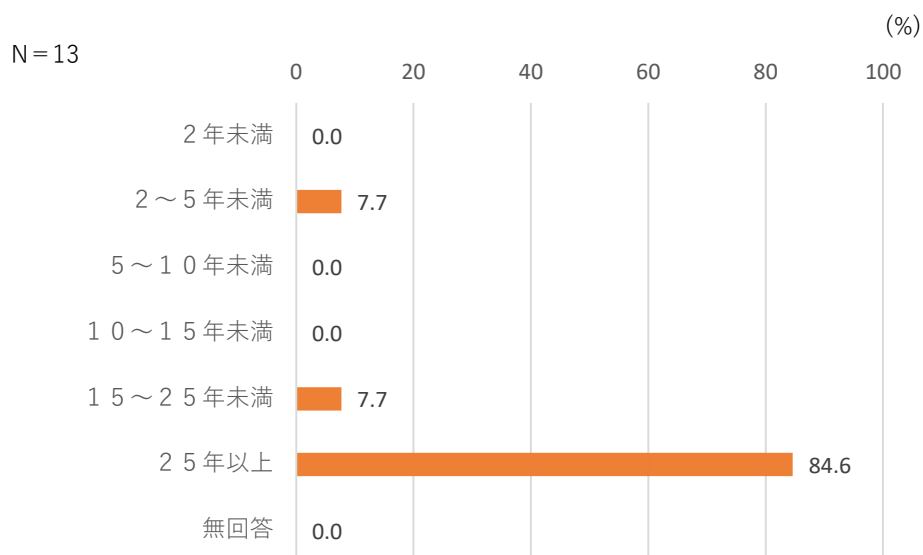


図 31 活動年数

属性 3. 活動人数の規模 (SA)

活動人数の規模は、「50人以上」が69.2%と最も多く、次いで「20人以上～30人未満」(23.1%)、「10人以上～20人未満」(7.7%)である。

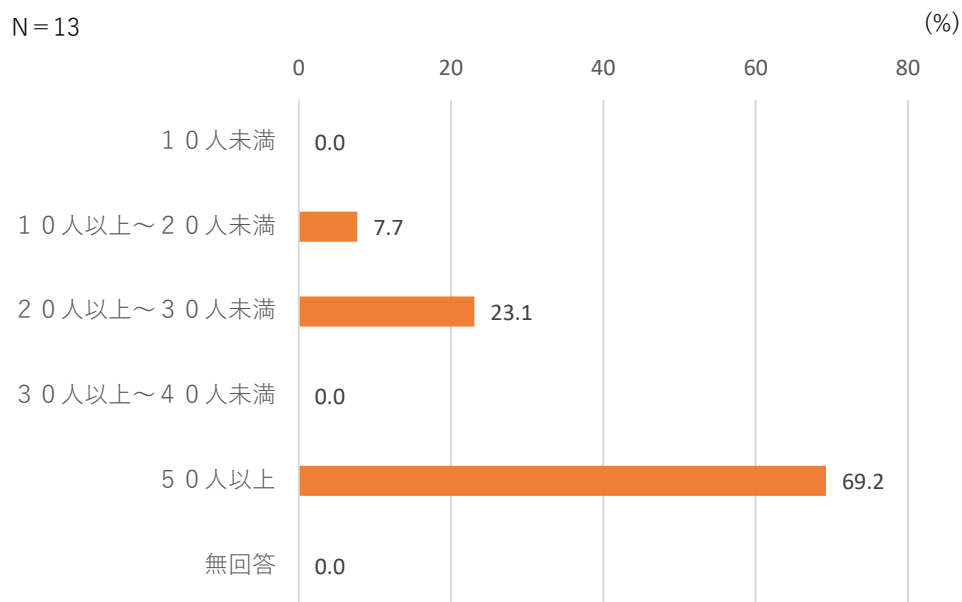


図 32 活動人数の規模

属性 4. 主な活動分野 (MA)

主な活動分野は、「神楽・能などの伝統芸能」が 30.8%と最も高く、次いで「声楽」、「日舞・フラダンスなどの踊り」及び「小説・俳句・短歌などの文芸」が 15.4%で並んでいる。

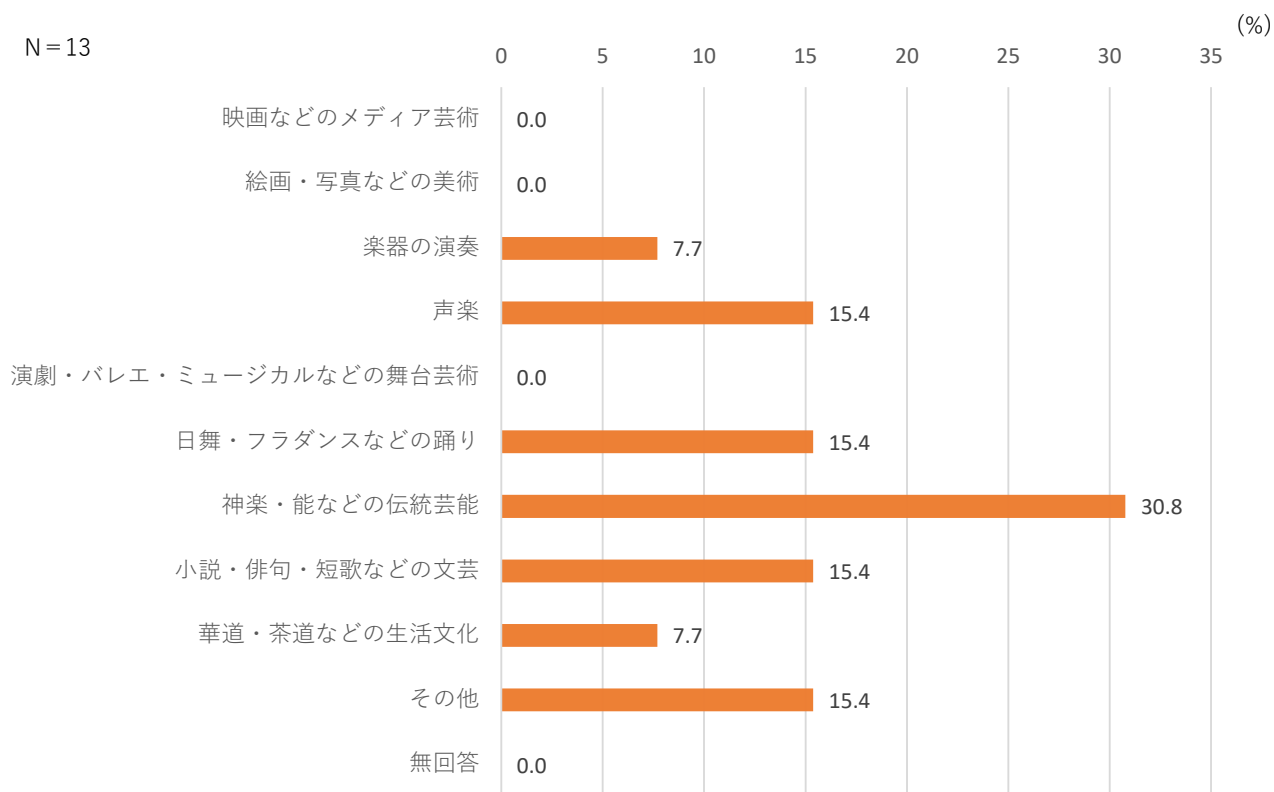


図 33 主な活動分野

「その他」の主な内容		
その他	2	コーラス (n=1) / 人形劇 (n=1)

1. 活動拠点（施設）（SA※）

活動拠点は、「公民館」及び「コミュニティセンター」が、38.5%と最も高い。次いで「ホール」（30.8%）である。

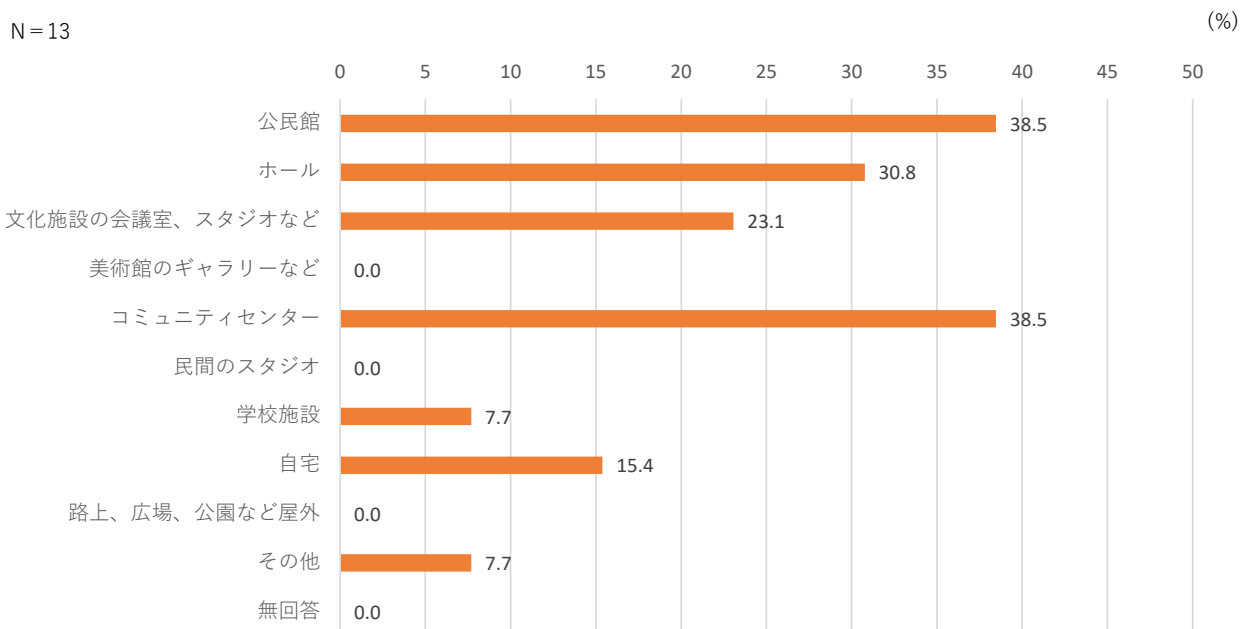


図 34 活動拠点（施設）

「その他」の主な内容		
その他	2	神社 (n=1) / 会館各地 千葉全域 (n=1)

※設問は、単一回答（SA）を想定していたが、紙媒体の回答が複数回答（MA）でなされ、それらの回答を全て採択したため、各回答の割合の合計は100%を超えている。

2. 活動頻度 (SA)

活動頻度は、「月に1～2回程度」が46.2%と最も高く、次いで「週に1～2回程度」(38.5%)である。

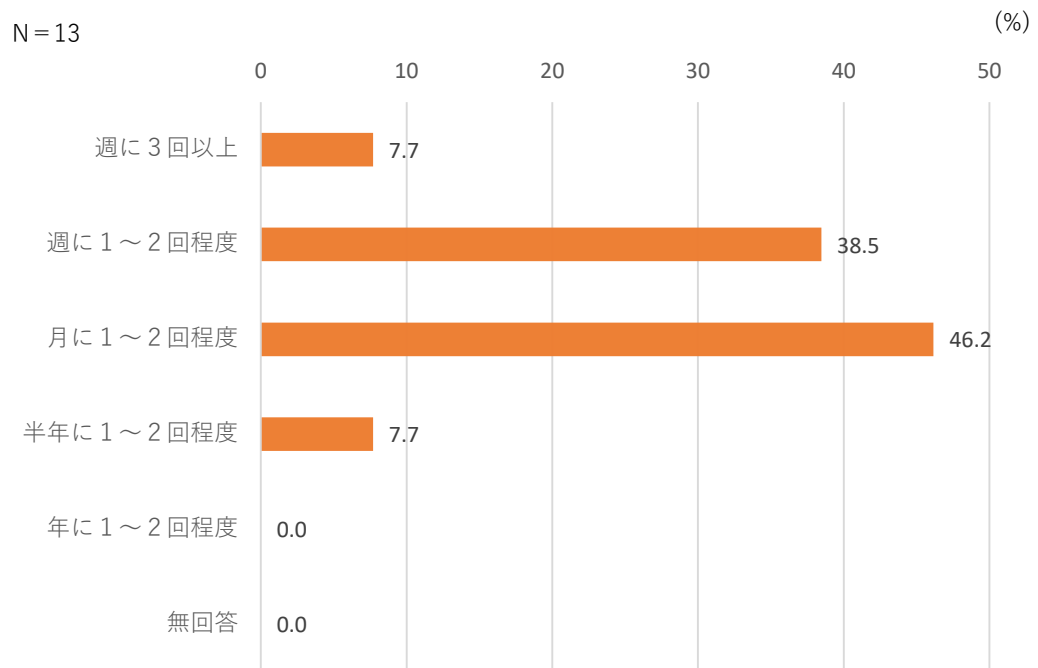


図 35 活動頻度

3. 発表・展示を行う場所 (SA)

発表・展示を行う場所は、「ホール」が53.8%と最も高く、次いで「文化施設の会議室」(23.1%)である。

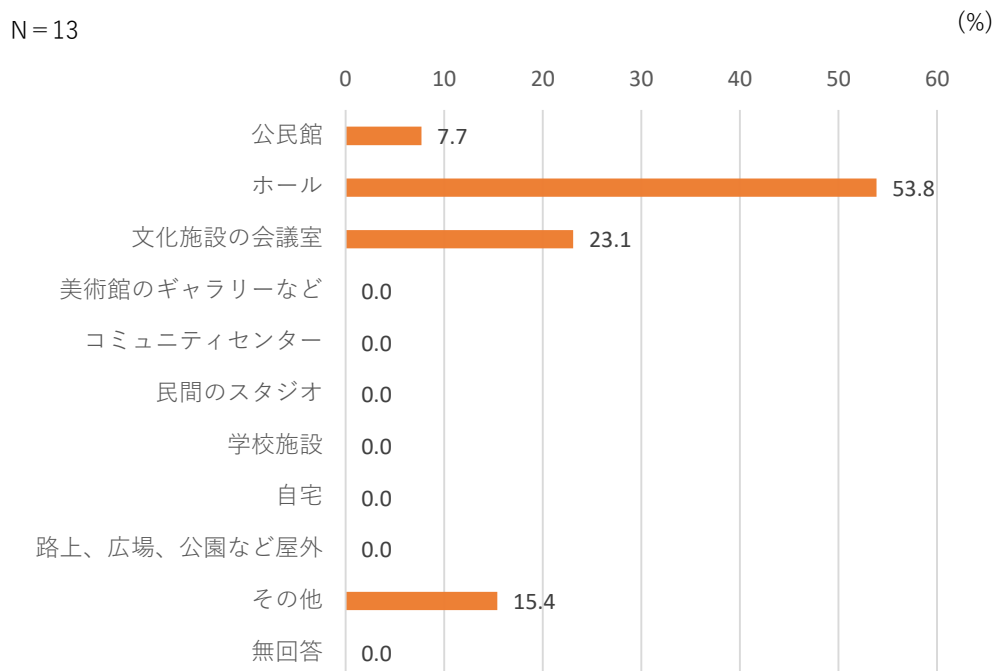


図 36 発表・展示を行う場所

「その他」の主な内容		
その他	2	神社 (n=1) / 保育所等 (n=1)

4. 発表・展示を行う頻度 (SA)

発表・展示を行う頻度は、「年に1回程度」が38.5%と最も高く、次いで「2～3か月に1回程度」と「半年に1回程度」が23.1%で並んでいる。

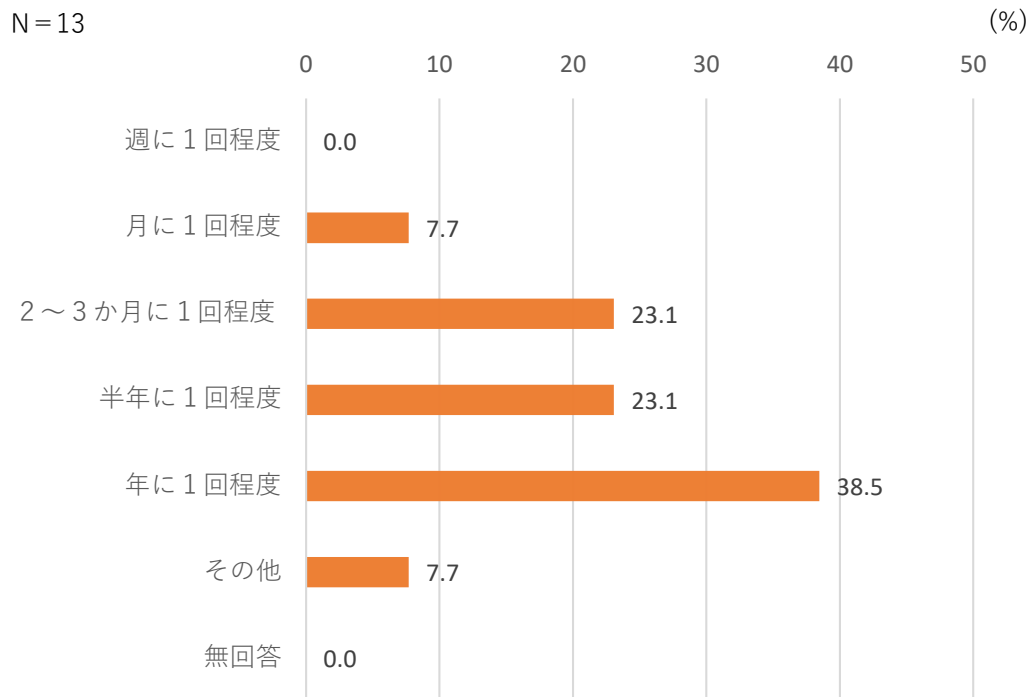


図 37 発表・展示を行う頻度

5. 文化芸術活動の満足度 (SA)

文化芸術活動の満足度は、「とても満足している」(15.4%)と「満足している」(69.2%)を合わせた「満足」が84.6%であり、「あまり満足していない」(15.4%)と「不満」(0.0%)を合わせた「不満」が15.4%であり、概ね満足している。

N=13

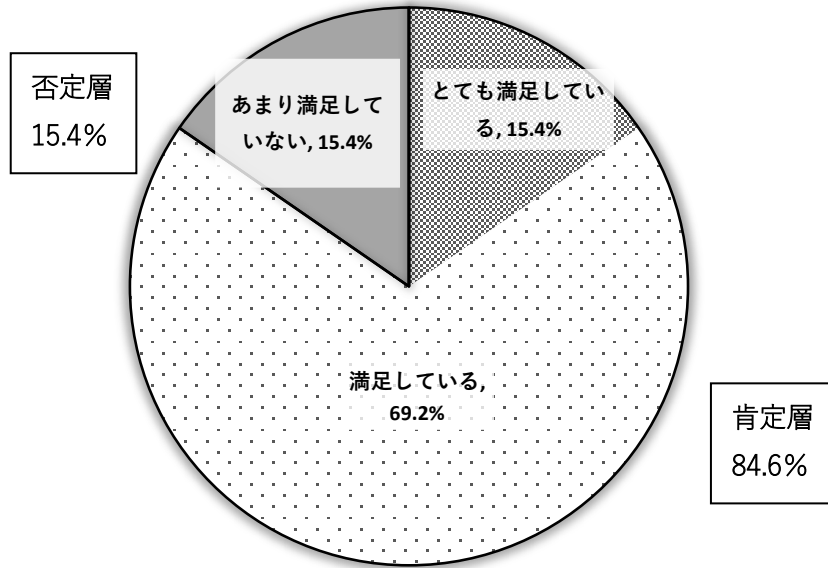


図 38 文化芸術活動の満足度

6. 活動する上での課題（MA・3つまで）

活動する上での課題は、「文化活動を行う人の発掘が不足している」が38.5%と最も高く、次いで「文化活動の広報の場が少ない」と「活動資金が少ない」が30.8%で並んでいる。

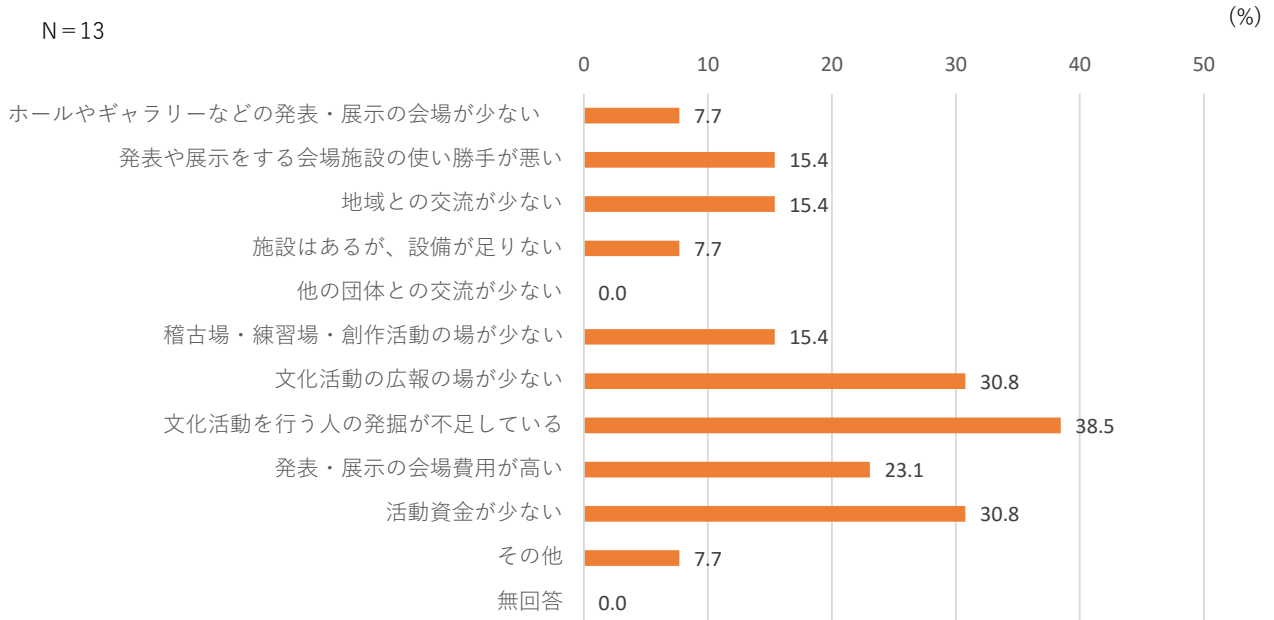


図 39 活動する上での課題

「その他」の主な内容		
その他	1	簡素な能楽堂が千葉市に欲しい (n=1)

7. ①すでに実施している広報活動（MA・あてはまるもの全て）

すでに実施している広報活動は、「会員の口コミ」が 84.6%と最も高く、次いで「市政だより」（76.9%）、「市の施設に掲示等」（46.2%）である。

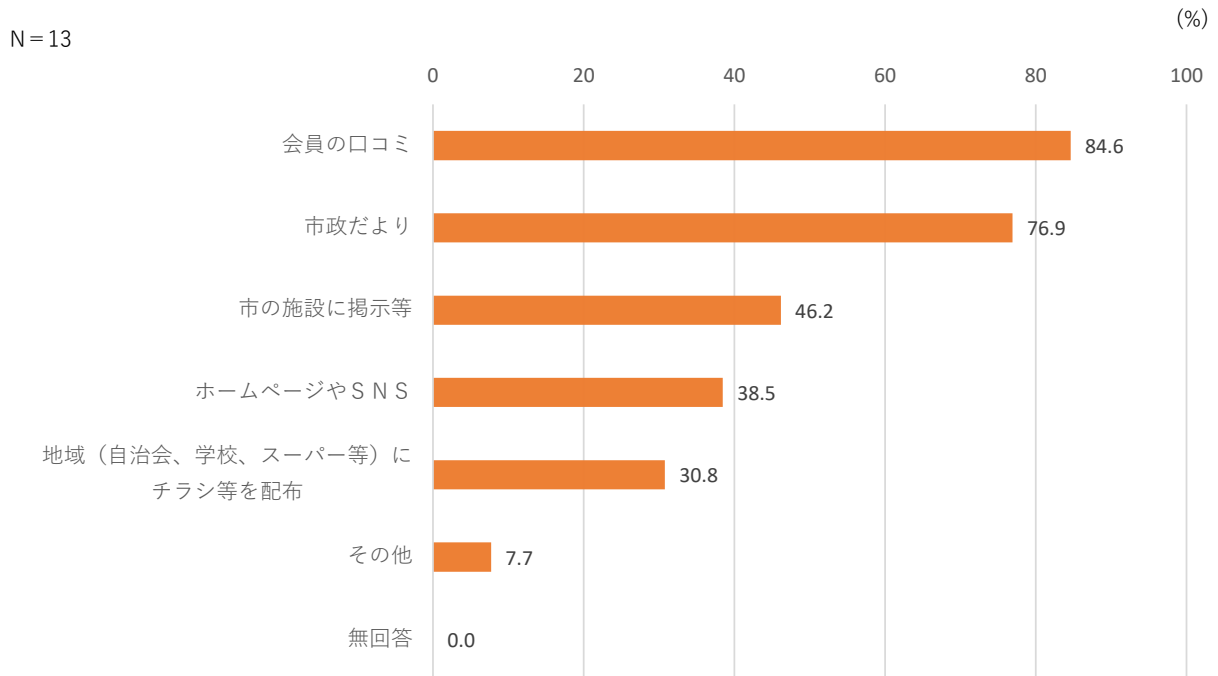


図 40 すでに実施している広報活動

7. ②今後実施したい広報活動（MA・あてはまるもの全て）

今後実施したい広報活動は、「市政だより」（84.6%）と最も高く、次いで「会員の口コミ」（69.2%）となっている。「ホームページやSNS」での広報は、現状の38.5%に比べると、今後は15.3ポイント増加し、53.8%まで高くなっている。

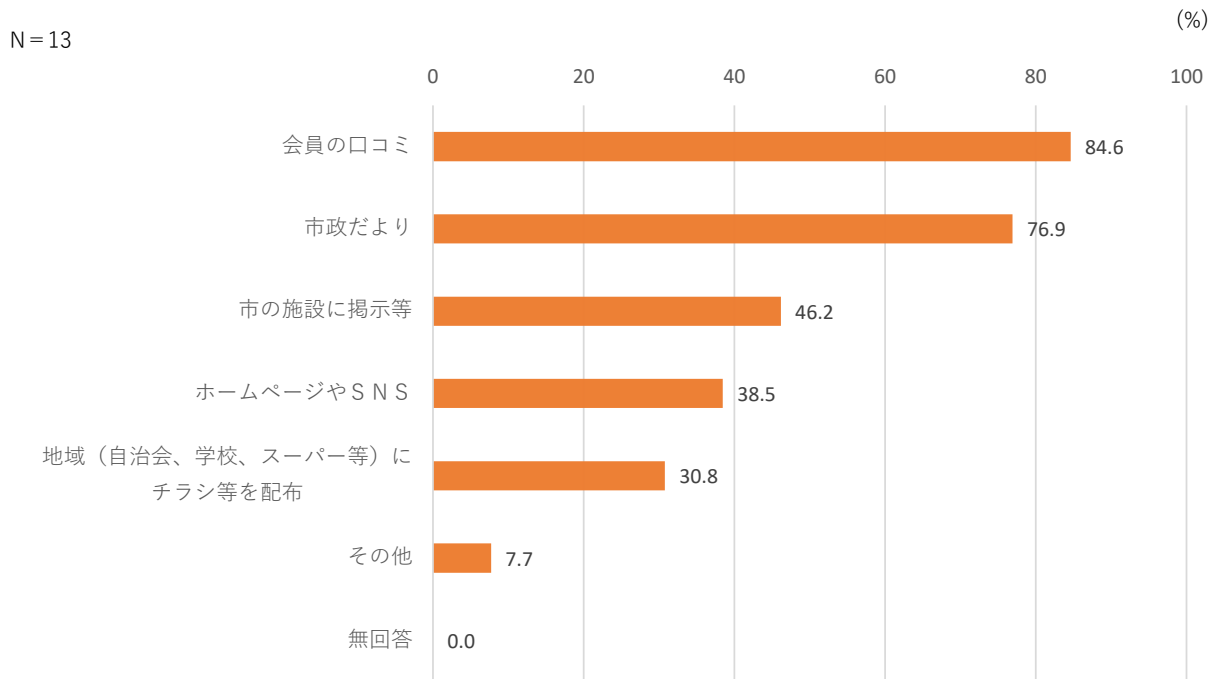


図 41 今後実施したい広報活動

8. 多様な主体を受け入れるための取り組み (SA)

多様な主体を受け入れるための取り組みは、「行っている」(15.4%)と「今後行っていく」(30.8%)を合わせた「行う」が46.2%であり、「行う予定がない」の回答が53.8%で、やや多い。

N=13

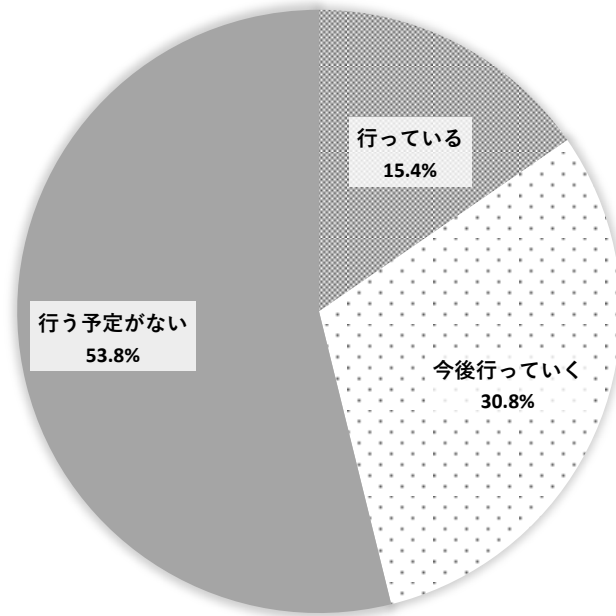


図 42 多様な主体を受け入れるための取り組み

具体例の主な内容		
行っている	1	車イスの団員もいる (n=1)

9. 多様な主体が鑑賞しやすいように工夫していること (MA・あてはまるもの全て)

多様な主体が鑑賞しやすいように工夫していることは、「子連れ、こどもが来場しやすいようにしている」が38.5%と最も高く、次いで「障害のある方も来場しやすいようにしている」が23.1%である。

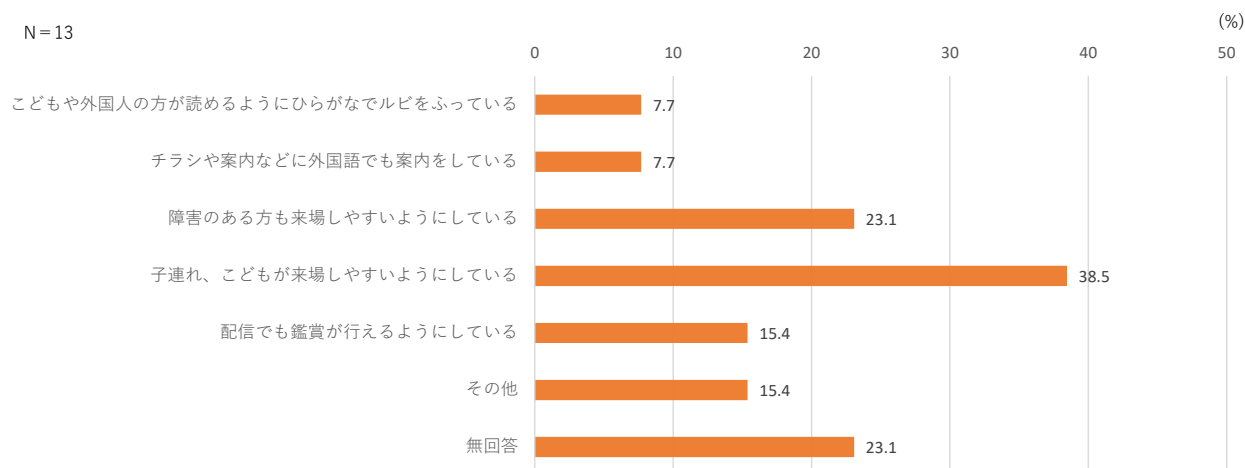


図 43 多様な主体が鑑賞しやすいように工夫していること

「その他」の主な内容		
その他	2	地域で連絡している (n=1) / 入場費は会主催者が受け持つ (n=1)

10. 市民参加を活性化する取り組み (SA)

市民参加を活性化する取り組みは、「行っている」(46.2%)と「今後行っていく」(15.4%)を合わせた「行う」が61.6%であり、大半の団体で、市民参加を活性化する取り組みの活性化を目指していることがわかる。

N=13

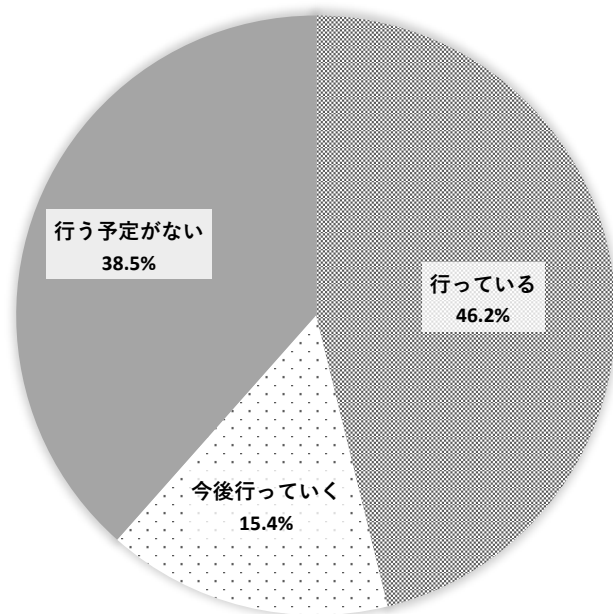


図 44 市民参加を活性化する取り組み

具体例の主な内容		
具体例	9	分かりやすい、市民と楽しむ芸能にしたい。市民と楽しい伝統、詩吟に工夫を加えて行く (n=1) / 伝統芸術の体験を一般市民・学校向けに実施 (n=1) / ワークショップや体験会の開催 (n=1) / 市・能連の年2回の大会に、一般の方々に能舞台に上って貰って、謡・仕舞・鼓演奏を体験して貰っている (n=1) / [合唱の集い] 等をやったが、人が集まらない (n=1) / 常に会員拡大、内容の充実、行事の拡大、思案中 (n=1) / 出張公演のほかに自主公演を計画し、上演していく (n=1) / 市民を対象とした体験茶会の実施 (n=1) / 合唱部員等一般募集している (n=1)

11. こどもや若者が加入するための取り組みや育成するための取組（SA）

こどもや若者が加入するための取り組みや育成するための取組は、「行っている」（53.8%）と「今後行っていく」（7.7%）を合わせた「行う」が 61.5%であり、大半の団体で、こどもや若者が加入するための取り組みや育成を目指していることがわかる。

N = 13

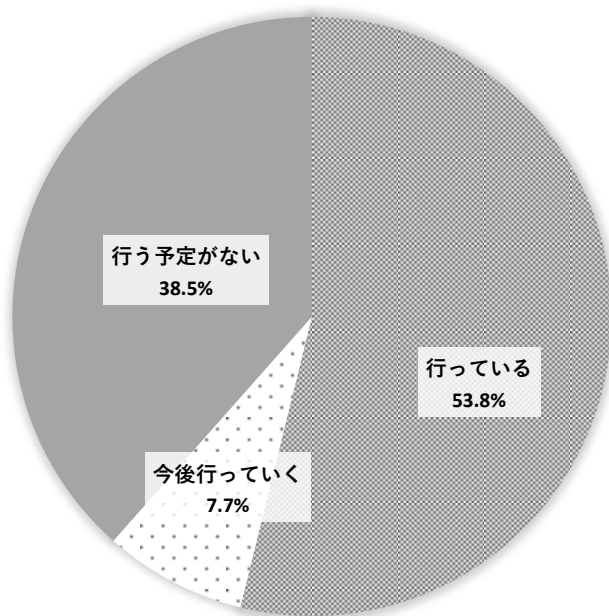


図 45 こどもや若者が加入するための取り組みや育成するための取組

具体例の主な内容		
具体例	8	地域の子供たちに練習の機会を設けている（n=1）/現在、少々の小学生がいるため、その普及に努力している（n=1）/現代に即した分かりやすいレッスン（n=1）/受験期などは休団という形で一時お休みすることも可能にして、できる限り長く活動できる環境を作っている（n=1）/舞台上に上がって貰うために事前のお稽古を指導している（n=1）/子ども中心の「短歌をつくって色紙に書こう」生涯学習センターにて行っているが連れ添う親御さんの参加なども検討中（n=1）/ファミリー向け公演時にはワークショップなどを催し、団員募集の声掛けをする（n=1）/子どもを対象とした体験の実施、参加費の軽減（n=1）

12. ①アーティストバンクの認知度 (SA)

アーティストバンクの制度について、「知らない」が 53.8%で、「知っている」が 46.2%である。「知らない」の方が高く、半数以上の団体が認知していなかった。

N = 13

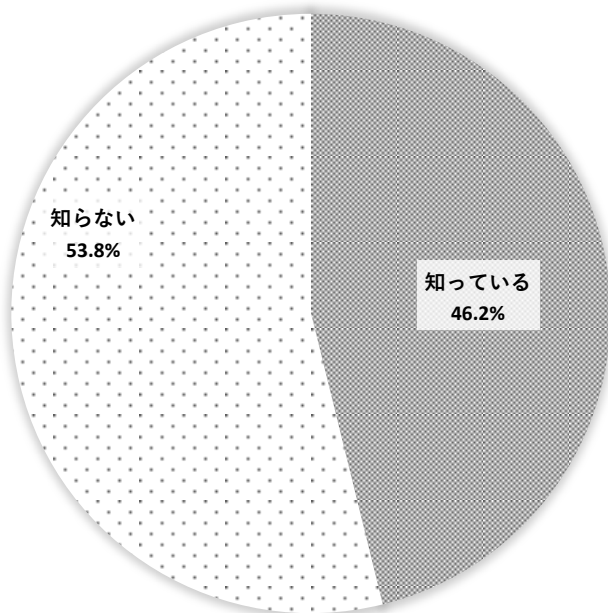


図 46 アーティストバンクの認知度

12. ②アーティストバンクの利用希望 (SA)

アーティストバンクの利用希望について、「利用、登録いずれもしてみたいと思わない」が38.5%と最も高く、「利用のみしてみたい」と、「登録のみしてみたい」が23.1%で並んでいる。

N = 13

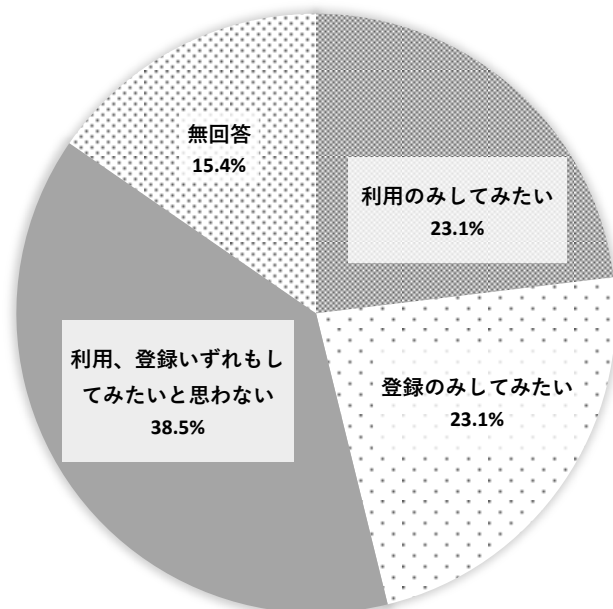


図 47 アーティストバンクの利用希望

13. 重点的に連携すべき分野（MA・2つまで）

重点的に連携すべき分野は、市民意識調査^(※)では、5番目（24.0%）であった「こども」が76.9%と最も高く、次いで「経済」、「歴史」、「福祉」が23.1%で並んでいる。

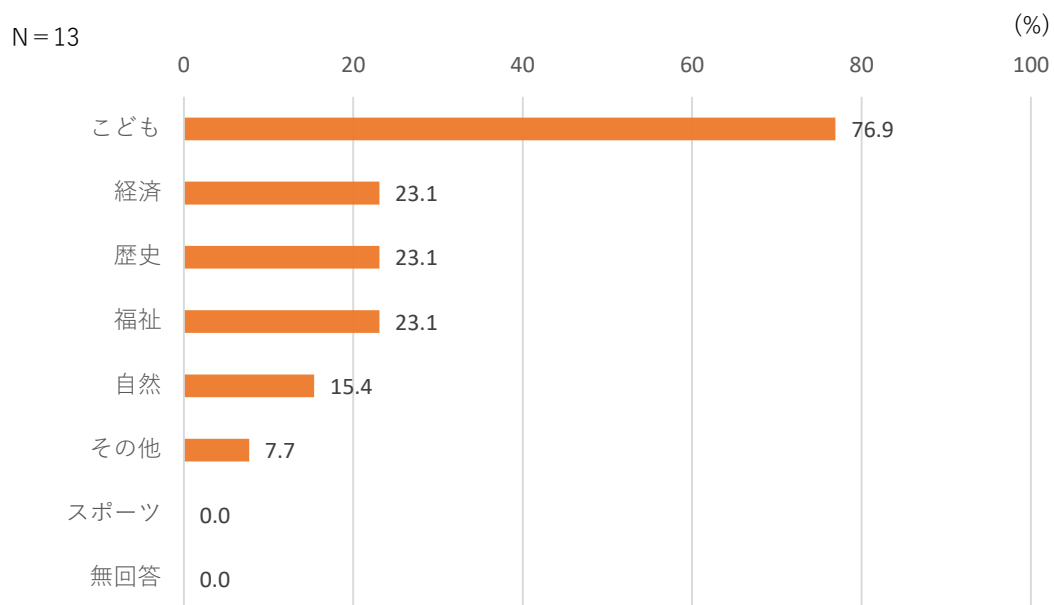


図 48 重点的に連携すべき分野

※市民意識調査では、「経済」(53.4%)、「自然」(40.9%)、「歴史」(33.3%)、「スポーツ」(30.0%)、「こども」(24.0%)、「福祉」(8.4%)の順（参照33頁）

14. 文化芸術振興のために重点をおくべきこと（MA・3つまで）

文化芸術振興のために重点をおくべきことは、「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」と「市民の文化芸術活動場所の充実」が同率で 53.8%と最も高く、次いで「子どもたちの文化芸術体験の充実」（38.5%）、「文化財や伝統芸能などの保存・活用」（30.8%）である。

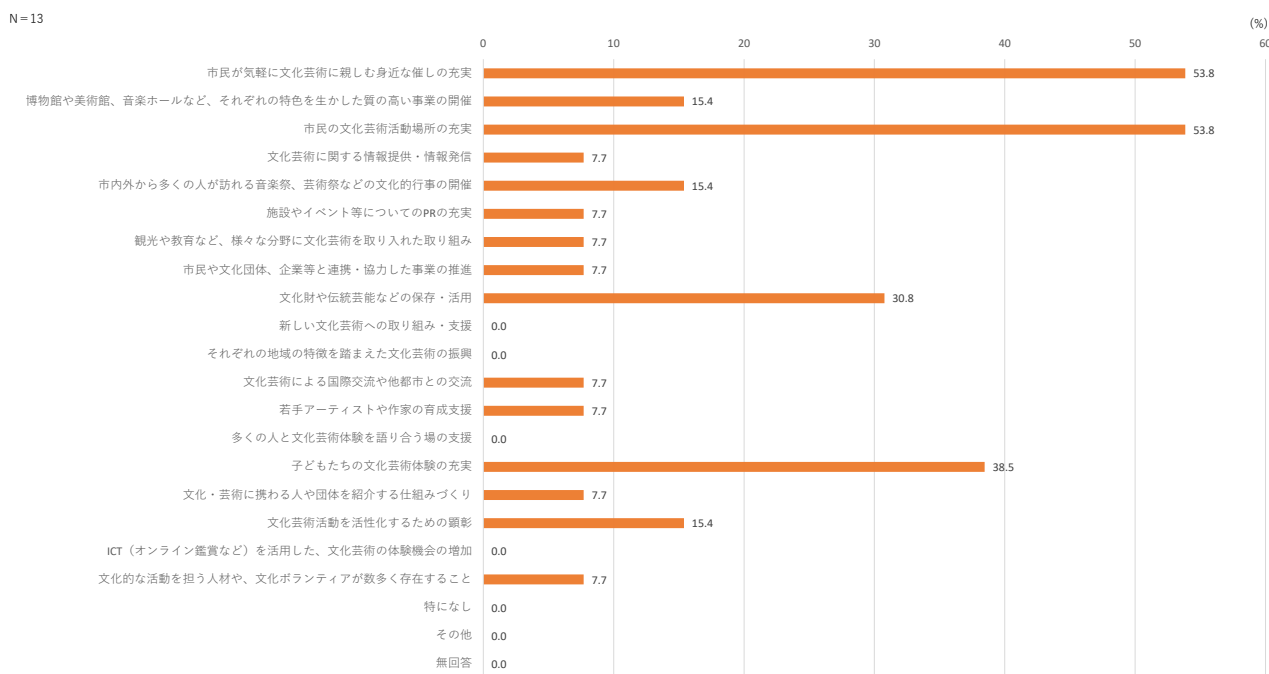


図 49 文化芸術振興のために重点をおくべきこと

15. 文化芸術振興のために自団体でどのような取組みが実現できるか（自由記述）

文化芸術振興のためにできる自団体での取組みの自由回答を趣旨ごとに分類して整理した。

分類	意見
会員を増やす 取組み	現行を維持し、若い人の入会に期待している。努力し続ける。
	会員増強。魅力ある行事の開催。
演奏会、イベント 等への参加	市民音楽祭。一般公募による市民第九。
	市の応援のもと、”伝統芸能に親しむ“公演、学校体験教室などの実施、アーティストバンクへの演奏者登録。
	能楽に親しんでもらうために、市教委、県文化振興課の指導で小・中学校へ出向いて能楽のプレゼンテーションを続けて15年経過した。今後も続行していきます。
	国民文化祭の人形劇部門への参加、千葉県人形劇祭りへの参加、有志による毎年長野県飯田市で開催されるフェスへの参加等を積極的に利用し交流を図っている。

3. 4 若者調査

1. 主な趣味 (MA・3つまで)

主な趣味は、「音楽を聴くこと」が 60.3%と最も高く、次いで「10分以上の長めの動画鑑賞 (YouTube、ニコニコ動画など)」(38.4%)、「アニメ (鑑賞・制作含む)」(22.1%)、「マンガを読むこと」(19%) である。

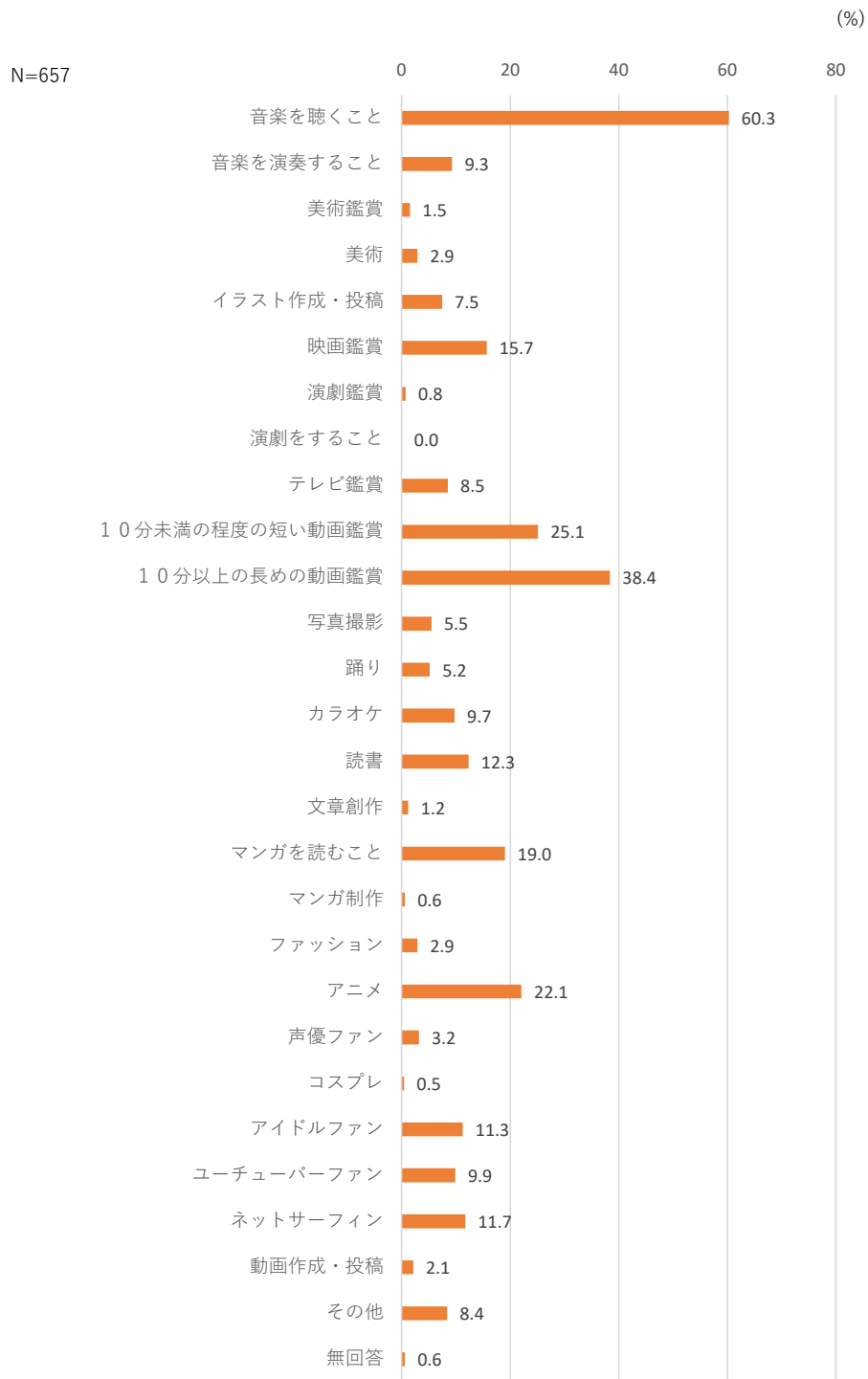


図 50 主な趣味

「その他」の主な内容		
スポーツ	18	野球 (n=4) / バスケットボール (n=3) / サッカー (n=1) / テニス (n=1) / スポーツ (n=6) / 筋トレ (n=1) / ジャグリング (n=1) / スノーボード (n=1)
ゲーム	20	ゲーム (n=19) / ポケモンカードゲーム (n=1)
PC	3	プログラミング (n=2) / 自作パソコン (n=1)
配信	3	YouTube に動画投稿 (n=2) / ツイッチで配信 (n=1)
その他	12	自動車 (n=2) / 寝ること (n=2) / メイク (n=1) / お菓子作り (n=1) / 書道 (n=1) / プラモデル (n=1) / 写真撮影 (n=1) / 勉強 (n=1) / クイズ (n=1) / 旅行・グルメ (n=1)

2. 一番好きな趣味 (SA)

一番好きな趣味は、「音楽を聴くこと」が21.3%と最も高く、次いで「10分以上の長めの動画鑑賞 (YouTube、ニコニコ動画など)」(12.0%)、「マンガを読むこと」(6.7%)、アニメ (鑑賞・制作含む)」(6.5%) であり、主な趣味と同傾向である。

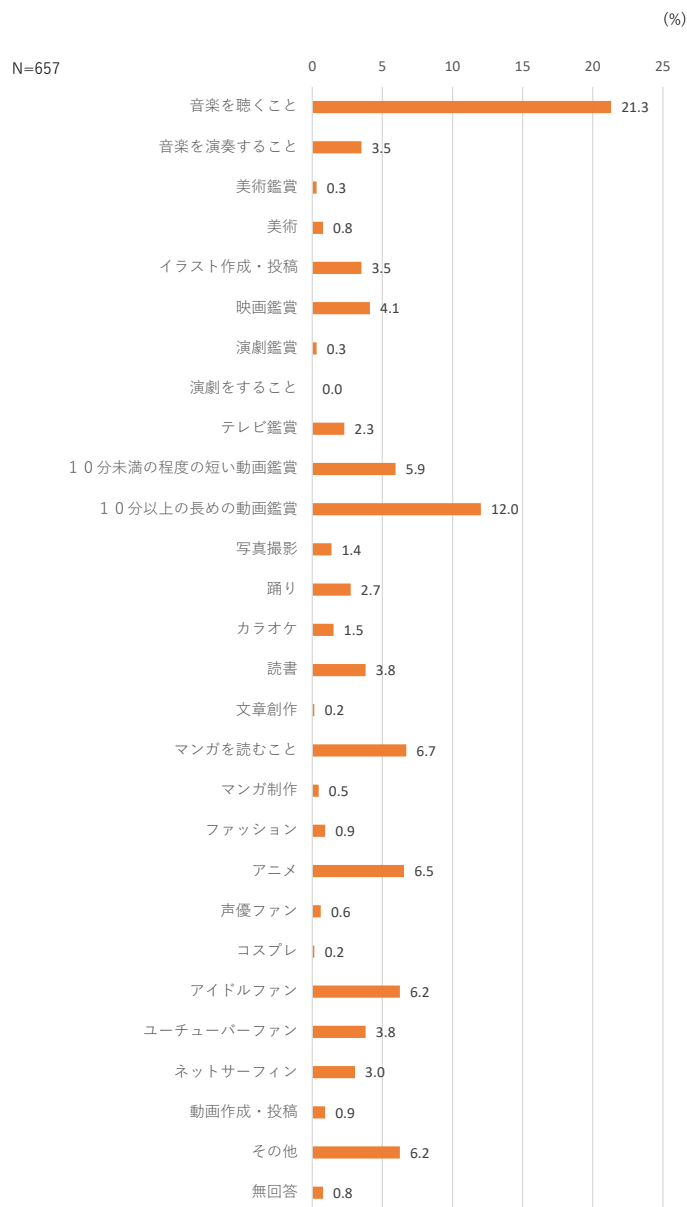


図 51 一番好きな趣味

「その他」の主な内容		
スポーツ	3	テニス (n=1) / 筋トレ (n=1) / スノーボード (n=1)
ゲーム	7	ゲーム (n=7)
PC	2	プログラミング (n=1) / 自作パソコン (n=1)
その他	2	自動車 (n=1) / クイズ (n=1)

3. 一番好きな趣味を行う頻度 (SA)

一番好きな趣味を行う頻度は、「毎日」の 72.8%が最も高く、次いで「週に2～3回」(17.5%)である。趣味は生活サイクルの中に組み込まれていることがわかる。

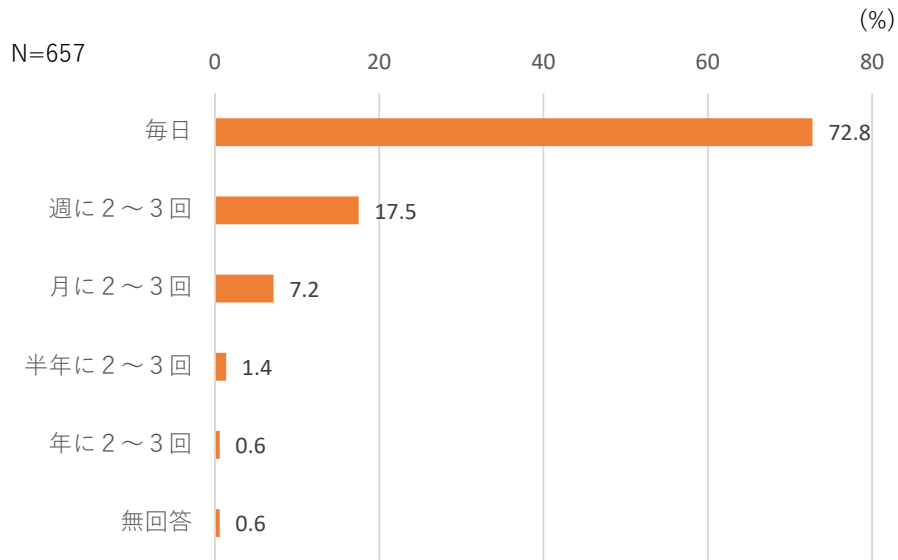


図 52 一番好きな趣味を行う頻度

4. 一番好きな趣味を楽しむ相手 (SA)

一番好きな趣味を楽しむ相手は、「個人で行う（共有しない）」の72.8%が最も高く、次いで「知人や友人と一緒にいる」（17.5%）である。

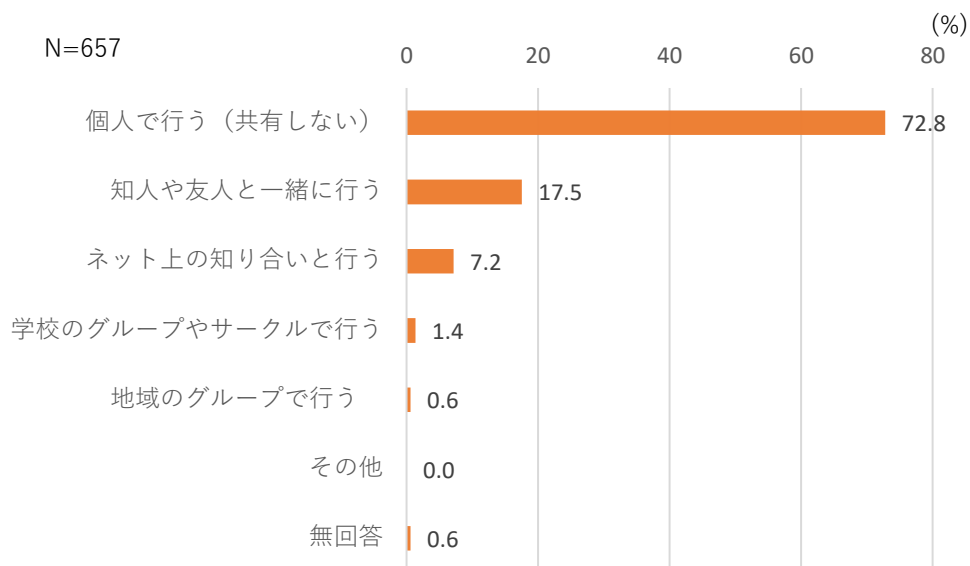


図 53 一番好きな趣味を楽しむ相手

「その他」の主な内容		
家族	21	家族 (n=13) / 兄弟姉妹 (n=6) / 親 (n=2)
友人	14	個人と友人 (n=9) / 友人 (n=5)
部活など	5	部活 (n=3) / 習い事 (n=2)
その他	6	個人 (n=3) / オンラインで知らない人 (n=3)

5. 趣味に関する情報（MA・あてはまるもの全て）の入手先

趣味に関する情報の入手先は、「動画（YouTube・Tiktokなど）」の78.4%が最も高く、次いで「インターネット」（69.3%）、「SNS（Instagram・Twitterなど）」（65.4%）である。「テレビ」は50.1%であるものの、その他の新聞、ラジオ等従来のマスメディアからの情報の利用は低くなっており、インターネットやSNSを通じて入手していることが多い。

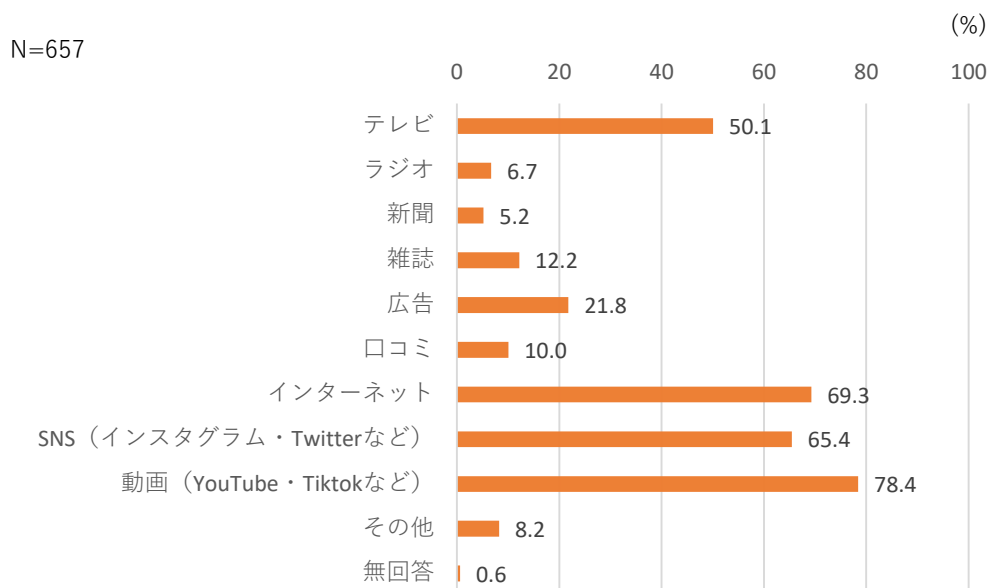


図 54 趣味に関する情報

「その他」の主な内容		
家族	5	家族（n=2）/兄弟姉妹（n=1）/親（n=2）
その他	34	友人（n=21）/HP（n=4）/漫画（n=2）/書籍（n=2）/部活（n=1）/チラシ（n=1）/スマホ（n=1）/ツイキャス（n=1）/書店（n=1）

6. ①千葉市内で過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術（MA・3つまで）

千葉市内で過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術は、「映画（アニメーションはメディア芸術を含む）」の38.1%が一番高く、次いで「音楽」（25.4%）、「メディア芸術（アニメ・マンガなど）」（14.9%）である。

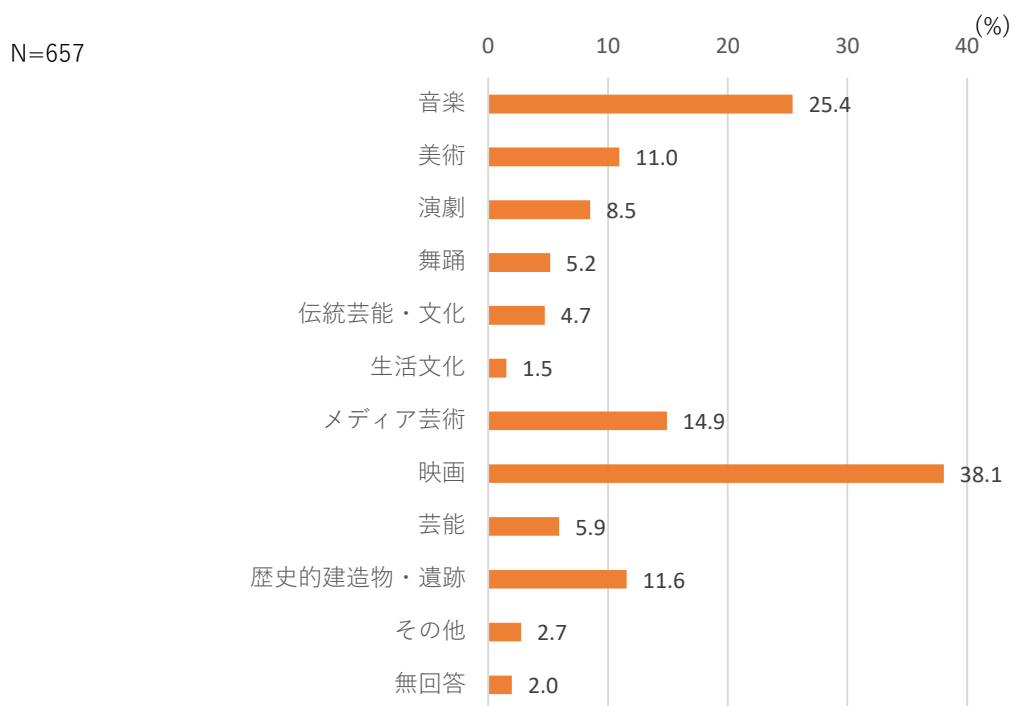


図 55 千葉市内で過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術

「その他」の主な内容		
スポーツ	4	サッカーの試合 (n=1) / ジャグリングの大会 (n=1) / フラダンスの発表会 (n=1) / スケート (n=1)
その他	11	プラネタリウム (n=2) / コンサート (n=2) / 演劇 (n=1) / 人形 (n=1) / 化石 (n=1) / 書道 (n=1) / 水族館 (n=1) / クイズ (n=1) / 旅行・グルメ (n=1)

6. ②千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の満足度 (SA)

千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の満足度は、「満足している」(41.2%)と「まあまあ満足している」(40.8%)を合わせた「満足」が82.0%であり、「不足している」(7.6%)と「とても不足している」(3.2%)を合わせた「不足」が10.8%であり、概ね満足している。

N = 633

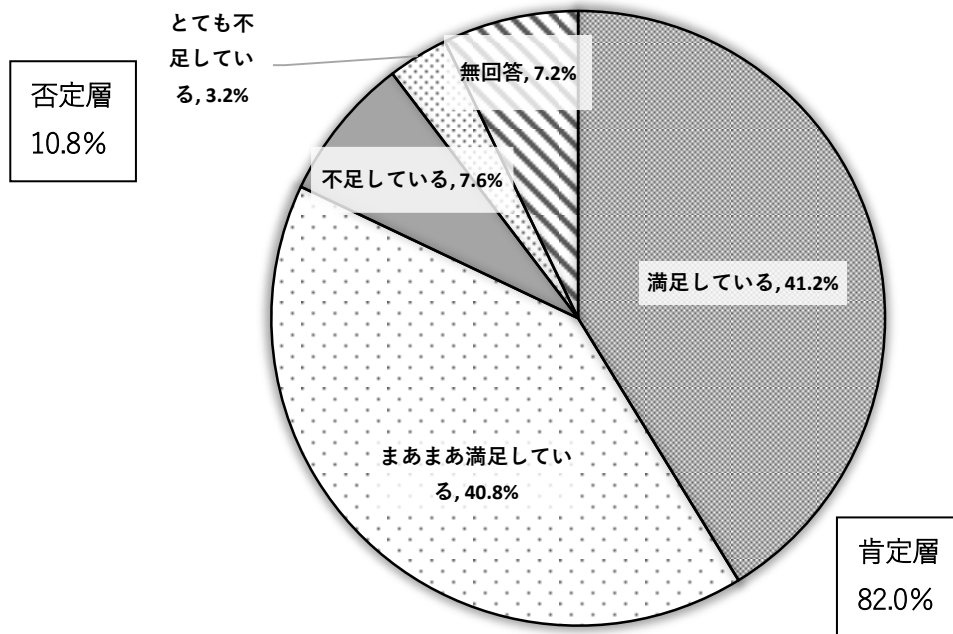


図 56 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の満足度

7. 市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題（SA）

市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題は、「鑑賞・体験したいものがない」が31.7%と最も高く、次いで「鑑賞・体験する時間がない」（18.7%）、「文化芸術に関する情報を入手しにくい」（15.5%）である。

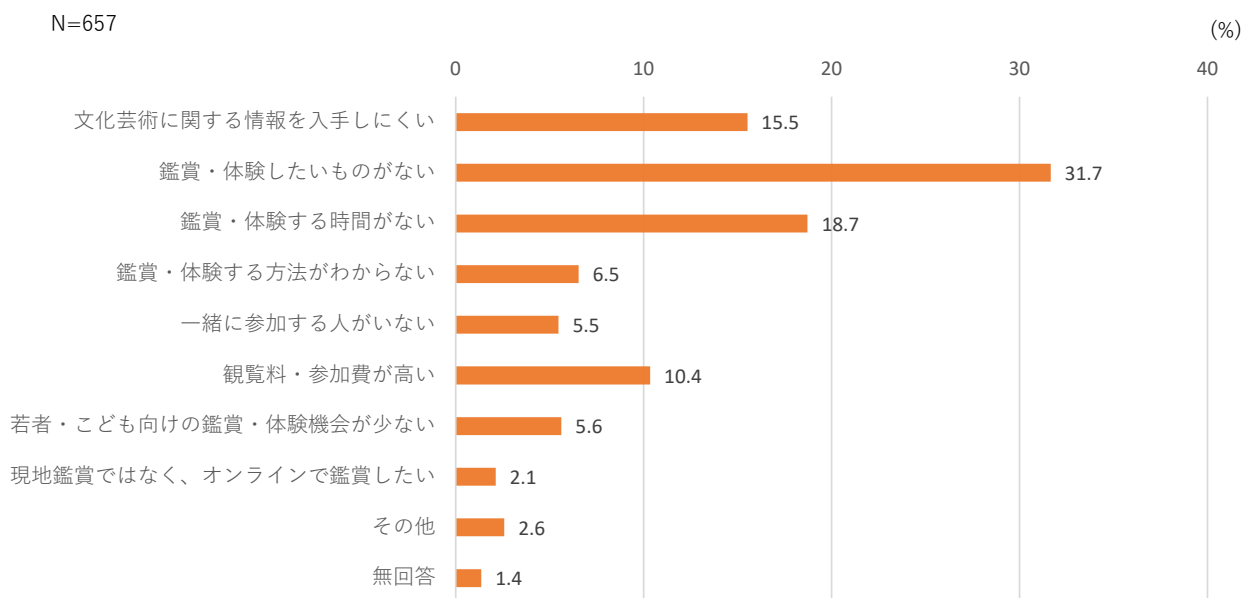


図 57 市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題

「その他」の主な内容		
施設	3	千葉市施設予約システムが使いづらかった (n=1) /音響設備が悪い (n=1) /交通手段が少ない (n=1)
その他	6	時間がない (n=2) /お金がない (n=2) /何をしているのか、いまいち伝わっていない (n=1) /このままでよい (n=1)

8. 文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること (SA)

文化芸術の鑑賞・体験で今後期待することは、「参加費の安い（無料）鑑賞・体験機会の増加」が33.3%と最も高く、次いで「現地で鑑賞・体験する機会」（23.6%）、「鑑賞・体験する機会の情報発信」（16.1%）である。

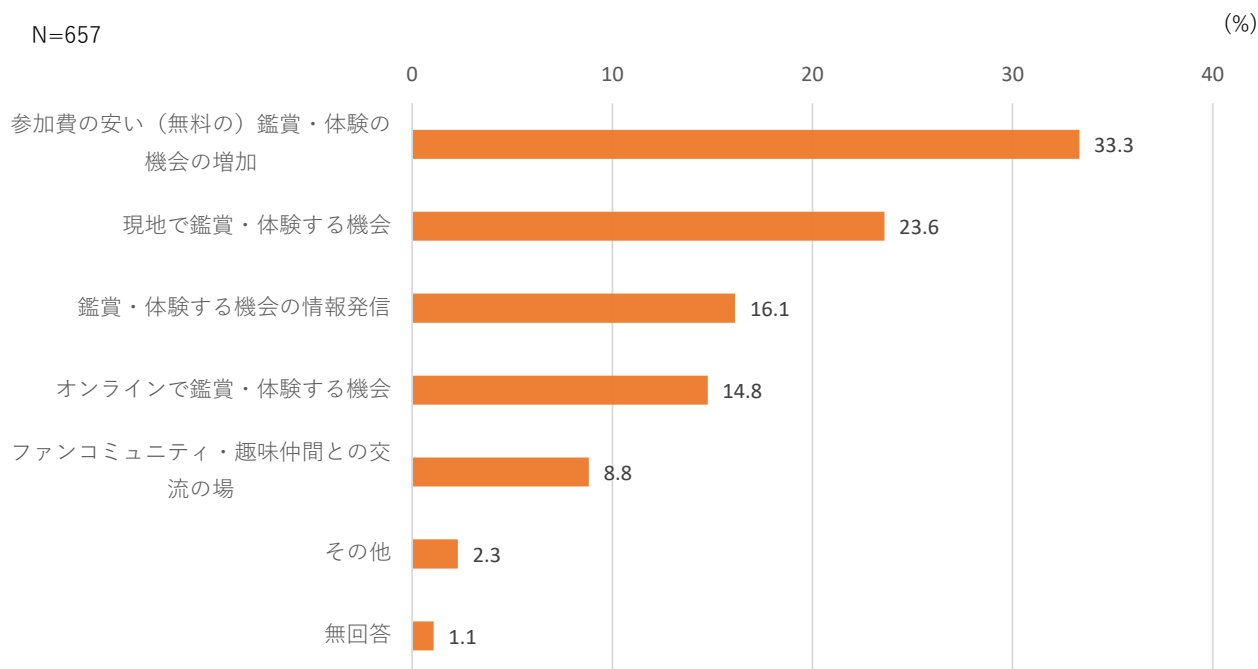


図 58 文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること

「その他」の主な内容		
その他	9	期待していない (n=3) / 海岸に税金を使い過ぎず私たちが気軽にできるものへも投資してほしい (n=1) / 学校で鑑賞会をやってほしい (n=1) / 若い人たちの感情や「令和」という時代に合っているもの (n=1) / 朝早くなど夜おそくまでやってほしい (n=1) / ハードルの低いものになればいいと思う (n=1) / アニメ等とコラボ (n=1)

9. 文化芸術の学習で今後期待すること (SA)

文化芸術の学習で今後期待することは、「現地に行き、コンサートや展示などを直接鑑賞する機会」が 53.1%と最も高く、次いで「授業中にタブレットなどで、絵画・画像などを資料として学習する機会」(30.3%)である。

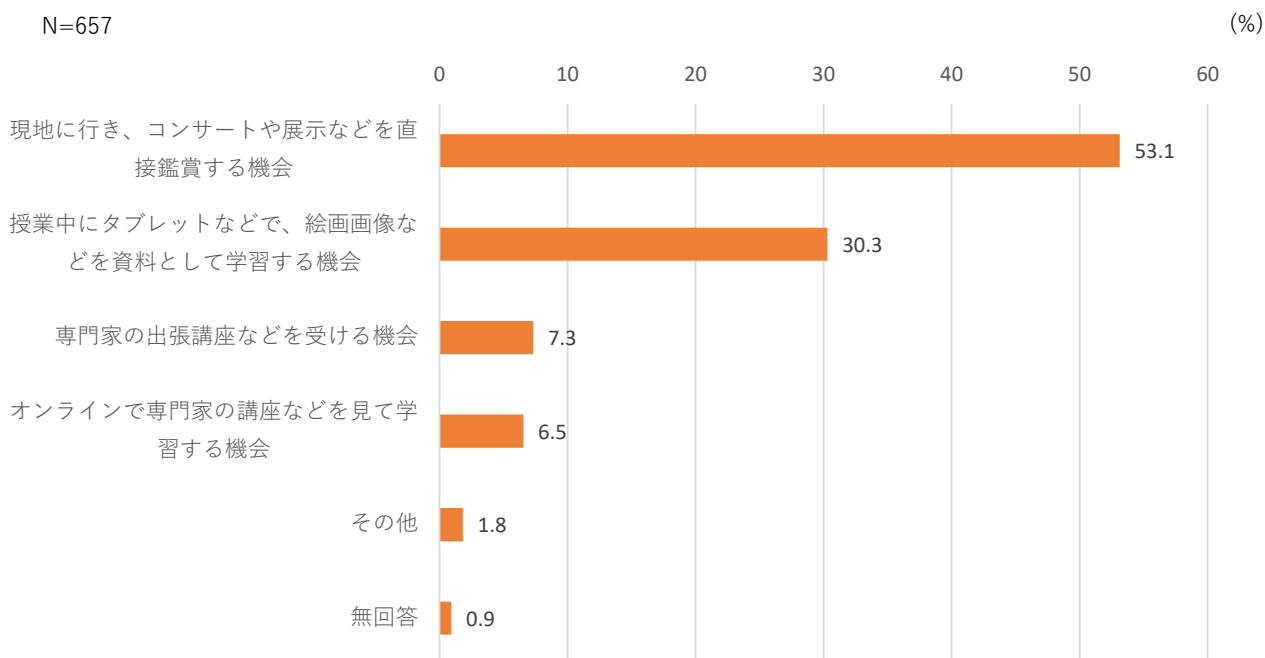


図 59 文化芸術の学習で今後期待すること

「その他」の主な内容		
その他	5	期待していない (n=2) /開催している催しに対する知識が不足している場合でも、デジタル技術を駆使して、簡単かつわかりやすく必要な情報を学べる仕組み (n=1) /高校でも芸術科目を週一でいいから必須科目にする (n=1) /日本の誇りである書道をもっと勉強したい。ネットやスマホやパソコンで字を書く機会も減り、自分で書く事や鑑賞する機会がない。また、水墨画も体験したい。仕上がった作品は展覧会をして家族や友人に見てもらいたい。(n=1)

10. 千葉市の事業・イベント・施設の認知度（MA・あてはまるもの全て）

千葉市の事業・イベント・施設の認知度は、「千葉市民会館」の50.7%が最も高く、次いで「千葉市美術館」（49.9%）、「千葉市文化センター」（38.4%）である。

一方、イベントでは、「マジカルミライ」が19.6%と最も高く、次にROAD TO JAPANJAM、Cフェスなどが続く。市民意識調査とは異なり、メディアアートやロックフェスなどの認知度が高いことがわかった。

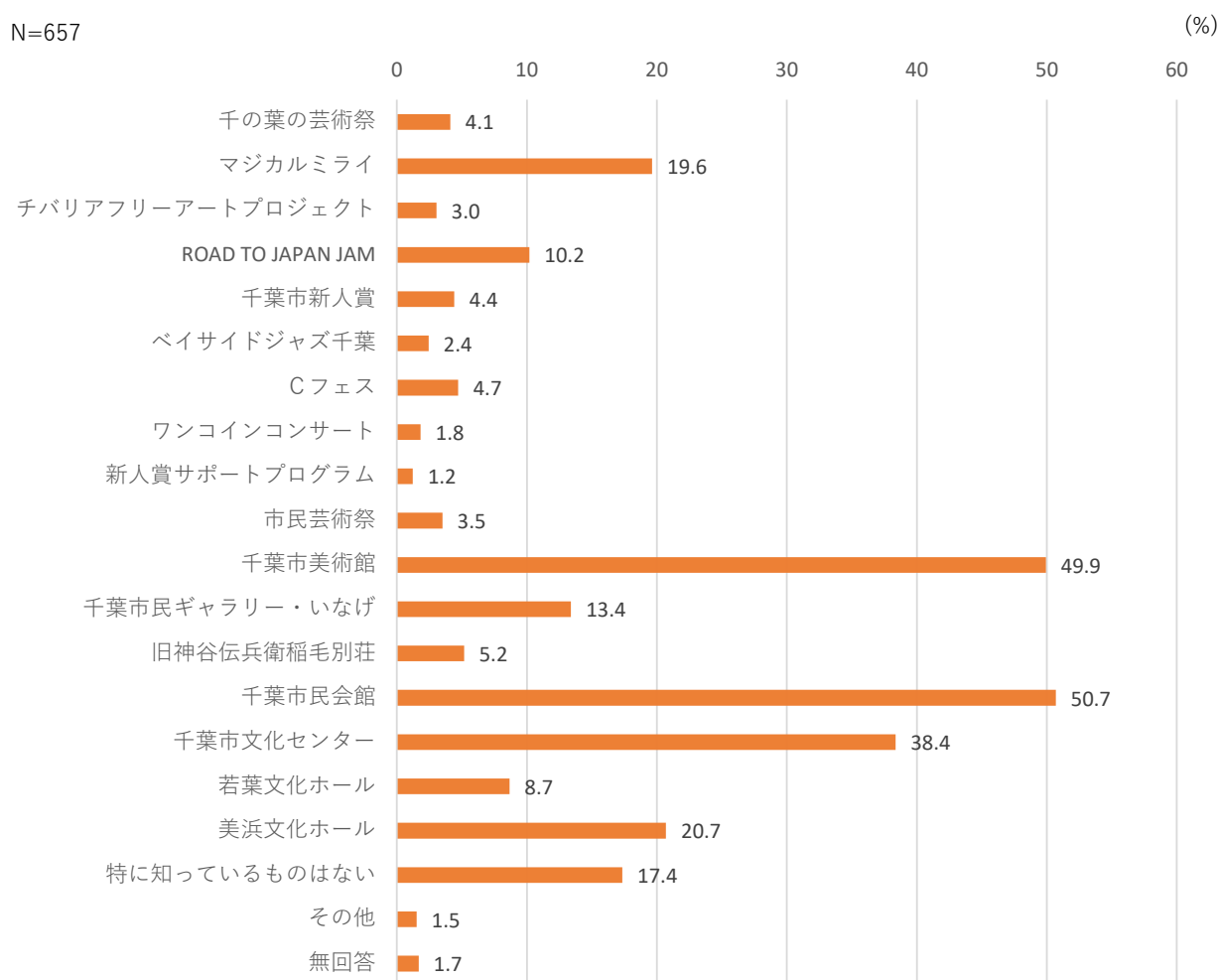


図 60 千葉市の事業・イベント・施設の認知度

「その他」の主な内容		
その他	2	コミケ100 (n=1) /東京ゲームショー (n=1)

※市民意識調査は、「千葉市美術館」（75.2%）、「千葉市民会館」（67.5%）、「千葉市文化センター」（58.8%）の順（参照20頁）

11. ①市のイベントや施設の情報を得る手段（MA・あてはまるもの全て）

市のイベントや施設の情報を得る手段は、「ポスター」が 33.9%と最も高く、次いで「チラシ」(32.1%)、「市政だより」(25.4%)である。趣味に対する情報は「インターネット」(69.3%)や「SNS（Instagram・Twitter など）」(65.4%)で得ているのに対し、市のイベントや施設の情報を SNS で得るのは、「各施設の SNS」が 11.1%、「千葉市の SNS」が 9.6%に留まり、SNS の活用があまりなされていない。

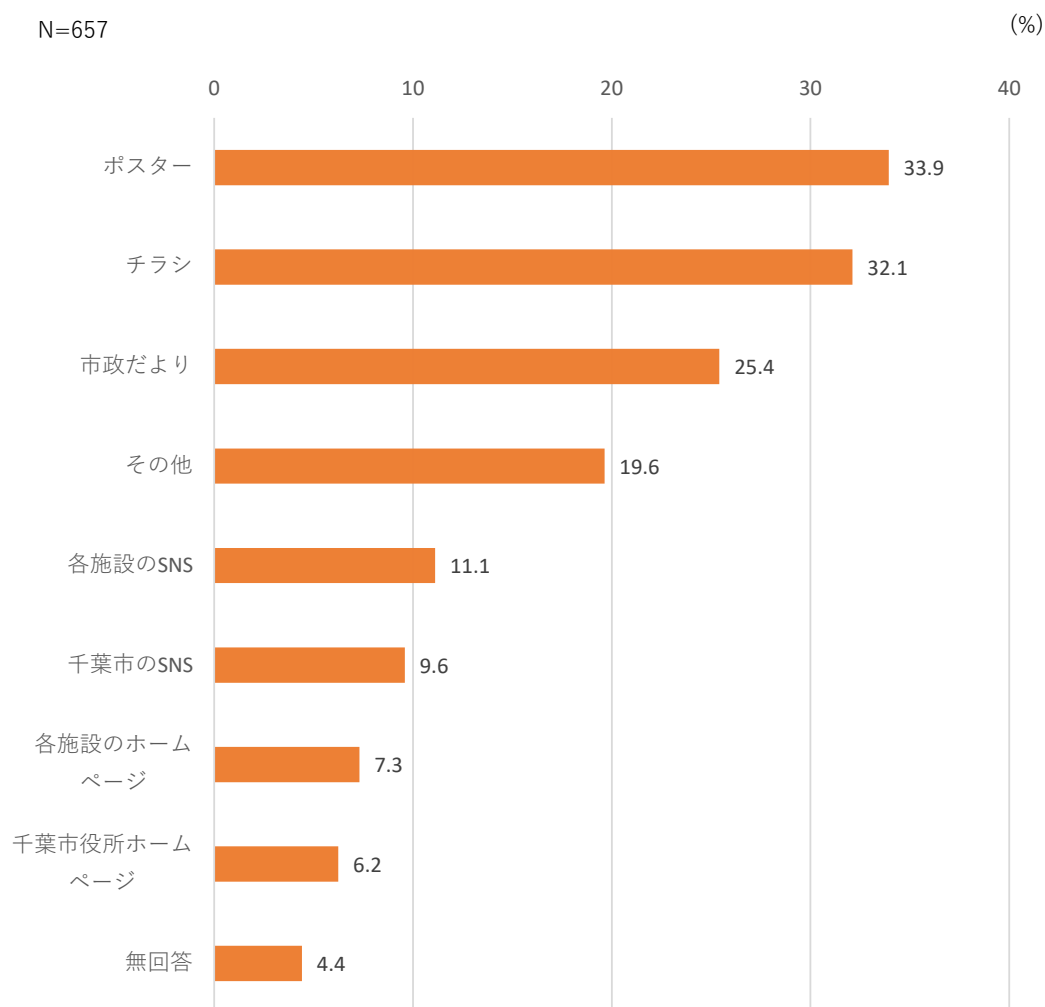


図 61 市のイベントや施設の情報を得る手段

「その他」の主な内容		
家族	19	親 (n=16) / 家族 (n=2) / 兄弟姉妹 (n=1)
人づて	19	友人 (n=10) / 人づて (n=9)
学校	24	学校 (n=17) / 部活 (n=7)
その他	19	SNS など (n=7) / インターネット (n=5) / テレビ (n=3) / 習い事 (n=2) / 地域新聞やホットペッパーなどの無料雑誌など (n=2)

11. ②希望する市のイベントや施設の情報発信（MA・あてはまるもの全て）

希望する情報発信の手段は、「ポスター」が37.9%と最も高く、次いで「千葉市の SNS」（35.2%）、「チラシ」（33.6%）である。現時点では「千葉市の SNS」から情報を得ていない（9.6%）ものの、今後の「千葉市の SNS」に期待していることがみてとれる。「千葉市の SNS」への期待は、市民意識調査*の結果と同様である。

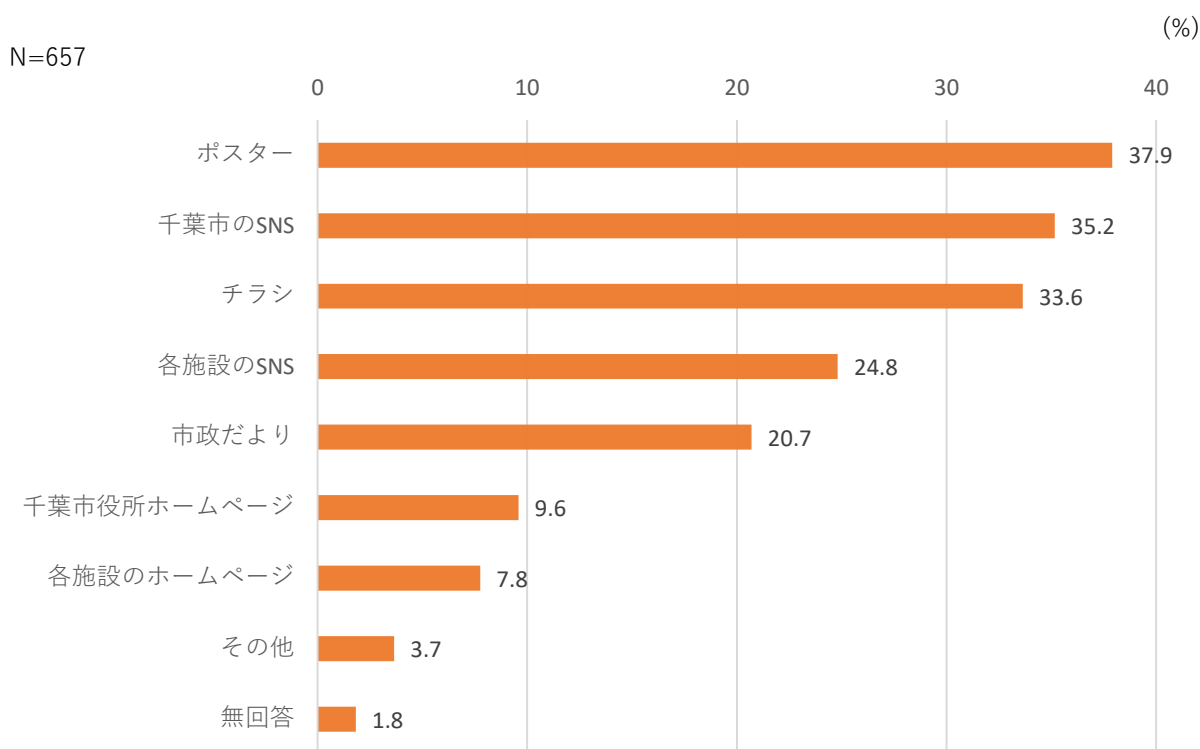


図 62 希望する市のイベントや施設の情報発信

「その他」の主な内容		
その他	14	学校 (n=5) / テレビ (n=4) / SNS など (n=2) / 新聞 (n=1) / 回覧板 (n=1) / WEB ニュース (n=1)

*市民意識調査は、「市政だより」（49.3%）、「千葉市の SNS」（26.9%）、「チラシ」25.3%の順（参照 23 頁）

12. 市ゆかりのアーティストの活躍 (SA)

市ゆかりのアーティストの活躍については、「感じられる」(12.0%)と「やや感じられる」(21.8%)を合わせた「感じられる」が33.8%であり、「あまり感じられない」(38.0%)と「感じられない」(26.5%)を合わせた「感じられない」が65.1%である。市民意識調査(参照24頁)の「感じられる」(14.7%)、「感じられない」(83.9%)と同傾向ではあるものの、市ゆかりのアーティストの活躍は、若者の認知度の方が高い。

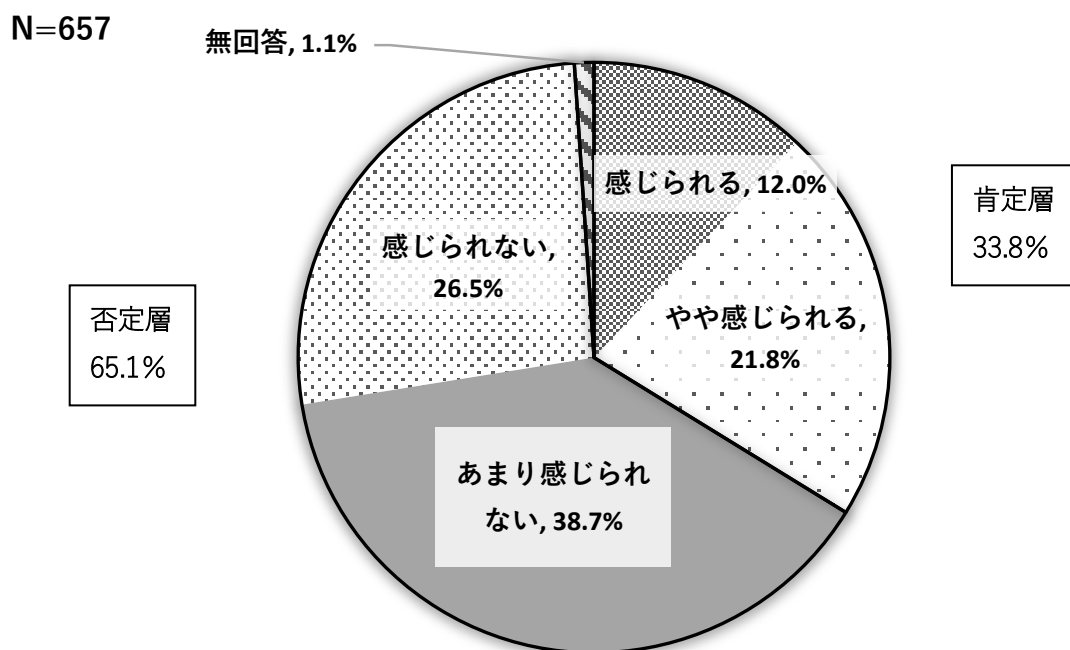


図 63 市ゆかりのアーティストの活躍

13. 市ゆかりのアーティストへの期待 (SA)

市ゆかりのアーティストへの期待は、「市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増」が38.7%と最も高く、次いで「市ゆかりのアーティストを中心としたコミュニティの形成」(26.5%)、「活躍した分野の認知度の向上と参加者の増」(21.8%)である。市民意識調査*と比べると、直接触れることとアーティストのコミュニティ形成についての期待が高い。

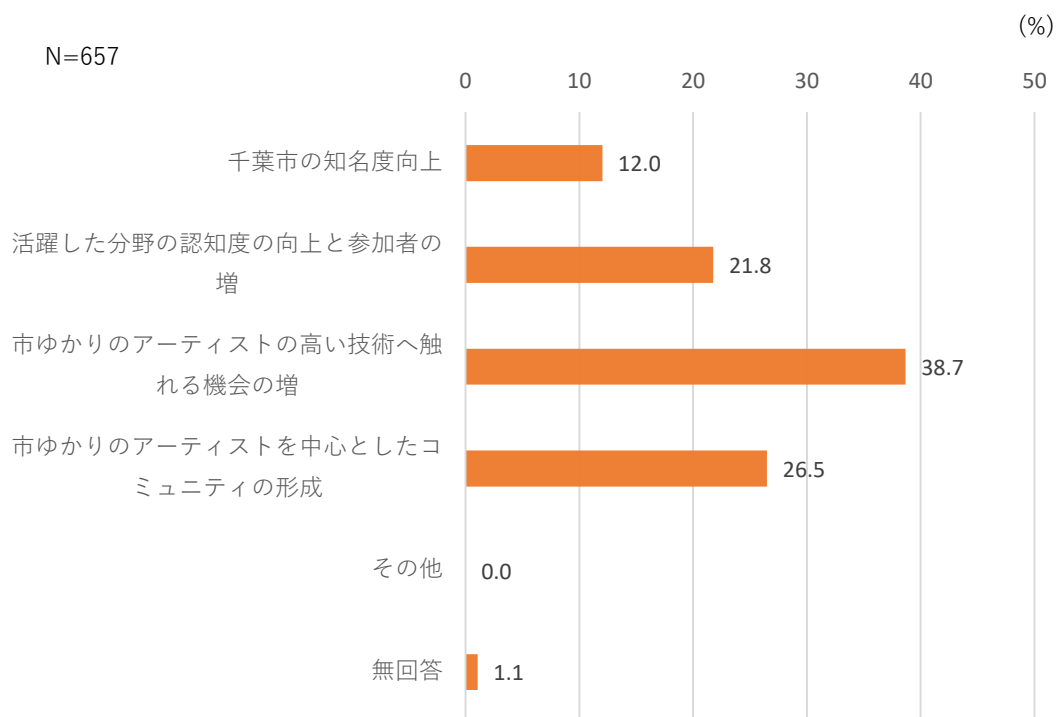


図 64 市ゆかりのアーティストへの期待

「その他」の主な内容		
その他	2	アーティストを有効に使うって千葉を末永く残すべきだと思う (n=1) / その人が思うことを縛られずに自由にやって欲しい (n=1)

※市民意識調査は、「活躍した分野の認知度の向上と参加者の増」(29.9%)、「千葉市の知名度向上」(28.3%)、「市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増」(27.5%)、「市ゆかりのアーティストを中心としたコミュニティの形成」(8.5%)の順(参照25頁)

14. 若手アーティスト活躍のためにあなたができること (SA)

若手アーティストが活躍するためにあなたができることは、「SNS等での周知」が49.0%と最も高く、次いで「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」(28.5%)である。市民意識調査と比べると、「SNS等での周知」が高い。

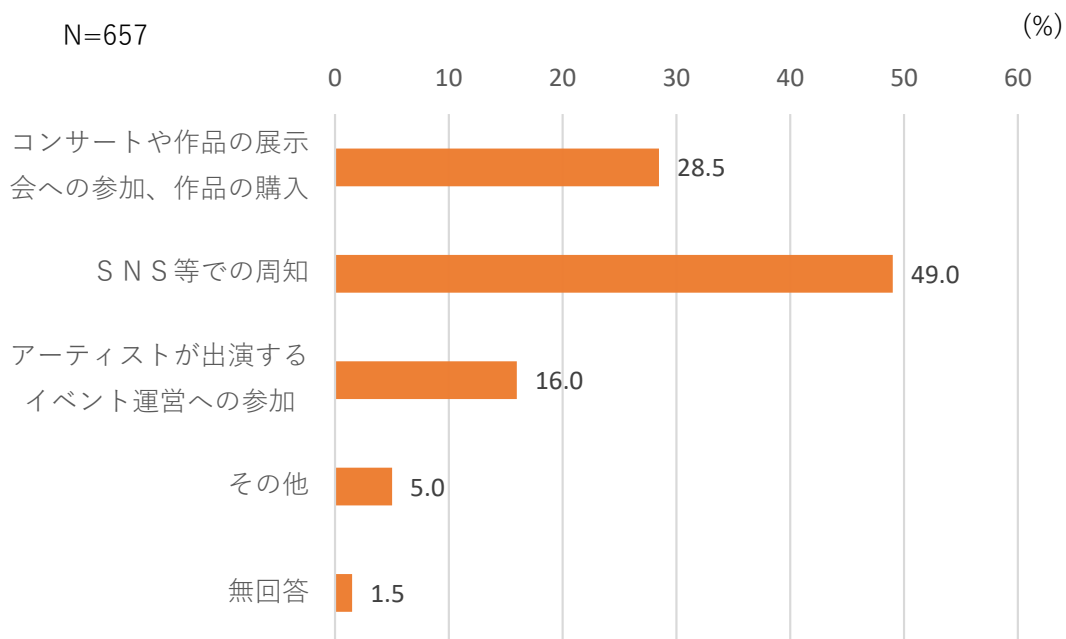


図 65 若手アーティスト活躍のためにあなたができること

「その他」の主な内容		
その他	7	人に勧める (n=4) / 応援 (n=2) / SNSのページを作る (n=1)

※市民意識調査は、「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」(59.2%)、「SNS等での周知」(19.1%)、「アーティストが出演するイベント運営への参加」(16.0%)の順(参照26頁)。

15. 若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援（SA）

若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援は、「発表の場の提供」41.1%と最も高く、次いで「創作活動が続けるための金銭的な支援」(26.6%)、「広報の充実」(17.7%)である。市民意識調査※も、「発表の場の提供」(41.1%)が最も高い。

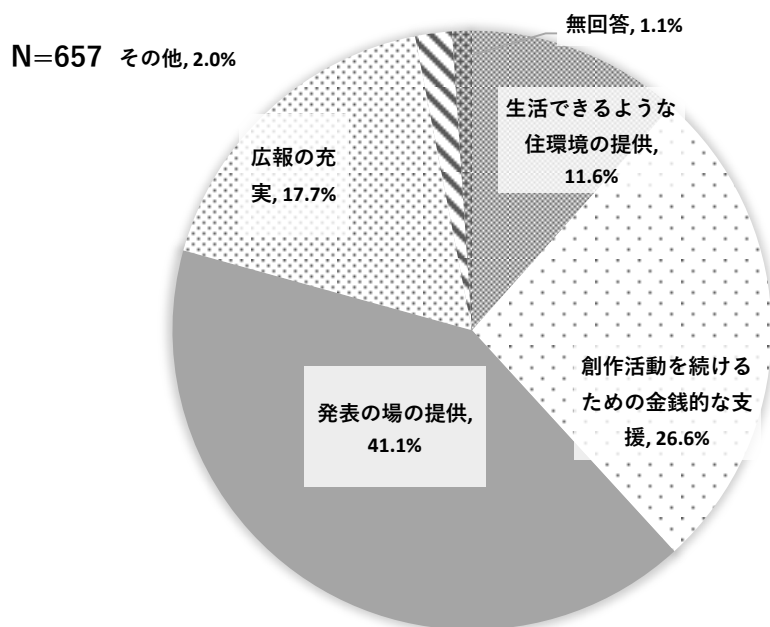


図 66 若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援

「その他」の主な内容		
その他	6	告知 (n=1) /若手アーティストを育成する場所を作る (n=1) /若手アーティストを発見する (n=1) /自分の力で成長して実力をつけたほうが良い (n=1) /市が支援を行うべきではない (n=1) /今のままでよい (n=1)

※市民意識調査は、「発表の場の提供」(49.8%)、「創作活動が続けるための金銭的な支援」(18.6%)、「広報の充実」(18.6%)、「生活できるような住環境の提供」(8.7%)の順(参照27頁)。

16. 千葉市は「文化が活発なまち」か (SA)

千葉市は「文化が活発なまち」かは、「思う」(13.7%)と「やや思う」(36.4%)を合わせた「思う」が50.1%であり、「あまり思わない」(38.2%)と「思わない」(10.7%)を合わせた「思わない」が48.9%である。市民意識調査※と比べると、「思う」が高い。

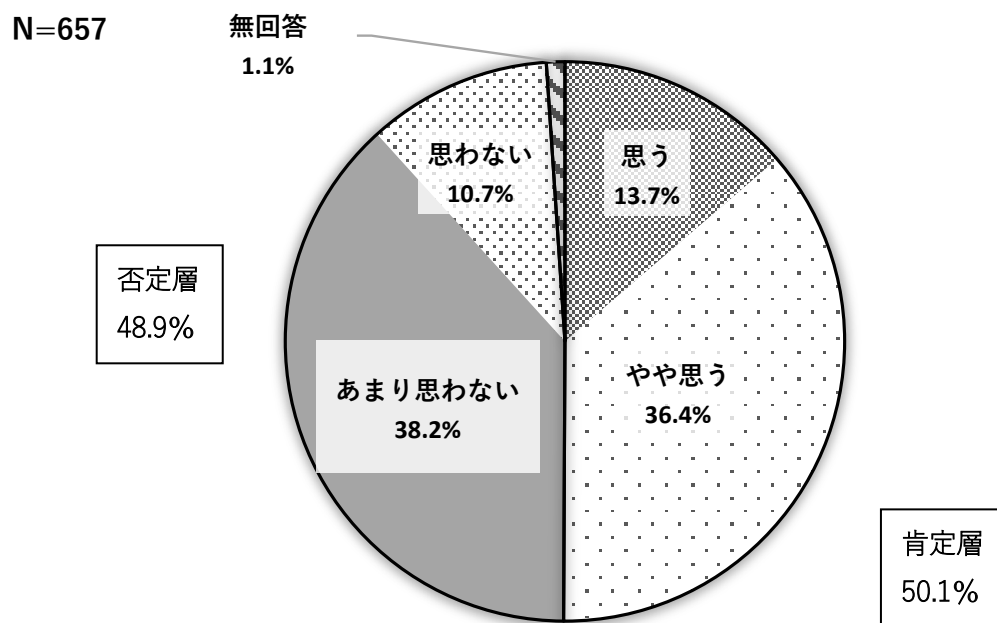


図 67 千葉市は「文化が活発なまち」か

※市民意識調査は「思う」が34.8%であり、「思わない」が64.6%である(参照28頁)。

17. 千葉市の文化芸術は千葉市らしさがあるか (SA)

千葉市の文化芸術は千葉市らしさがあるかは、「感じられる」(13.7%)と「やや感じられる」(30.6%)を合わせた「感じられる」が44.3%であり、「あまり感じられない」(39.6%)と「感じられない」(14.6%)を合わせた「感じられない」が54.2%である。市民意識調査*と比べると、「感じられる」が高い。

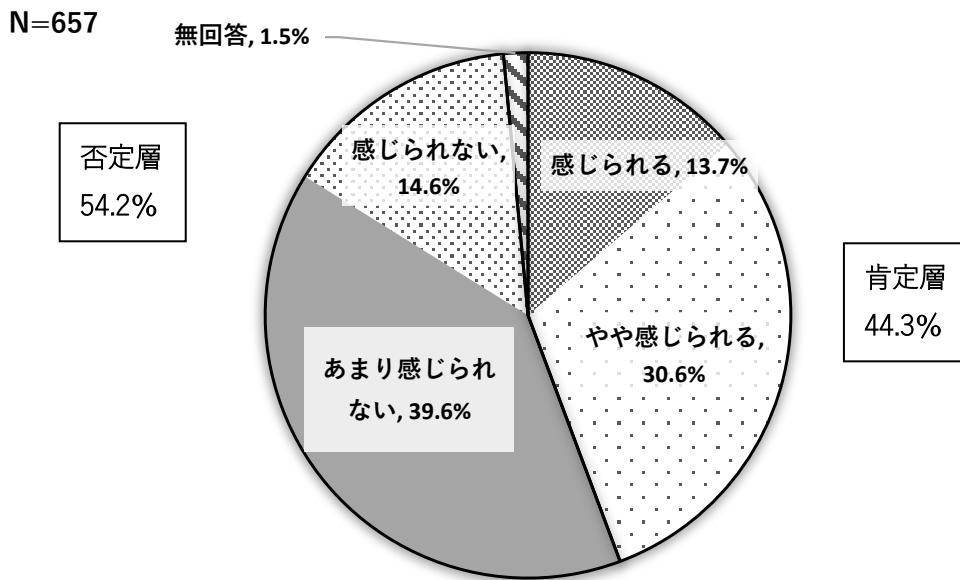


図 68 千葉市の文化芸術は千葉市らしさがあるか

※市民意識調査は、「感じられる」が23.5%であり、「感じられない」が75.0%である(参照29頁)。

18. 千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの（MA・3つまで）

千葉市の文化芸術として広く発信すべきものは、「音楽」が 45.7%と最も高く、次いで「写真」(33.9%)、「歴史的建造物・遺跡」(30.1%)、「メディア芸術（アニメーション含む）(26.2%)」である。過去1年間に鑑賞・体験した文化芸術では、「歴史的建造物・遺跡」は 11.6%と高くないものの、千葉市の歴史・文化財の価値の発信への期待があることがわかる。市民意識調査※でも、「音楽」(50.2%)に次いで、「歴史・文化財」(45.5%)が高い。

N=657

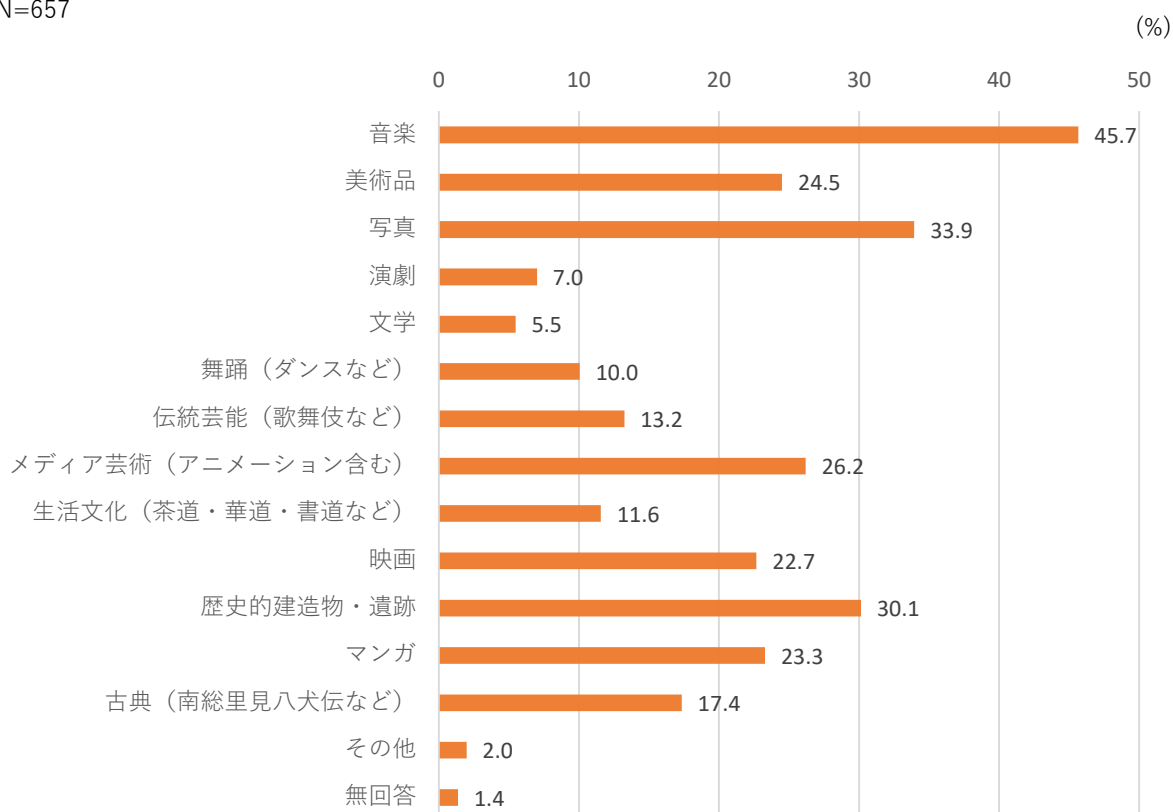


図 69 千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの

「その他」の主な内容		
その他	8	千葉市らしさがわからない(n=2)/発信する必要がある(n=2)/ゲーム(n=1)/スポーツ(n=1)/古典(n=1)/子どもの絵画(n=1)

※市民意識調査は、「音楽」(50.2%)、「歴史・文化財」(45.5%)、「美術品」(35.4%)、「伝統芸能・文化」(28.1%)、「メディア芸術」(27.5%)の順（参照 30 頁）。

19. 文化芸術が市に与える効果として期待するもの（SA）

文化芸術が市に与える効果として期待するものは、「千葉市らしさの創出」が 38.5%と最も高く、次いで「観光資源として市外からの来訪者増」（28.3%）、「余暇活動の充実」（15.7%）である。市民意識調査※は、「観光資源として市外からの来訪者増」が 33.0%と最も高い。

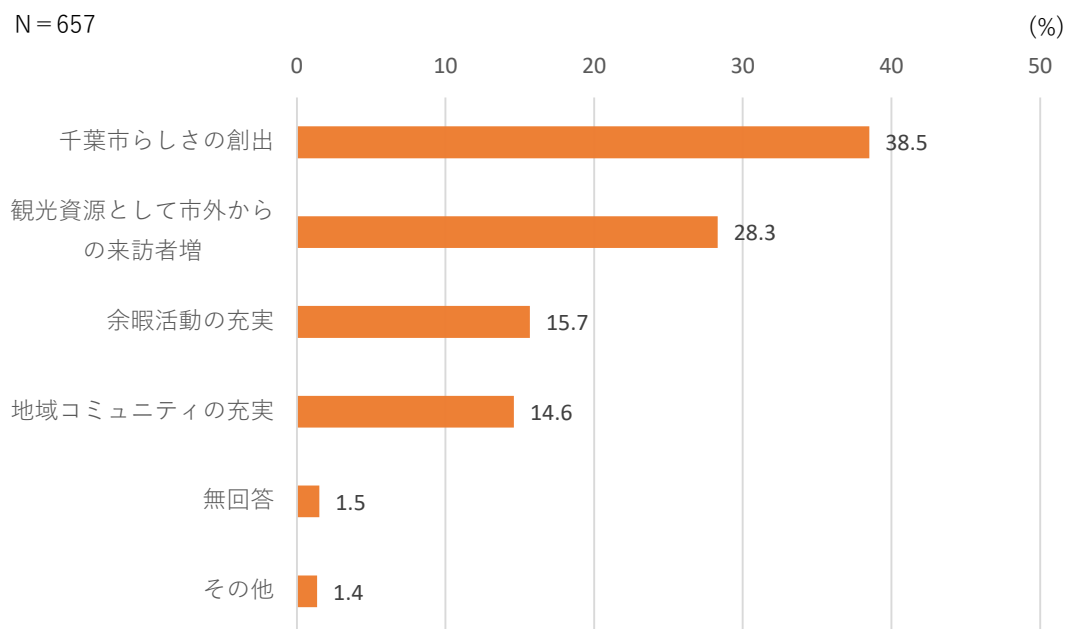


図 70 文化芸術に期待する千葉市に与える効果

「その他」の主な内容		
その他	1	子どもの豊かな発想力で、何にも縛られない感受性が育まれる (n=1)

※市民意識調査は、「観光資源として市外からの来訪者増」（33.0%）、「千葉市らしさの創出」（25.6%）、「余暇活動の充実」（20.9%）の順（参照 31 頁）。

20. 重点的に連携すべき分野（MA・2 つまで）

重点的に連携すべき分野は、「経済」が 70.0%と最も高く、次いで「スポーツ」（44.6%）、「自然」（34.9%）、「歴史」（18.4%）、「こども」（11.9%）、「福祉」（7.6%）の順である。市民意識調査※と比べると、「スポーツ」の割合が高い。

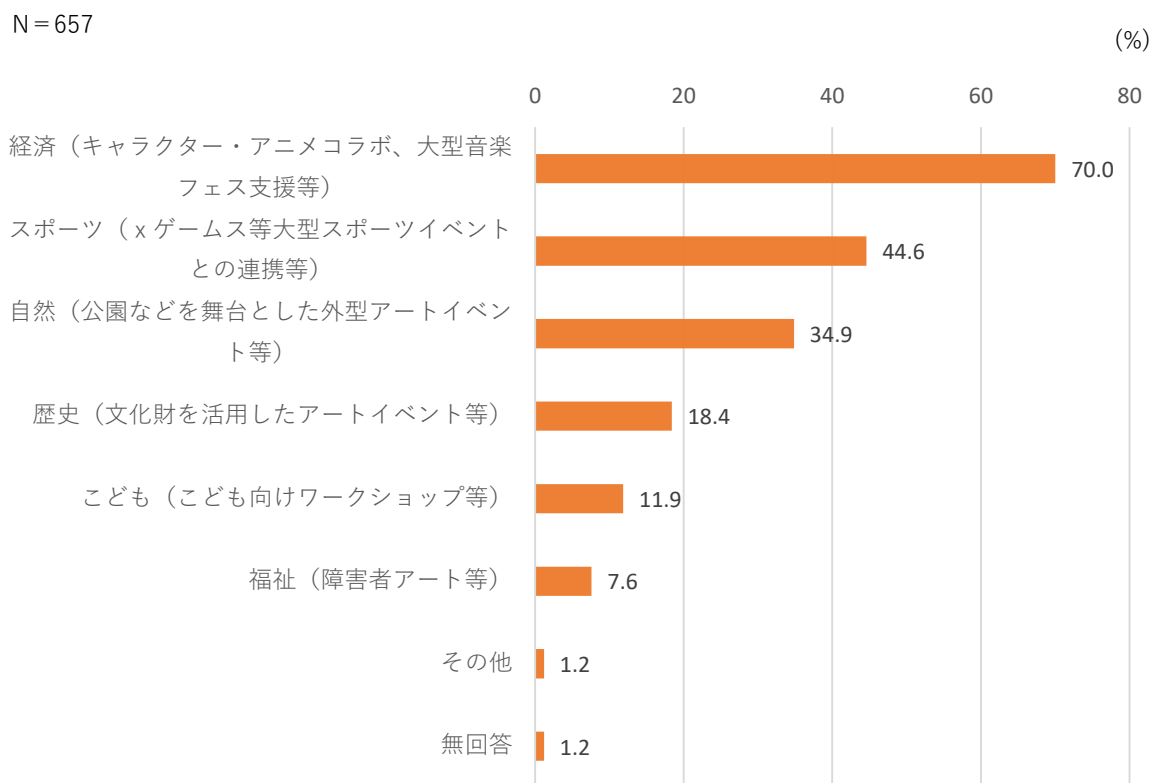


図 71 文化芸術で重点的に連携すべき分野

「その他」の主な内容		
その他	2	もっと千葉市の自然に触れてみる機会があってもいいと思う (n=1) / 文化振興を活発化させるべきではない (n=1)

※市民意識調査は、「経済」（53.4%）、「自然」（40.9%）、「歴史」（33.3%）、「スポーツ」（30.0%）、「こども」（24.0%）、「福祉」（8.4%）の順（参照 33 頁）。

21. 文化芸術振興のために重点をおくべきこと (MA・2つまで)

文化芸術振興のために重点をおくべきことは、「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」が 56.2%と最も高く、次いで「市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催」(21.8%)、「若手アーティストや作家の育成支援」(18.6%)である。

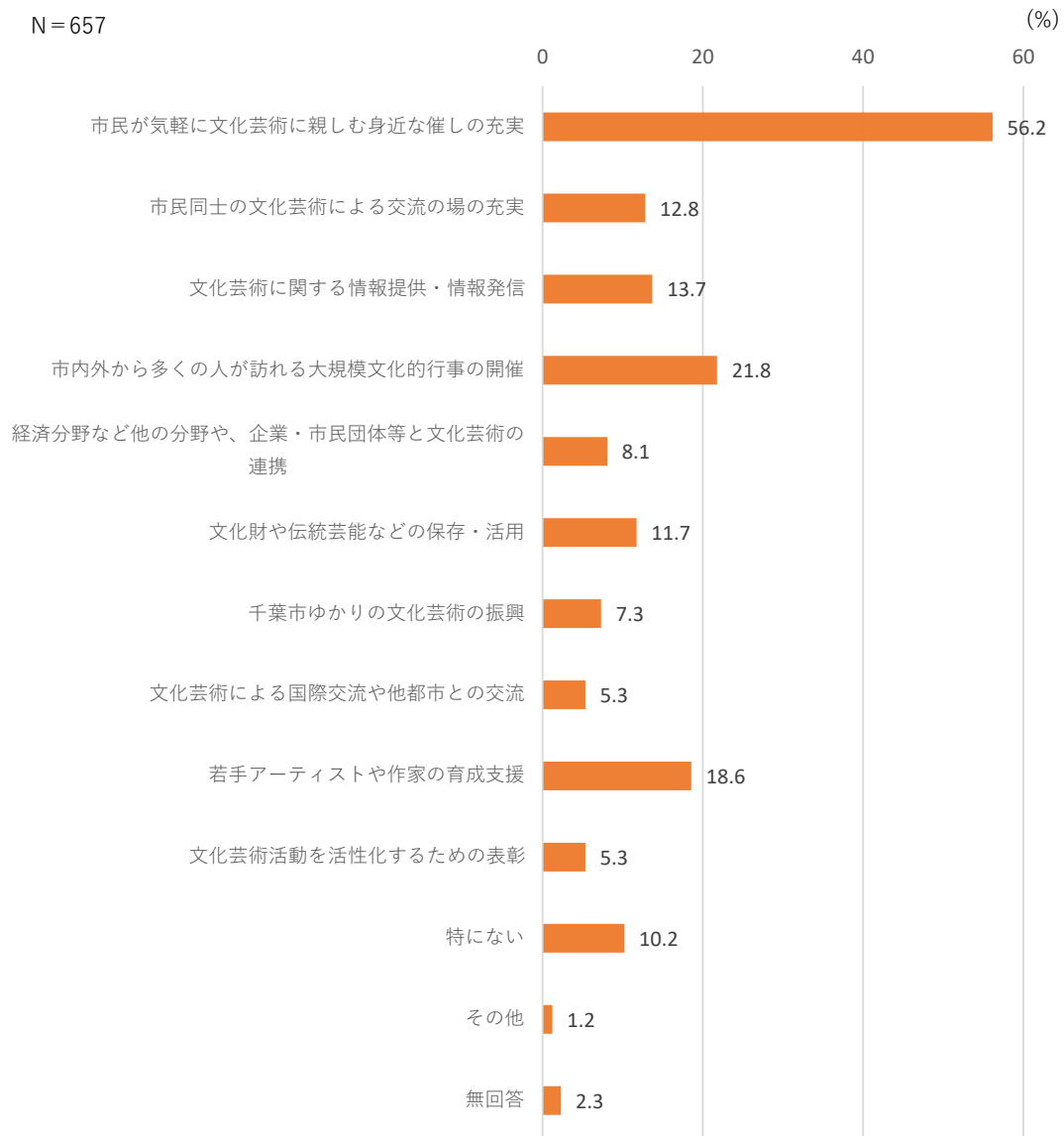


図 72 文化芸術振興のために重点をおくべきこと

「その他」の主な内容		
その他	5	加曽利貝塚をより発信する (n=1) / B T S などの世界的アーティストのコンサートを行う (n=1) / スポーツや趣味をする場所を設ける (n=1) / できるだけ多くの子どもたちに表彰状をあげる機会を作ってほしい (n=1) / 力を入れてほしくない (n=1)

3. 5 アーティスト調査

属性1. 活動拠点 (SA)

活動拠点は、「千葉市内」が69.2%、「千葉市外」が30.8%である。

N=13

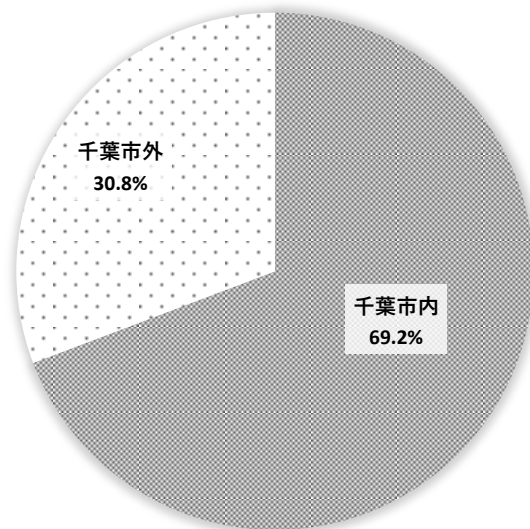


図 73 活動拠点

属性2. 主な活動分野 (SA)

主な活動分野は、「絵画・写真などの美術」が38.5%と最も高く、次いで「楽器の演奏」(30.8%)、「映画などのメディア芸術」(7.7%)、「演劇・バレエ・ミュージカルなどの舞台芸術」(7.7%)である。

N=13

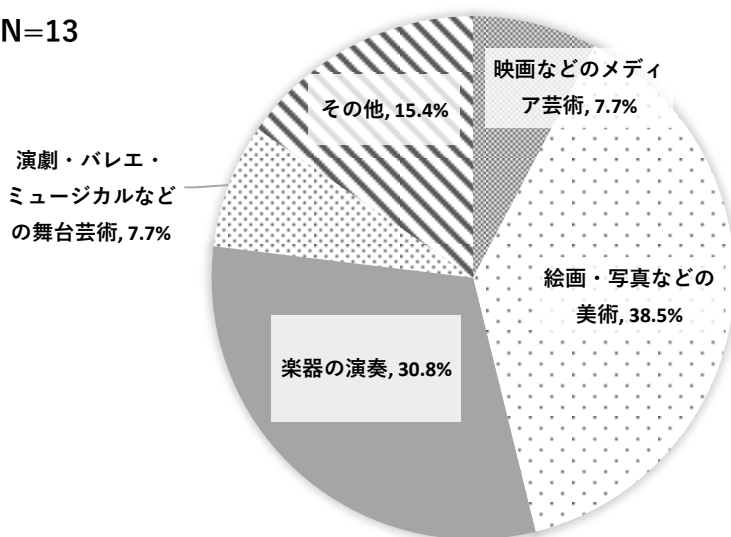


図 74 主な活動分野

「その他」の主な内容

その他	2	陶芸 (n=1) /作曲・サウンドアート・パフォーマンス (n=1)
-----	---	------------------------------------

1. 千葉市は「文化的なまち」か

千葉市は「文化的なまち」かは、「思う」(15.4%)と「やや思う」(46.2%)を合わせた「思う」が61.5%であり、「あまり思わない」(23.1%)と「思わない」(15.4%)を合わせた「思わない」が38.5%である。市民調査の「思う」34.8%(参照28頁)、若者調査の「思う」(50.1%)(参照73頁)と比べると、「思う」割合が高い。

N=13

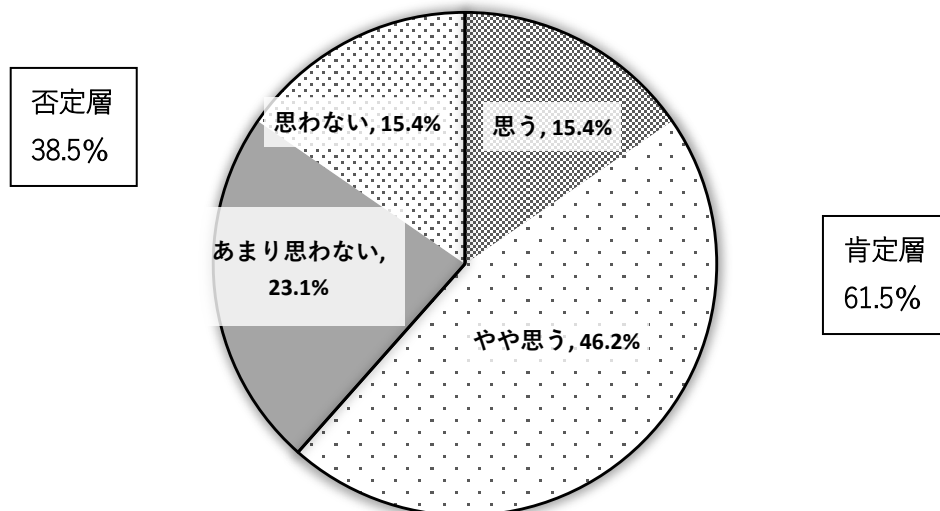


図 75 千葉市は「文化的なまち」か

理由の主な内容		
思う	2	東京都中央区に住んでいた頃よりアーティスト支援が手厚い (n=1) /千葉県を代表する美術館・千葉市美術館がある・東京の文化をも発信する幕張がある (n=1)
やや思う	10	市内にホールが複数ある (n=6) /千葉市出身の著名なアーティストが多い (n=2) /作家をより多くの方に周知する機会の提供が少ない (n=1) /文化施設の連携が薄い (n=1)
あまり思わない	5	特筆すべき文化的なことが思い浮かばない (n=1) /保守的な印象 (n=1) /コンサートが頻繁に行われていない (n=1) /特色ある活動を行う人や団体へのクローズアップの機会の少なさ (n=1) /アーティストに対する積極的な支援が具体的ではない (n=1)
思わない	2	アーティストが発表する良い場が無い・美意識の基準が無い (n=1) /もっと力を入れてほしい (n=1)

2. 千葉市はアーティストが活動しやすいまちか

千葉市は「文化的なまち」かは、「思う」(0%)と「やや思う」(53.8%)を合わせた「思う」が53.8%であり、「あまり思わない」(38.5%)と「思わない」(7.7%)を合わせた「思わない」が46.2%である。

N=13

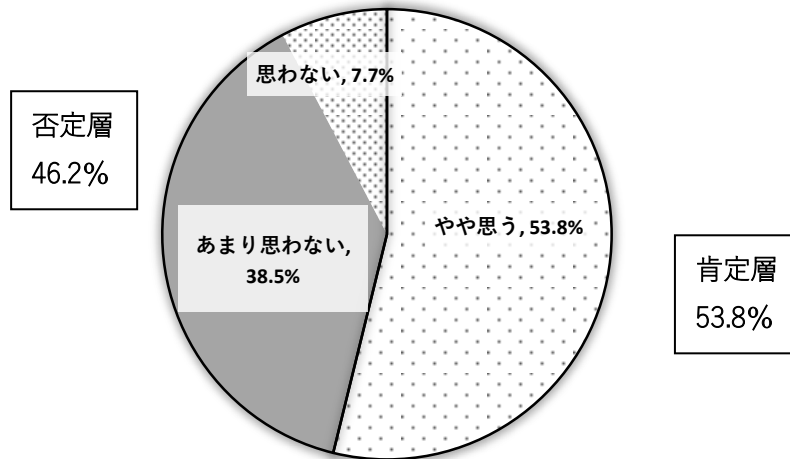


図 76 千葉市はアーティストが活動しやすいまちか

理由の主な内容		
やや思う	9	交通や活動環境がよい (n=4) / 賃料が安い (n=2) / 陶芸の分野における発表の機会や場が少ない (n=1) / 交通がやや不便 (n=1) / ホールと市民の親近感がもっとあっても良い (n=1)
あまり思わない	6	アーティスト自体が少ないので、繋がりを持つことができない (n=2) / 本格的な音楽に関わる場が少ない (n=1) / ギャラリーなどが少ない (n=1) / 特色ある芸術活動家へのプロモーション、多方面へのアプローチ支援が少ない (n=1) / アーティストに対する具体的な支援が少ない (n=1)
思わない	1	イベントが少ない (n=1)

3. 千葉市のアーティスト支援は十分に行われているか

千葉市のアーティスト支援は十分に行われているかは、「思う」(15.4%)と「やや思う」(38.5%)を合わせた「思う」が53.8%であり、「あまり思わない」(23.1%)と「思わない」(23.1%)を合わせた「思わない」が46.2%である。

N=13

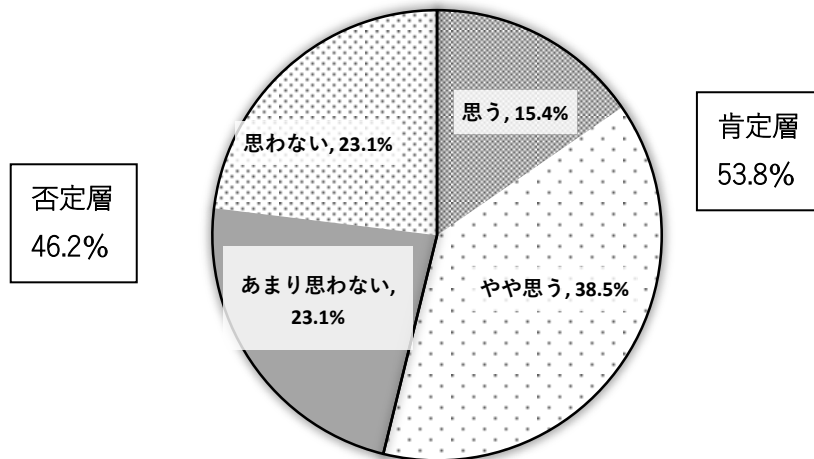


図 77 千葉市のアーティスト支援は十分に行われているか

4. 市に行ってほしいアーティストへの支援は何か

市に行ってほしいアーティストへの支援は、「活動費の補助」が53.8%と最も高く、次いで「発表・展示場所の提供」(30.8%)、「住む場所の補助・提供」(7.7%)、「アーティスト同士の交流が図れる場所の提供」(7.7%)である。

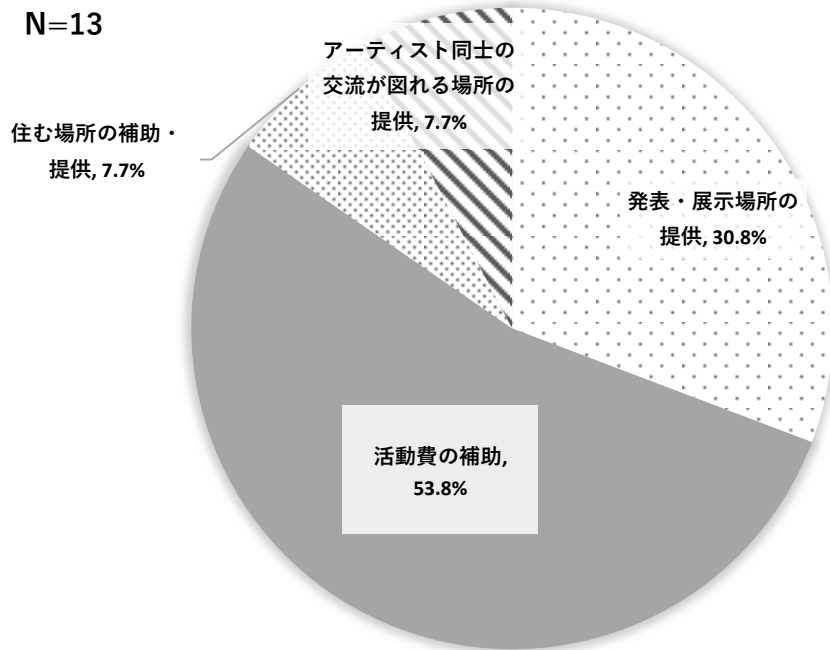


図 78 市に行ってほしいアーティストへの支援は何か

5-1. 千葉市を拠点にしている最も大きな理由（自由記述）

千葉市在住で、千葉市内、千葉市外で活動しています。千葉市はアーティスト支援もあり、住み心地よく感じているが、実質的には市外での仕事の頻度が高い。
自分が美術を学んだ街であり、職場、自宅がある街で、文化をつくることに興味がある
都内でも活動しているが教室や練習場所が千葉市だから
家庭の事情でたまたま。
生まれ育った街だから、これまでの活動の還元をしていきたい。子供たちが文化的な体験を出来るような街にこれから変わっていくために地元から発信・活動をしていきたい
家が千葉市にあるから
生まれ育った町であり、落ち着いていて住みやすい為
千葉市内の学校で教鞭を取りながら活動しているため。
もともと都内で活動していたが、制作のための広い場所が必要となり、都内と比べると賃料が安い千葉で今の物件を見つけたことがきっかけとなり、拠点を千葉に移した。

5-2. 千葉市を拠点にしていない最も大きな理由（自由記述）

千葉市で生まれたが、幼少期に転居した。
勤め先が千葉市ではない。
活動が多岐に渡れば千葉市以外での活動も行うし、自宅での活動も。千葉市内での活動も大切。属性1.の問いの二択で割りきれぬ回答者はほとんどいないのではないかと思われる。
都内に愛好家が多いため

6. 市民からどんな支援を希望するか

市民からの支援で希望することは、「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」が61.5%、次いで「アーティストが出演するイベント運営への参加」(15.4%)、「SNS等での周知」(7.7%)である。市民意識調査の「若手アーティストが活躍するためにあなたができること」(参照 26 頁)は、「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」が59.2%と最も高く、支援する市民と支援を受けるアーティストの認識は共通している。

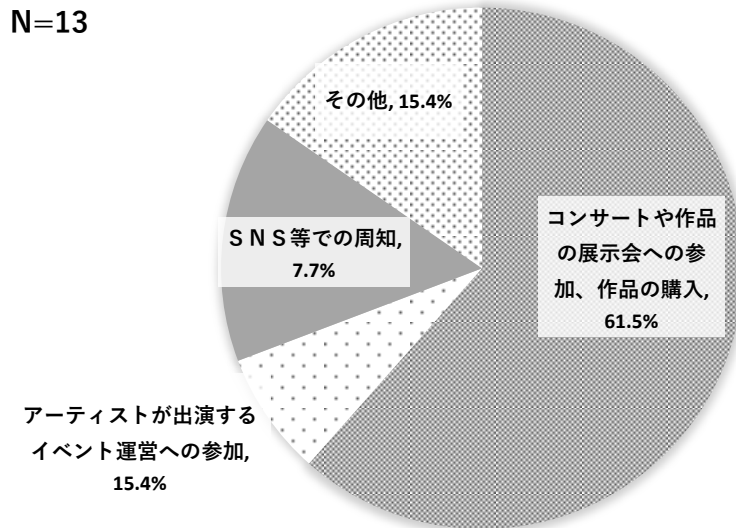


図 79 市民からどんな支援を希望するか

「その他」の主な内容		
その他	2	県立美術館や市立美術館での展示 (n=1) / 小額からでも良いのでファンになったら登録制の金銭的スポンサーとなって頂くこと (n=1)

7. 千葉市の次世代のアーティスト支援・育成のためにあなたができること

<p>千葉市からの依頼で、陶芸の子ども教室を開催させていただいた。 私自身とても楽しく、小学生の時に陶芸体験をした記憶があったお陰で作家としての今があるので、また機会があればと思う。</p>
<p>今まで培った経験や能力を伝えていく。</p>
<p>若いスタッフが活動しやすい環境を整える。 作品の販路作りや基本的な生活ができる仕事を与える。</p>
<p>プロオーケストラや室内楽の活躍の場を増やし、プロの演奏を生で学校内外で子供たちに聴いてもらうこと。 吹奏楽部が強いのはいいことだが、千葉県はプロの演奏家や音楽への馴染みが薄いと思う</p>
<p>千葉市で活動しているということのアピール。</p>
<p>ワークショップ、教育、交流</p>
<p>イベントへの参加。他分野のアーティスト紹介。</p>
<p>身近に、気軽に芸術を目にしたり参加したりするイベントを企画する</p>
<p>自分も充実したアート活動を続ける。千葉市から頂いた支援について、恩について内外に語る。</p>
<p>展示と共にワークショップを行ったり、共同で企画や作品作りを行う</p>
<p>体験講座の開設</p>
<p>自身の活動の変遷を「一人の芸術活動家の事例」としてお伝えすること。後進の一体何を“育成”するのが重要である。技術を教える等ではない部分を後進は欲していると思う。</p>
<p>関連する芸術活動の子どもたち向けのワークショップの開催</p>

8. 文化芸術が市に与える効果として期待するもの

文化芸術が市に与える効果として期待するものは、「余暇活動の充実」が30.8%と最も高く、次いで「観光資源として市外からの来訪者増」(23.1%)、「地域コミュニティの充実」(15.4%)である。

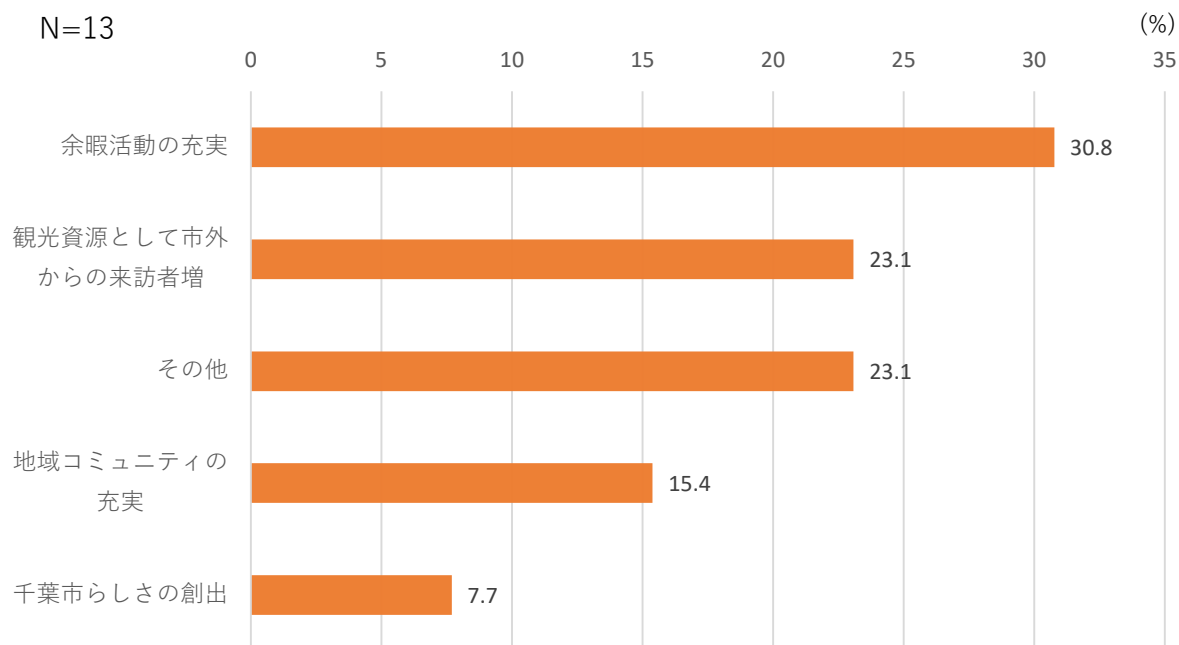


図 80 文化芸術が千葉市に対してもたらす効果についての期待

「その他」の主な内容		
その他	5	生活意識の拡充・底上げ (n=1) / 豊かな心を育む (n=1) / 自分の価値観で支出を増やす機会が増える・定年退職後の過ごし方の一要素を担う (n=1) / 芸術活動家に対するオーディエンス (観客) として市民の文化リテラシーが向上すること (n=1) / 若い世代が音楽を学ぶ場として集まり、またそれがコンサートやコンクールとして市民だけでなく市外からも聴きにくるようなイベントの開催 (n=1)

9. アーティストバンクによる支援を強化するために望まれる機能

アーティストバンクによる支援強化のための機能は、「アーティストと主催者（団体・市等）とのマッチング」が 38.5%と最も高く、次いで「アーティストバンクの主催者に対する補助」と「アーティストPRに特化したwebサイトの構築」が 30.8%で並んでいる。

N=13

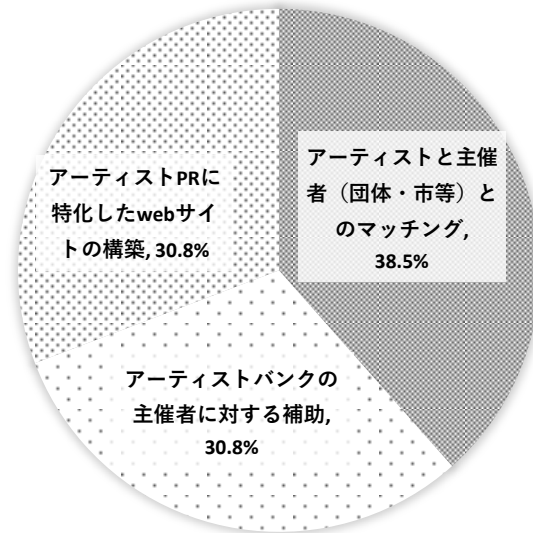


図 81 アーティストバンクによる支援を強化するために望まれる機能

10. 重点的に連携すべき分野（MA・2つまで）

重点的に連携すべき分野は、「経済」が 46.2%と最も高く、次いで「歴史」（38.5%）、「子ども」と「自然」が並んで 30.8%の順である。市民意識調査や若者意識調査※でも「経済」が一番高い。

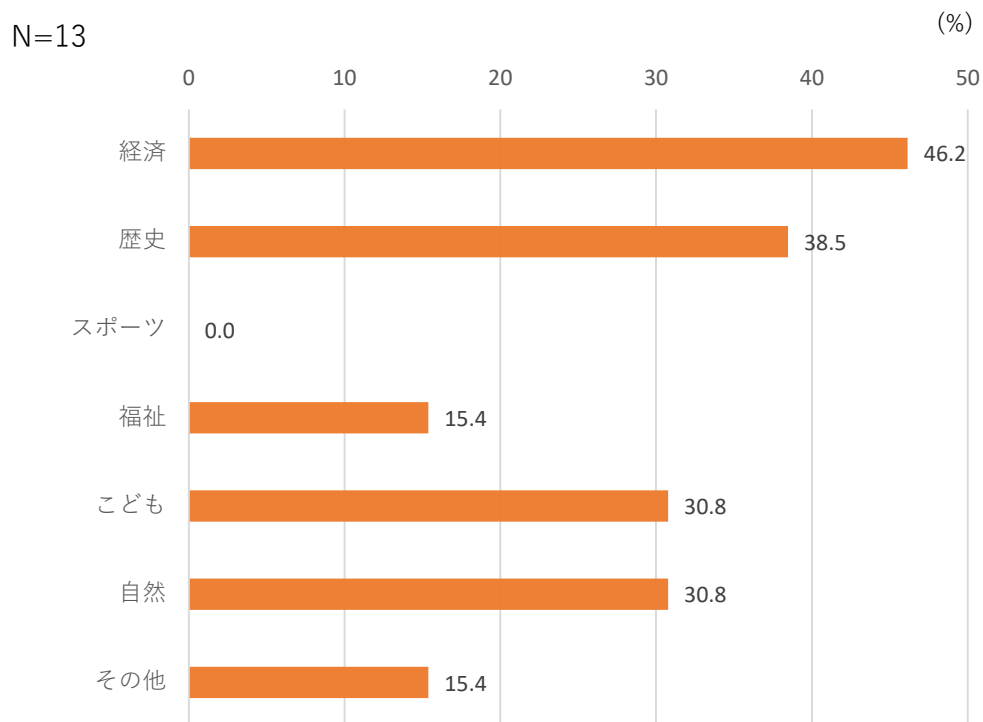


図 82 重点的に連携すべき分野

「その他」の主な内容		
その他	3	洗練されたアートギャラリー、発表スペースの創設 (n=1) / 様々なイベントの記念品制作及びデザイン (n=1) / 不動産(古いアパートや空き家、工場などを提供してくれる方々) (n=1)

※市民意識調査は、「経済」（53.4%）、「自然」（40.9%）、「歴史」（33.3%）、「スポーツ」（30.0%）、「子ども」（24.0%）、「福祉」（8.4%）の順（参照 33 頁）。若者意識調査は、「経済」（70.0%）、「スポーツ」（44.6%）、「自然」（34.9%）、「歴史」（18.4%）、「子ども」（11.9%）、「福祉」（7.6%）の順（参照 77 頁）。

11. 千葉市で文化芸術を活発化させていくために、特に力を入れてほしいこと（MA・3つまで）

文化芸術振興のために重点をおくべきことは、「若手アーティストや作家の育成支援」が53.8%と最も高く、次いで「博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催」(38.5%)、「新しい文化芸術への取り組み・支援」(30.8%)である。市民意識調査や若者意識調査で一番高かった「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」(市民意識調査49.9%、若者意識調査56.2%)は、23.1%に留まっている。

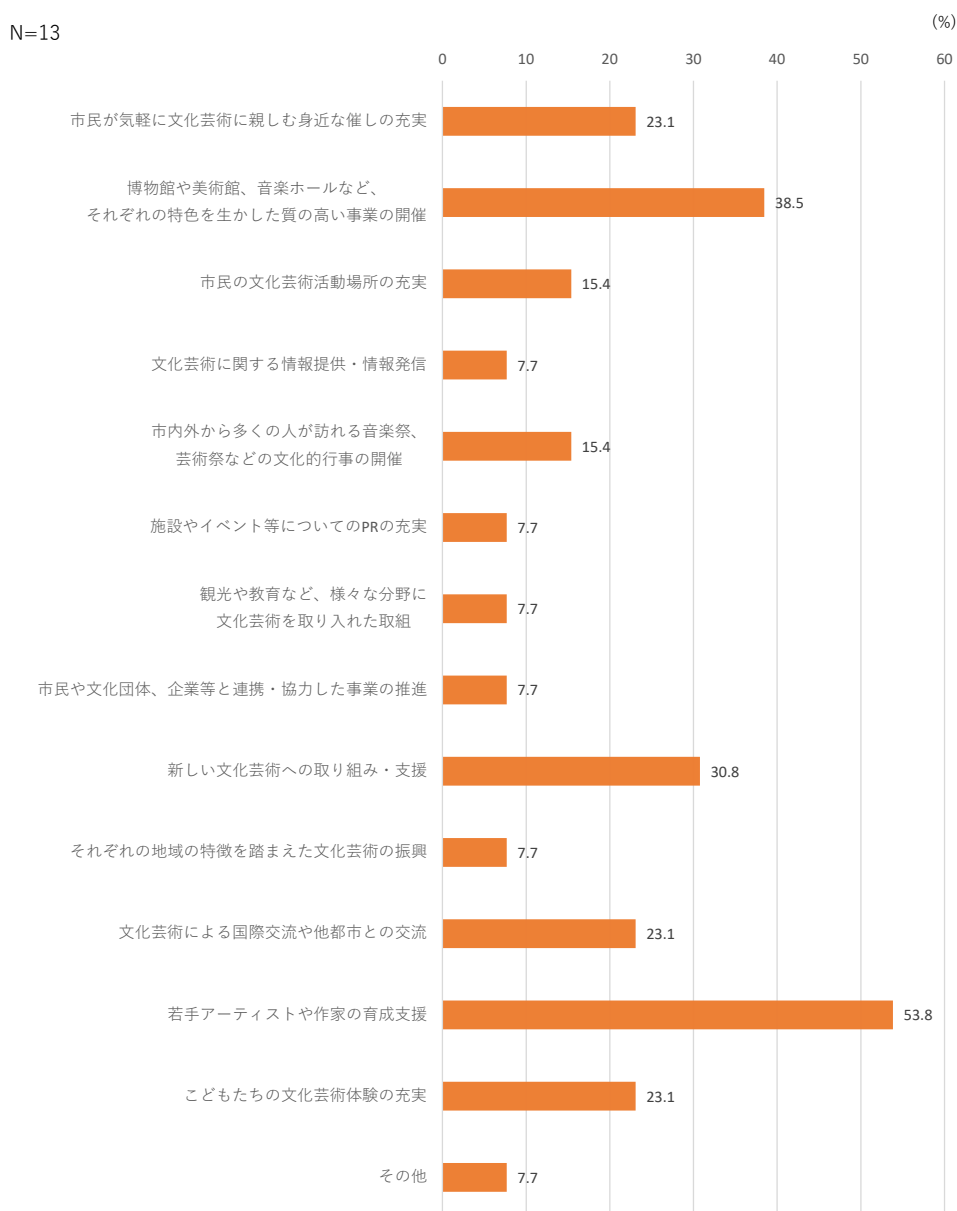


図 83 千葉市で文化芸術を活発化させていくために、特に力を入れてほしいこと

「その他」の主な内容		
その他	1	放送業界へのプッシュとタイアップの増強 (n=1)

参考 1 同一・類似項目に対する属性別の回答結果

○過去 1 年体験した千葉市内での文化芸術の充足度・満足度

過去 1 年体験した千葉市内での文化芸術の充足度・満足度は、「充足している」と「まあまあ充足している」を合わせた「充足」度は、市民が 49.9%、若者が 82.0%で、若者の方が 32.1 ポイント高い。

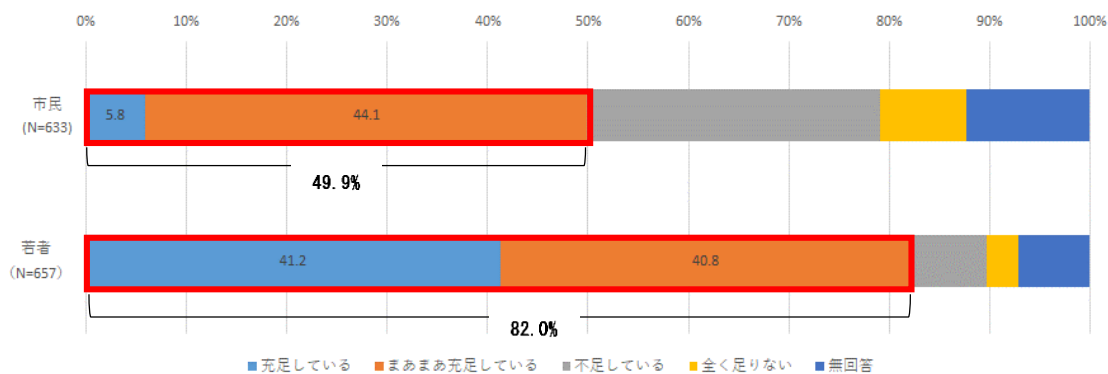


図 84 過去 1 年体験した千葉市内での文化芸術の充足度・満足度

○充足度・満足度×市内での文化芸術鑑賞・体験での課題

千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題の上位3つは、市民意識調査では「文化芸術に関する情報を入手しにくい」(31.6%)、「鑑賞・体験したいものがない」(21.3%)、「鑑賞・体験する時間がない」(15.6%)である。若者意識調査では、「鑑賞・体験したいものがない」(31.7%)、「鑑賞・体験する時間がない」(18.7%)、「文化芸術に関する情報を入手しにくい」(15.5%)であり、情報の入手を課題と捉えている市民が若者より多い傾向がある。

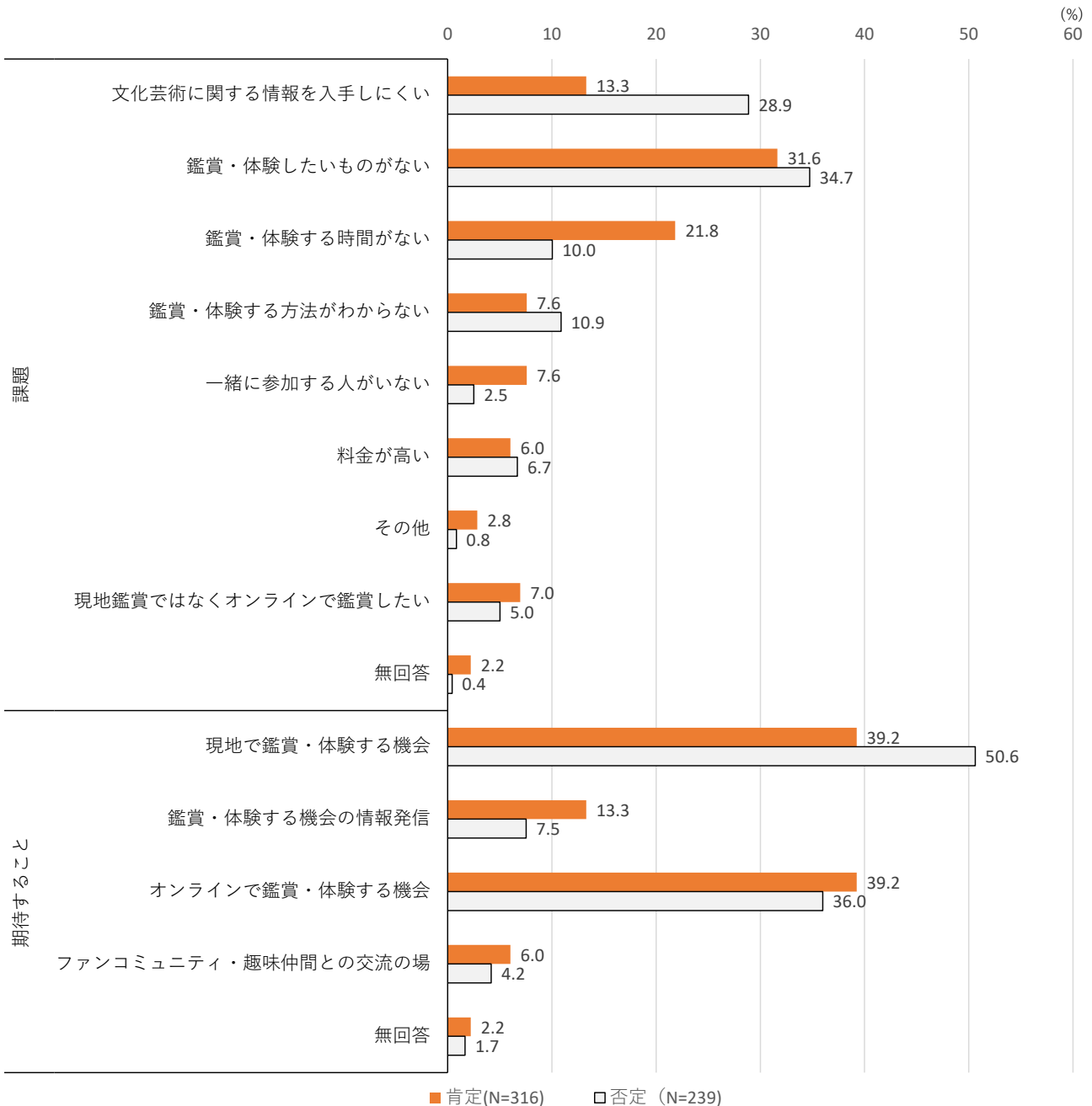


図 85 充足度・満足度×市内での文化芸術鑑賞・体験での課題

○若手アーティスト支援のためにできること

若手アーティストが活躍するためにできることで最も多い意見においては、市民は「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」(59.2%)であり、一方、若者は「SNS等での周知」(49.0%)と考えている。

これらはそれぞれ1位と2位の関係であり、「コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入」と「SNSの周知」を合わせると、ほぼ同じ8割程度となり、上記2点の支援について協力ができるという意見が多数であることがわかった。

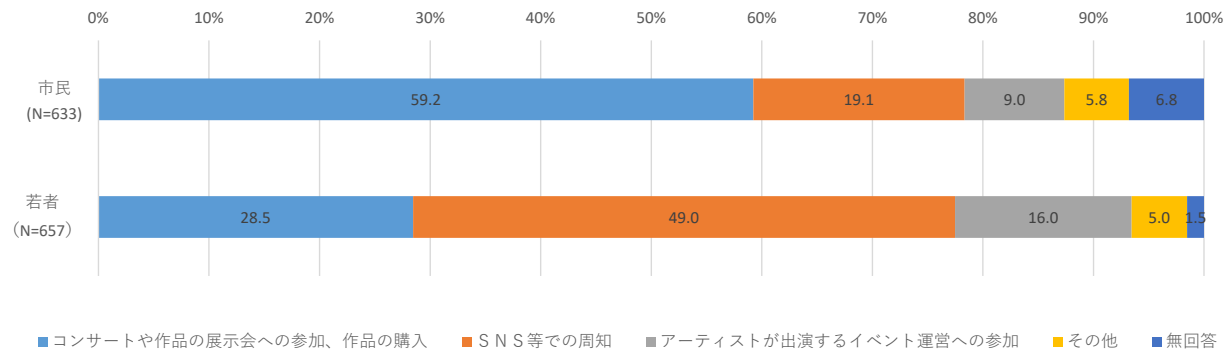


図 86 若手アーティスト支援のためにできること

○若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援

若手アーティストが活躍するために市が最もできることは、市民は「発表の場の提供」が49.8%と最も高く、若者も「発表の場の提供」が41.1%と最も高い。

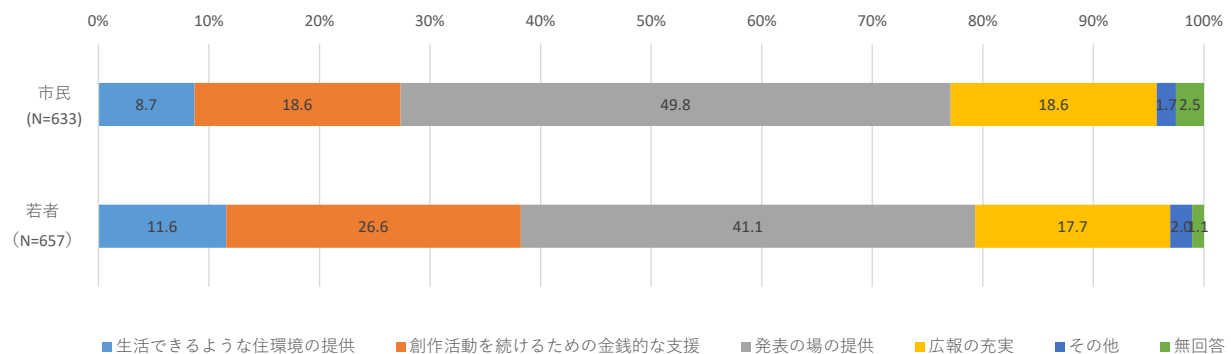


図 87 若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援

○イベント等の情報源

市のイベントの情報源は、市民は「市政だより」が86.9%と最も高い。一方、若者で一番高いのは「ポスター」の33.9%であり、次いで「チラシ」(32.1%)、「市政だより」(25.4%)である。

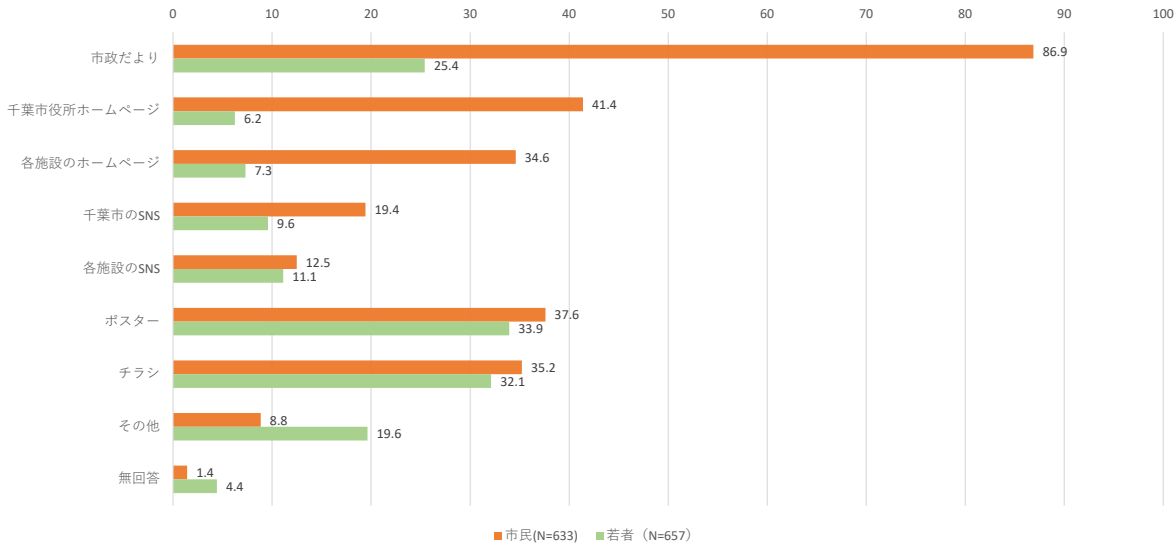


図 88 イベント等の情報源

○希望する情報発信手段

希望する情報発信手段は、市民は「市政だより」が49.3%と最も高いものの、現状の86.9%から37.6ポイント減少する。「市政だより」に代わって、「千葉市のSNS」が7.4ポイント増加しており、26.9%になっている。一方、若者は「ポスター」が37.9%と最も高く、現状と同様の選択である、若者は、次に「千葉市のSNS」(35.2%)を希望し、現状の9.6%より25.6ポイント増加している。今後の「千葉市のSNS」に、市民も若者も期待していることがみてとれる。

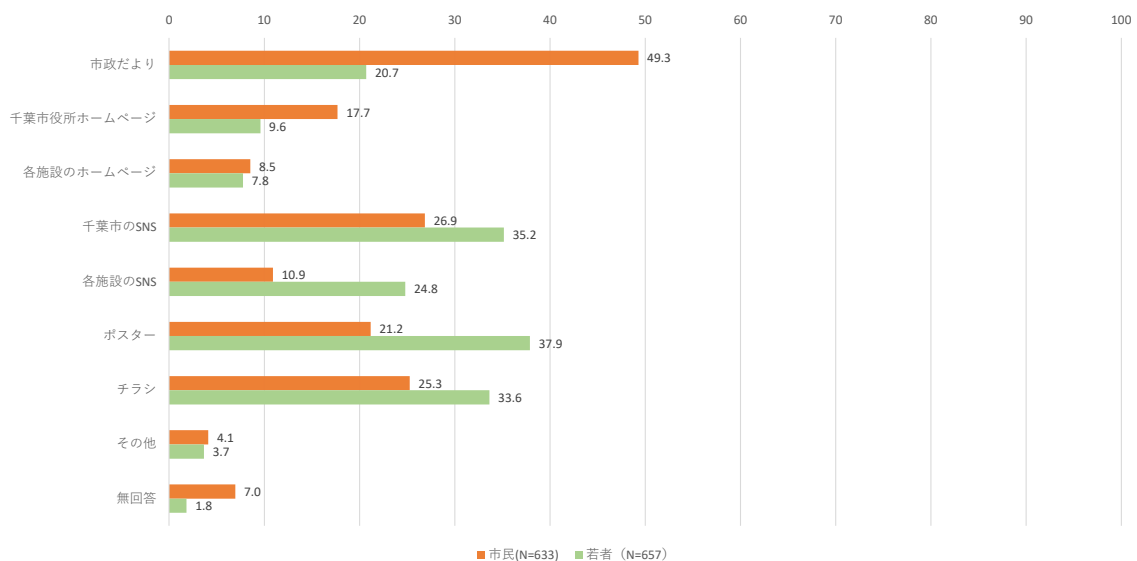


図 89 希望する情報発信手段

○市ゆかりのアーティストの活躍

市ゆかりのアーティストの活躍については、市民は「感じられる」(2.5%)と「やや感じられる」(12.2%)を合わせた「感じられる」が14.7%である。一方、若者は、「感じられる」が33.8%であり、「感じられない」が65.1%である。市ゆかりのアーティストの活躍の認知度は、若者の方が19.1ポイント高い。

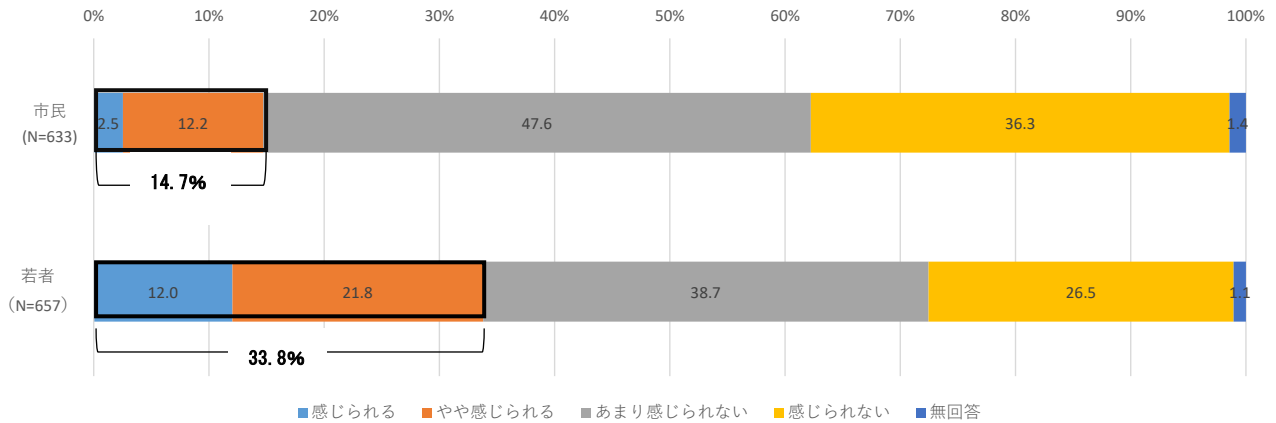


図 90 市ゆかりのアーティストの活躍

○市ゆかりのアーティストへの期待

市ゆかりのアーティストへの期待は、市民の上位3つは、「活躍した分野の認知度の向上と参加者の増」(29.9%)、「千葉市の知名度向上」(28.3%)、「市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増」(27.5%)でありほぼ同率となっている。一方、若者は、「市ゆかりのアーティストを中心としたコミュニティの形成」が38.7%と最も高く、次は「市ゆかりのアーティストを中心としたコミュニティの形成」の26.5%であり、市民の傾向と異なっている。

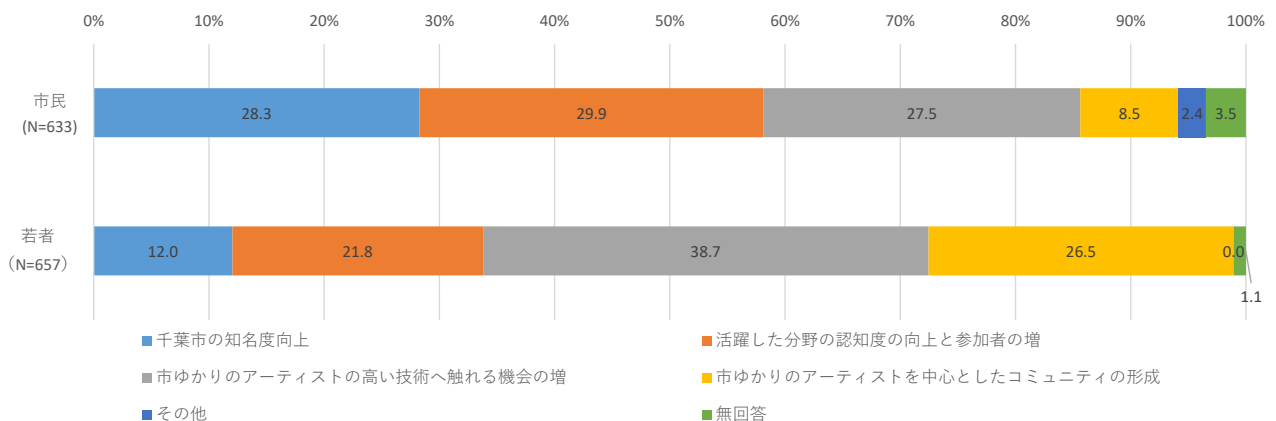


図 91 市ゆかりのアーティストへの期待

○千葉市は文化的なまちか

千葉市は「文化的まち」かについて、市民は、「思う」(3.9%)と「やや思う」(30.8%)を合わせた「思う」が34.7%である。若者は、「思う」が50.1%であり、アーティストは、「思う」が61.5%である。「文化的なまち」と思う割合は、アーティスト、若者、市民の順に高く、アーティストと市民は26.8ポイントの差がある。

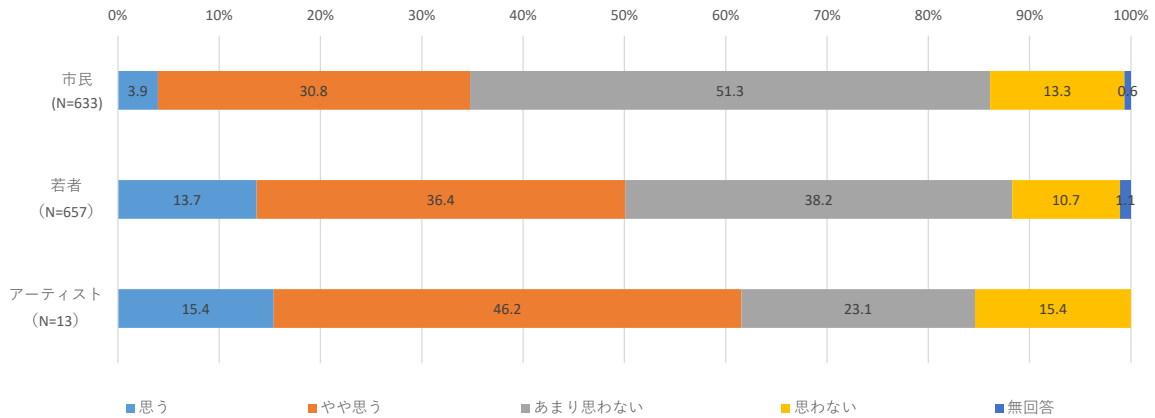


図 92 千葉市は文化的なまちか

<前回調査結果との比較>

※「どちらでもない」の選択肢は前回のみ

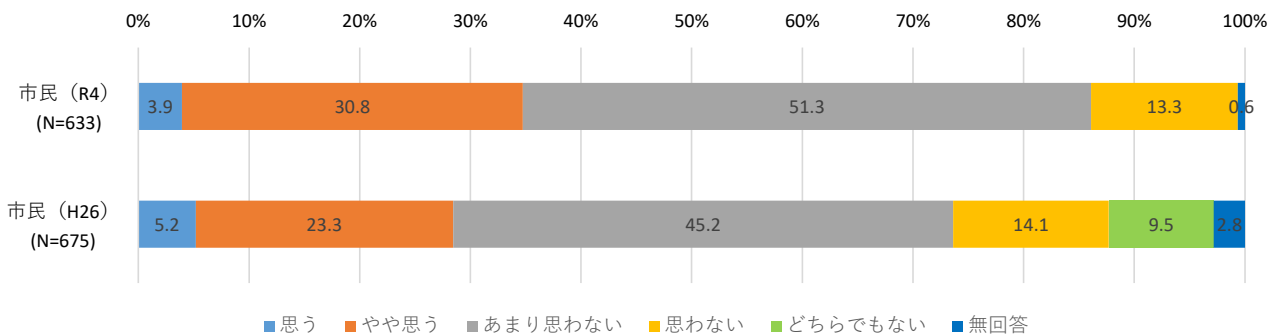


図 93 千葉市は文化的なまちか (前回調査結果との比較)

前回は、「思う」(5.2%)と「やや思う」(23.3%)を合わせた「思う」が28.5%であり、「あまり思わない」(45.2%)と「思わない」(14.1%)を合わせた「思わない」が59.3%であった。

○文化芸術が市に与える効果

文化芸術が市に与える効果の上位3つは、市民は、「観光資源として市外からの来訪者増」(33.0%)、「千葉市らしさの創出」(25.6%)、「余暇活動の充実」(20.9%)である。若者は、「千葉市らしさの創出」(38.5%)、「観光資源として市外からの来訪者増」(28.3%)、「余暇活動の充実」(15.7%)である。一方、アーティストは、「余暇活動の充実」が30.8%と最も高く、次いで「観光資源として市外からの来訪者増」(23.1%)、「地域コミュニティの充実」(15.4%)であり、アーティストの考える効果と、市民や若者が考える効果は異なっている。

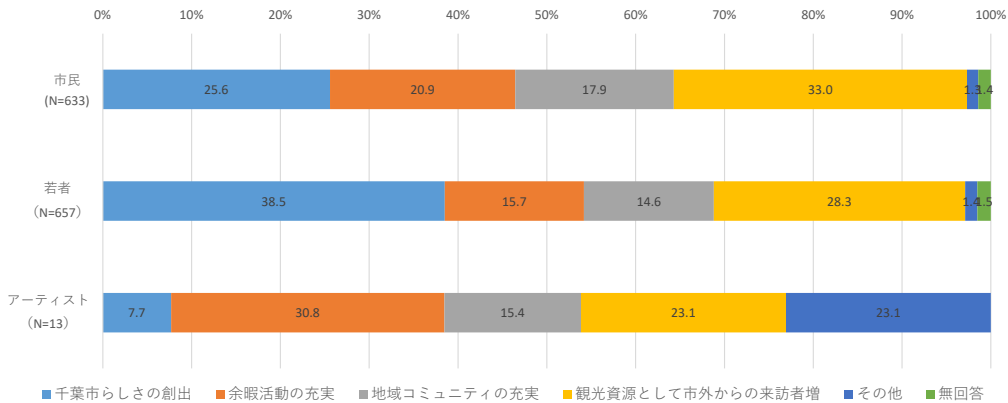


図 94 文化芸術が市に与える効果

○千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの

千葉市の文化芸術として広く発信すべきものの上位3つは、市民は「音楽」(50.2%)、「歴史・文化財」(45.5%)、「美術品」(35.4%)である。若者は、「音楽」(45.7%)、「写真」(33.9%)、「歴史・文化財」(30.1%)である。

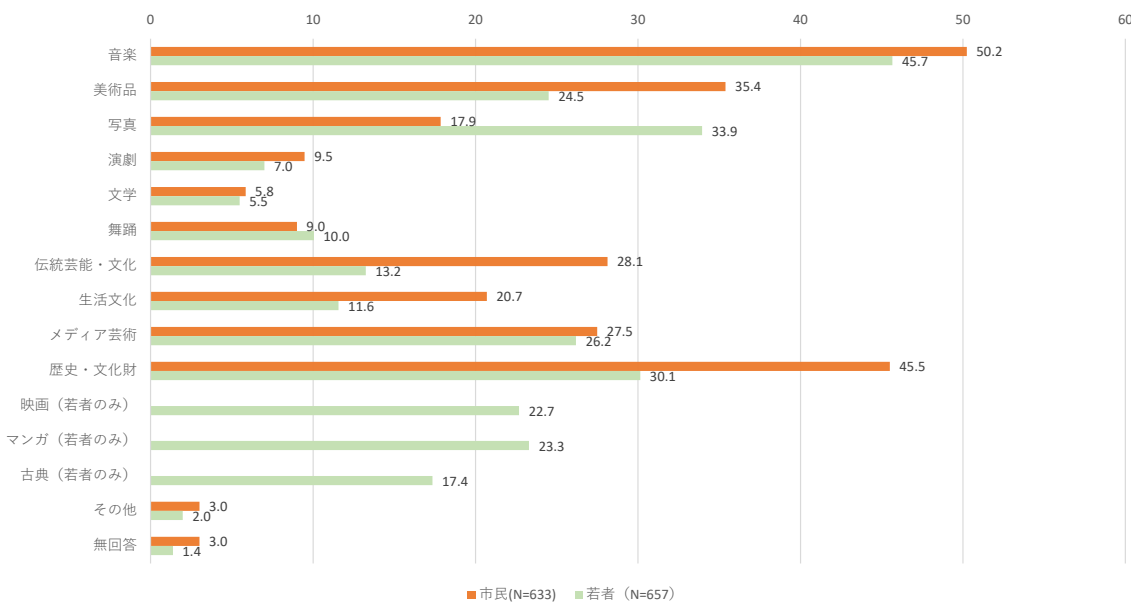


図 95 千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの

○文化芸術で重点的に連携すべきこと

文化芸術で重点的に連携すべき分野の上位3つは、市民は、「経済」(53.4%)、「自然」(40.9%)、「歴史」(33.3%)である。文化芸術団体は、「子ども」(76.9%)、「経済」、「歴史」及び「福祉」が23.1%で並んでいる。若者は、「経済」(70.0%)、「スポーツ」(44.6%)、「自然」(34.9%)である。アーティストは、「経済」(46.2%)、「歴史」(38.5%)、「スポーツ」(30.0%)である。市民、若者及びアーティストが「経済」を連携する分野の第一位に位置付けているのに対して、文化芸術団体は、「子ども」を第一位としている。

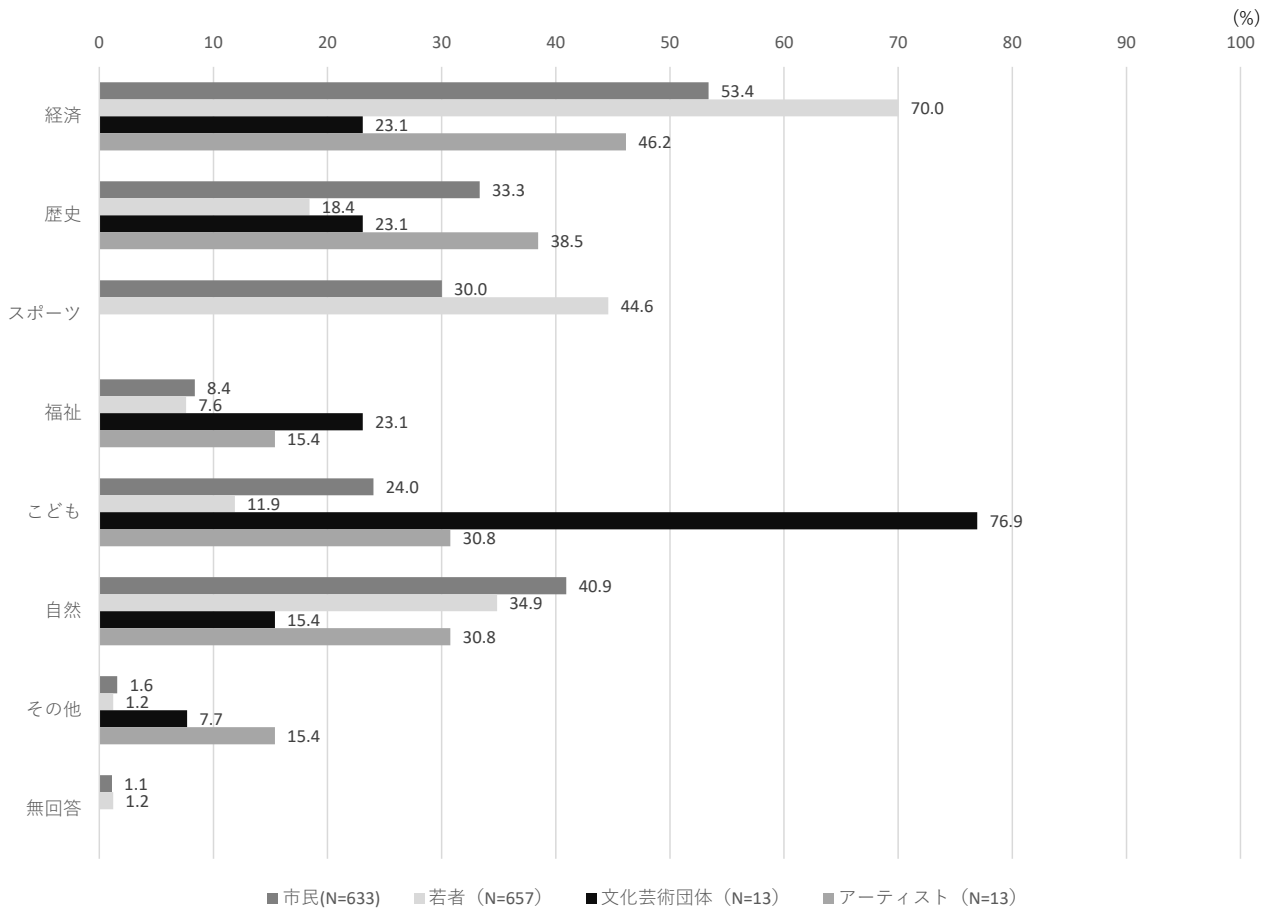


図 96 文化芸術で重点的に連携すべきこと

○文化芸術振興のために重点をおくべきこと

文化芸術振興のために重点をおくべきことの上位3つは、市民は、「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」(49.9%)、「博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催」(36.2%)、「市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催」(30.2%)である。文化芸術団体は、「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」(53.8%)、「市民の文化芸術活動場所の充実」(53.8%)、「子どもたちの文化芸術体験の充実」(30.8%)である。若者は、「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」(56.2%)、「市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催」(21.8%)、「若手アーティストや作家の育成支援」(18.6%)である。アーティストは、「若手アーティストや作家の育成支援」(53.8%)、「博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催」(38.5%)、「新しい文化芸術への取り組み・支援」(30.8%)である。市民、文化芸術団体及び若者では「市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実」が最も重点をおくべきことという結果になった。なお、アーティストでは「若手アーティストや作家の育成支援」を最重点とみなしている。

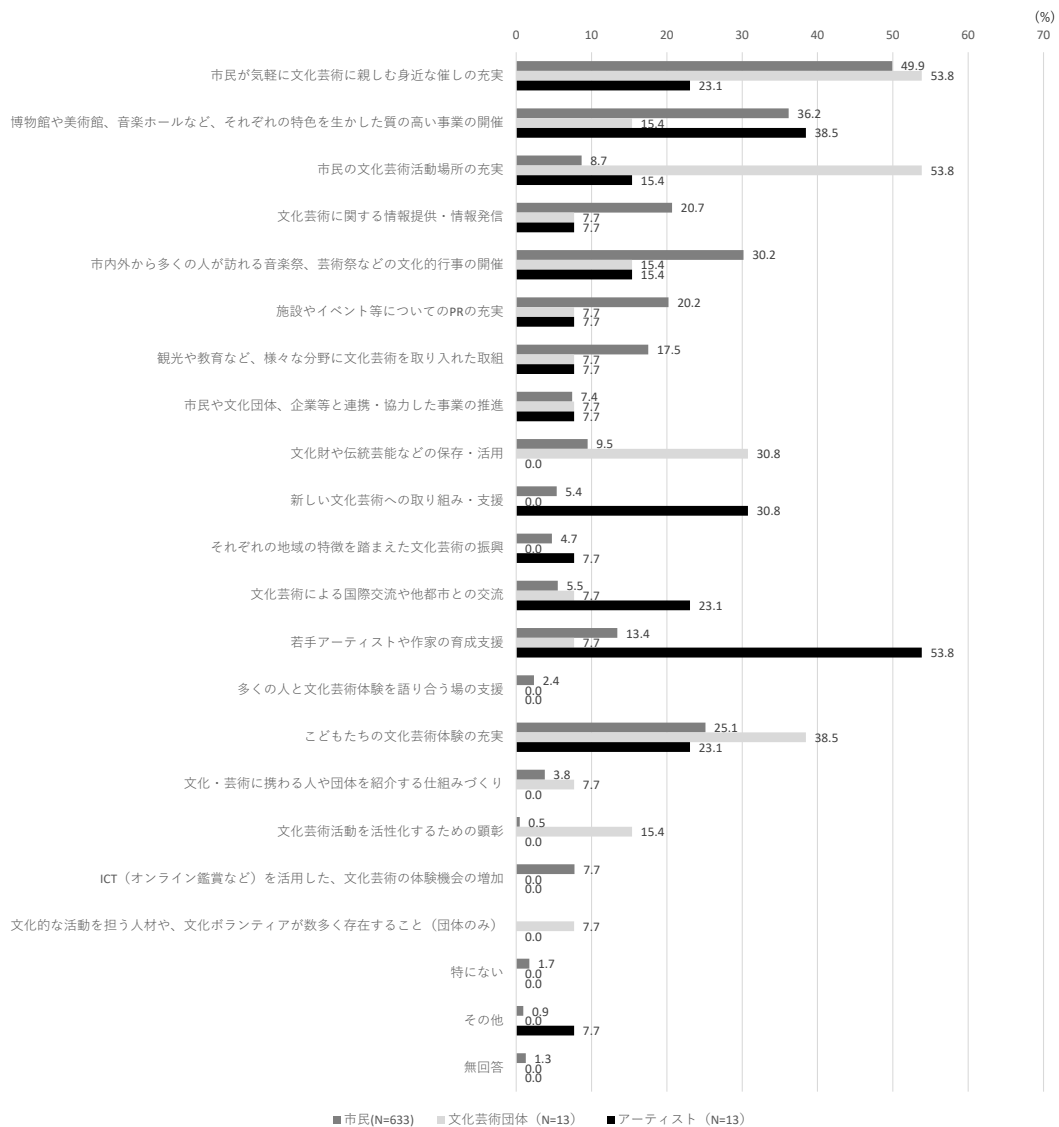


図 97 文化芸術振興のために重点をおくべきこと

参考2 クロス集計結果

上位3つについては、色をつけて表示している。

○イベント等の情報源

表3 イベント等の情報源

	市政だより	千葉市役所ホームページ	ポスター	チラシ	各施設のホームページ	千葉市のSNS	各施設のSNS	その他	無回答
20代	54 (25.4%)	38 (17.8%)	38 (17.8%)	21 (9.9%)	11 (5.2%)	22 (10.3%)	15 (7.0%)	12 (5.6%)	2 (0.9%)
30代	71 (27.2%)	62 (23.8%)	39 (14.9%)	15 (5.7%)	7 (2.7%)	26 (10.0%)	28 (10.7%)	11 (4.2%)	2 (0.8%)
40代	97 (29.5%)	40 (12.2%)	55 (16.7%)	19 (5.8%)	15 (4.6%)	48 (14.6%)	39 (11.9%)	14 (4.3%)	2 (0.6%)
50代	101 (28.4%)	49 (13.8%)	38 (10.7%)	53 (14.9%)	13 (3.7%)	46 (12.9%)	45 (12.6%)	11 (3.1%)	0 (0.0%)
60代	117 (34.5%)	48 (14.2%)	32 (9.4%)	11 (3.2%)	30 (8.8%)	52 (15.3%)	44 (13.0%)	4 (1.2%)	1 (0.3%)
70代以上	104 (41.8%)	25 (10.0%)	17 (6.8%)	4 (1.6%)	3 (1.2%)	43 (17.3%)	48 (19.3%)	3 (1.2%)	2 (0.8%)
無回答	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)

○希望する発信源

表4 希望する発信源

	市政だより	千葉市役所ホームページ	ポスター	チラシ	各施設のホームページ	千葉市のSNS	各施設のSNS	その他	無回答
20代	16 (11.9%)	4 (3.0%)	5 (3.7%)	45 (33.3%)	23 (17.0%)	22 (16.3%)	14 (10.4%)	5 (3.7%)	1 (0.7%)
30代	37 (23.9%)	19 (12.3%)	10 (6.5%)	33 (21.3%)	16 (10.3%)	15 (9.7%)	17 (11.0%)	7 (4.5%)	1 (0.6%)
40代	57 (29.4%)	11 (5.7%)	9 (4.6%)	41 (21.1%)	11 (5.7%)	26 (13.4%)	28 (14.4%)	6 (3.1%)	5 (2.6%)
50代	59 (30.7%)	30 (15.6%)	9 (4.7%)	32 (16.7%)	6 (3.1%)	22 (11.5%)	26 (13.5%)	3 (1.6%)	5 (2.6%)
60代	73 (33.0%)	30 (13.6%)	14 (6.3%)	13 (5.9%)	7 (3.2%)	29 (13.1%)	41 (18.6%)	5 (2.3%)	9 (4.1%)
70代以上	67 (38.1%)	18 (10.2%)	6 (3.4%)	6 (3.4%)	6 (3.4%)	20 (11.4%)	31 (17.6%)	0 (0.0%)	22 (12.5%)
無回答	3 (37.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)

○文化芸術が市に与える効果

表 5 文化芸術が市に与える効果

	千葉市らしさの創出	余暇活動の充実	地域コミュニティの充実	観光資源として市外からの来訪者増	その他	無回答
20代	21 (26.9%)	19 (24.4%)	12 (15.4%)	25 (32.1%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
30代	26 (29.9%)	19 (21.8%)	19 (21.8%)	22 (25.3%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
40代	18 (15.9%)	30 (26.5%)	18 (15.9%)	42 (37.2%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)
50代	19 (17.3%)	23 (20.9%)	21 (19.1%)	47 (42.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60代	37 (28.9%)	25 (19.5%)	23 (18.0%)	40 (31.3%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)
70代以上	39 (35.1%)	16 (14.4%)	18 (16.2%)	31 (27.9%)	1 (0.9%)	6 (5.4%)
無回答	2 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

○文化芸術で重点的に連携すべきこと

表 6 文化芸術で重点的に連携すべきこと

	経済	歴史	スポーツ	福祉	こども	自然	その他	無回答
20代	47 (30.9%)	14 (9.2%)	34 (22.4%)	3 (2.0%)	23 (15.1%)	31 (20.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
30代	59 (34.3%)	16 (9.3%)	23 (13.4%)	4 (2.3%)	38 (22.1%)	29 (16.9%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)
40代	58 (26.2%)	34 (15.4%)	39 (17.6%)	10 (4.5%)	33 (14.9%)	44 (19.9%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)
50代	77 (35.5%)	36 (16.6%)	40 (18.4%)	7 (3.2%)	14 (6.5%)	42 (19.4%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)
60代	56 (23.2%)	57 (23.7%)	28 (11.6%)	17 (7.1%)	18 (7.5%)	63 (26.1%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)
70代以上	37 (17.9%)	52 (25.1%)	26 (12.6%)	12 (5.8%)	24 (11.6%)	49 (23.7%)	2 (1.0%)	5 (2.4%)
無回答	4 (40.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)

○文化芸術振興のために重点を置くべきこと

表 7 文化芸術振興のために重点を置くべきこと

	市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実	博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催	市民の文化芸術活動場の充実	文化芸術に関する情報提供・情報発信	市内外から多くの人が訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催	施設やイベント等についてのPRの充実	観光や教育など、様々な分野に文化芸術を取り入れた取組	市民や文化団体、企業等と連携・協力した事業の推進	文化財や伝統芸能などの保存・活用	新しい文化芸術への取り組み・支援	それぞれの地域の特徴を踏まえた文化芸術の振興	文化芸術による国際交流や他都市との交流	若手アーティストや作家の育成支援	多くの人と文化芸術体験を語り合う場の支援	こどもたちの文化芸術体験の充実	文化・芸術に携わる人や団体を紹介する仕組みづくり	文化芸術活動を活性化するための顕彰	ICT（オンライン鑑賞など）を活用した、文化芸術の体験機会の増加	特になし	その他	無回答
20代	32 (15.2%)	35 (16.7%)	11 (5.2%)	5 (2.4%)	27 (12.9%)	20 (9.5%)	17 (8.1%)	5 (2.4%)	3 (1.4%)	6 (2.9%)	5 (2.4%)	4 (1.9%)	9 (4.3%)	3 (1.4%)	14 (6.7%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)	8 (3.8%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)
30代	42 (18.3%)	21 (9.1%)	5 (2.2%)	9 (3.9%)	24 (10.4%)	21 (9.1%)	18 (7.8%)	11 (4.8%)	2 (0.9%)	4 (1.7%)	5 (2.2%)	2 (0.9%)	18 (7.8%)	1 (0.4%)	32 (13.9%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	9 (3.9%)	1 (0.4%)	2 (0.9%)	1 (0.4%)
40代	52 (16.9%)	33 (10.7%)	8 (2.6%)	32 (10.4%)	37 (12.1%)	25 (8.1%)	23 (7.5%)	3 (1.0%)	9 (2.9%)	5 (1.6%)	1 (0.3%)	5 (1.6%)	15 (4.9%)	2 (0.7%)	41 (13.4%)	3 (1.0%)	0 (0.0%)	8 (2.6%)	4 (1.3%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)
50代	57 (18.9%)	45 (14.9%)	8 (2.6%)	20 (6.6%)	39 (12.9%)	22 (7.3%)	15 (5.0%)	9 (3.0%)	14 (4.6%)	11 (3.6%)	5 (1.7%)	4 (1.3%)	13 (4.3%)	3 (1.0%)	23 (7.6%)	5 (1.7%)	0 (0.0%)	9 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60代	67 (18.9%)	55 (15.5%)	14 (4.0%)	32 (9.0%)	30 (8.5%)	26 (7.3%)	20 (5.6%)	12 (3.4%)	17 (4.8%)	2 (0.6%)	7 (2.0%)	8 (2.3%)	18 (5.1%)	3 (0.8%)	22 (6.2%)	7 (2.0%)	1 (0.3%)	8 (2.3%)	2 (0.6%)	2 (0.6%)	1 (0.3%)
70代以上	62 (20.2%)	40 (13.0%)	8 (2.6%)	30 (9.8%)	33 (10.7%)	13 (4.2%)	16 (5.2%)	7 (2.3%)	13 (4.2%)	6 (2.0%)	7 (2.3%)	11 (3.6%)	12 (3.9%)	2 (0.7%)	26 (8.5%)	5 (1.6%)	0 (0.0%)	7 (2.3%)	3 (1.0%)	0 (0.0%)	6 (2.0%)
無回答	4 (23.5%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

参考2 設問内容

各調査における調査項目と質問内容、選択肢は以下の通りである。

(1) 市民調査

属性1. あなたの年代を教えてください。

20代/30代/40代/50代/60代/70代以上

属性2. あなたの通勤先・通学先等主に滞在している場所を教えてください。

千葉市内/千葉県内(千葉市除く)/東京都/その他

問1. あなたが主に鑑賞するものを選んでください。

音楽(クラシック・ジャズ・ポップス・オペラ・ロックなど) /

美術(絵画・彫刻・工芸・写真・イラスト・CGなど) /

演劇(現代演劇・人形劇・ミュージカルなど) / 文芸(俳句・短歌・小説・詩など) /

舞踊(ストリートダンス・社交ダンス・日本舞踊・バレエなど) / 芸能(落語・漫才など) /

伝統芸能・文化(歌舞伎・能・狂言・詩吟・神楽・囃子三曲など) /

生活文化(茶道・華道・書道など) /

メディア芸術(映画・アニメーション・漫画・

メディアアート(コンピュータや映像を活用したアート) ゲーム(電子機器) など /

歴史・文化財(貝塚・遺跡・歴史的建造物など) / その他/特に興味のあるジャンルはない

問2. あなたが今後鑑賞したいと思うものを選んでください。

音楽(クラシック・ジャズ・ポップス・オペラ・ロックなど) /

美術(絵画・彫刻・工芸・写真・イラスト・CGなど) /

演劇(現代演劇・人形劇・ミュージカルなど) / 文芸(俳句・短歌・小説・詩など) /

舞踊(ストリートダンス・社交ダンス・日本舞踊・バレエなど) / 芸能(落語・漫才など) /

伝統芸能・文化(歌舞伎・能・狂言・詩吟・神楽・囃子三曲など) /

生活文化(茶道・華道・書道など) /

メディア芸術(映画・アニメーション・漫画・

メディアアート(コンピュータや映像を活用したアート) ゲーム(電子機器) など /

歴史・文化財(貝塚・遺跡・歴史的建造物など) / その他/特に興味のあるジャンルはない

問3. あなたが今活動(創作含む)を楽しんでいるものを選んでください。

音楽(クラシック・ジャズ・ポップス・オペラ・ロックなど) /

美術(絵画・彫刻・工芸・写真・イラスト・CGなど) /

演劇(現代演劇・人形劇・ミュージカルなど) / 文芸(俳句・短歌・小説・詩など) /

舞踊(ストリートダンス・社交ダンス・日本舞踊・バレエなど) / 芸能(落語・漫才など) /

伝統芸能・文化(歌舞伎・能・狂言・詩吟・神楽・囃子三曲など) /

生活文化(茶道・華道・書道など) /

メディア芸術(映画・アニメーション・漫画・

メディアアート(コンピュータや映像を活用したアート) ゲーム(電子機器) など /

歴史・文化財（貝塚・遺跡・歴史的建造物など）/その他/特に興味のあるジャンルはない

問 4. あなたが今後活動（創作含む）を楽しんでみたいものを選んでください。

音楽（クラシック・ジャズ・ポップス・オペラ・ロックなど）/

美術（絵画・彫刻・工芸・写真・イラスト・CGなど）/

演劇（現代演劇・人形劇・ミュージカルなど）/文芸（俳句・短歌・小説・詩など）/

舞踊（ストリートダンス・社交ダンス・日本舞踊・バレエなど）/芸能（落語・漫才など）/

伝統芸能・文化（歌舞伎・能・狂言・詩吟・神楽・囃子三曲など）/

生活文化（茶道・華道・書道など）/

メディア芸術（映画・アニメーション・漫画・

メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）ゲーム（電子機器）など/

歴史・文化財（貝塚・遺跡・歴史的建造物など）/その他/特に興味のあるジャンルはない

問 5. 問 3 で(1)～(11)と回答された方に伺います。活動する上で望むことは何ですか。あてはまるものを選んでください。

ホール等大きな発表の場が欲しい/気軽に見てもらえる発表の場が欲しい/

地域ともっと交流したい/同じ趣味を持つ人と交流を図りたい/

違う趣味を持つ人と交流を図りたい/練習・創作をする場を増やしてほしい/

表彰制度が欲しい/活動の広報をしてほしい/身近に教室や講座が欲しい/その他

問 6. あなたは文化芸術に今後どのように取り組んでいきたいですか。

作品を鑑賞したい/文化芸術イベントの運営に関わりたい/

趣味の範囲で活動していきたい（余暇活動）/

専門家のアドバイスを受けながら技術の向上を図りたい/プロのアーティストとして活躍したい

問 7-①. 過去 1 年間で鑑賞・体験したもの

音楽/美術/演劇/文芸/舞踊/芸能/伝統芸能・文化/生活文化/メディア芸術/歴史・文化財/その他

問 7-②. 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験の機会の充足度

充足している/まあまあ充足している/不足している/全く足りない

問 8. 千葉市内で文化芸術の鑑賞・体験をするにあたっての、課題となっているものを教えてください。

鑑賞・体験したいものがない/文化芸術に関する情報を入手しにくい/鑑賞・体験する時間がない/

鑑賞・体験する方法がわからない/一緒に参加する人がいない/料金が低い

問 9. 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験について、今後どのような点に期待しますか。

現地で鑑賞・体験する機会/オンラインで鑑賞・体験する機会/鑑賞・体験する機会の情報発信/

ファンコミュニティ・趣味仲間との交流の場

問 10. あなたがご存じの千葉市の事業・イベント・施設は何ですか。

千の葉の芸術祭/マジカルミライ/チバリアフリーアートプロジェクト/ROAD TO JAPAN JAM/

千葉市新人賞 /ベイサイドジャズ千葉/Cフェス/ワンコインコンサート/

新人賞サポートプログラム/市民芸術祭/千葉市美術館/ちば市民ギャラリー・いなげ/

旧神谷伝兵衛稲毛別荘/千葉市民会館/千葉市文化センター /若葉文化ホール/美浜文化ホール/

特になし/その他

問 11. 千葉市で実施しているチバリアフリーアートプロジェクトは、障害者と健常者が共に参加し楽しめる文化芸術施策の実施を目的として、障害の有無に関わらず様々な方に出演いただく、多角的なイベントですが、今後も、多様な主体（外国人・こども・高齢者・障害者など）が活躍できる多角的なイベントを推進するべきだと思いますか。

はい/いいえ

問 12-①. 市のイベントや施設の情報を得る手段

市政だより/千葉市役所ホームページ/各施設のホームページ/千葉市のSNS/
各施設のSNS/ポスター/チラシ/その他

問 12-②. どのような手段で発信してほしいか

市政だより/千葉市役所ホームページ/各施設のホームページ/千葉市のSNS/
各施設のSNS/ポスター/チラシ/その他

問 13. 今後、文化芸術の振興を図るためには市にゆかりのあるアーティストの活躍を進める必要があると考えていますが、現在千葉市内では、市ゆかりのアーティストの活躍を感じることができますか。

感じられる/やや感じられる/あまり感じられない/感じられない

問 14. 市ゆかりの若手アーティストに期待することは何ですか。

千葉市の知名度向上/活躍した分野の認知度の向上と参加者の増/
市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増/
市ゆかりのアーティストを中心としたコミュニティの形成/その他

問 15. 千葉市で若手アーティストが活躍するためにあなたができることは何ですか。

コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入/SNS等での周知/
アーティストが出演するイベント運営への参加/その他

問 16. 千葉市で若手アーティストが活躍するために市が行うべき支援は何だと思いますか。

生活できるような住環境の提供/創作活動を続けるための金銭的な支援/発表の場の提供/
広報の充実

問 17. 千葉市は「文化的なまち」だと思いますか。

思う/やや思う/あまり思わない/思わない

問 18. あなたは千葉市の文化芸術について、千葉市らしさを感じられますか。

感じられる/やや感じられる/あまり感じられない/感じられない

問 19. 千葉市らしさを発揮するために、文化芸術として広く発信すべきものを3つまで選んでください。

音楽/美術品/写真/演劇/文学/舞踊/伝統芸能・文化/生活文化/歴史・文化財/その他

問 20. 文化芸術が千葉市に対しどのような効果を生み出すことを期待しますか。

千葉市らしさの創出/余暇活動の充実/地域コミュニティの充実/
観光資源として市外からの来訪者

問 21. 千葉市らしさを発揮するために、市内にある加曽利貝塚や亥鼻城跡などの歴史的な文化財等をどのように活用すべきと思いますか。

歴史等を学び、継承していくために活用/地域のコミュニティとしての活用/
観光資源としての活用/ワークショップなどで新たな体験をするために活用/
歴史的に価値あるものを鑑賞したり触れたりする機会を創出するために活用/その他

問 22. 千葉市の文化振興を発展させるために重点的に連携するべき分野を2つまで教えてください。

経済（キャラクター・アニメコラボ、大型音楽フェス支援等） /

歴史（文化財を活用したアートイベント等 /

スポーツ（xゲームス等大型スポーツイベントとの連携等 / 福祉（障害者アート等） /

こども（こども向けワークショップ等） / 自然（公園などを舞台とした外型アートイベント等） /

その他

問 23. 今後、千葉市で文化芸術を振興していくために、特に力を入れてほしいことを3つまで選んでください。

市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実 /

博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催 /

市民の文化芸術活動場所の充実 / 文化芸術に関する情報提供・情報発信 /

市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催 /

施設やイベント等についてのPRの充実 /

観光や教育など、様々な分野に文化芸術を取り入れた取組 /

市民や文化団体、企業等と連携・協力した事業の推進 / 文化財や伝統芸能などの保存・活用 /

新しい文化芸術への取り組み・支援 / それぞれの地域の特徴を踏まえた文化芸術の振興 /

文化芸術による国際交流や他都市との交流 / 若手アーティストや作家の育成支援 /

多くの人と文化芸術体験を語り合う場の支援 / こどもたちの文化芸術体験の充実 /

文化・芸術に携わる人や団体を紹介する仕組みづくり / 文化芸術活動を活性化するための顕彰 /

ICT（オンライン鑑賞など）を活用した、文化芸術の体験機会の増加 / 特になし

（2）文化芸術団体調査

属性 1. 貴団体の活動拠点を教えてください。

中央区 / 花見川区 / 稲毛区 / 若葉区 / 緑区 / 美浜区

属性 2. 貴団体が活動をはじめてからどのくらいになりますか。

2年未満 / 2～5年未満 / 5～10年未満 / 10～15年未満 / 15～25年未満 / 25年以上

属性 3. 貴団体の活動人数の規模をお答えください。

10人未満 / 10人以上～20人未満 / 20人以上～30人未満 / 30人以上～40人未満 / 50人以上

属性 4. 貴団体の主な活動分野を選び、活動内容を具体的にご記入ください。

映画などのメディア芸術 / 絵画・写真などの美術 / 楽器の演奏 / 声楽 /

演劇・バレエ・ミュージカルなどの舞台芸術 / 日舞・フラダンスなどの踊り

問 1. 練習・創作などの活動を行っている主な場所を教えてください。

公民館 / ホール / 文化施設の会議室、スタジオなど / 美術館のギャラリーなど /

コミュニティセンター / 民間のスタジオ

問 2. 練習・創作などの活動を行う頻度を教えてください。

週に3回以上 / 週に1～2回程度 / 月に1～2回程度 / 半年に1～2回程度 /

年に1～2回程度

問 3. 練習・創作などの発表・展示を行っている主な場所を教えてください。

公民館/ホール/文化施設の会議室、スタジオなど/美術館のギャラリーなど/
コミュニティセンター/民間のスタジオ

問 4. 練習・創作などの発表・展示を行う頻度を教えてください。

週に1回程度/月に1回程度/2～3か月に1回程度/半年に1回程度/年に1回程度/その他

問 5. 練習・創作などの文化芸術活動の満足度を教えてください。

とても満足している/満足している/あまり満足していない/不満である

問 6. 活動する上での課題を3つまで選び、課題を具体的に記載してください。

ホールやギャラリーなどの発表・展示の会場が少ない/
発表や展示をする会場施設の使い勝手が悪い/地域との交流が少ない/
施設はあるが、設備が足りない/他の団体との交流が少ない/
稽古場・練習場・創作活動の場が少ない

問 7-①. すでに実施している広報活動

地域（自治会、学校、スーパー等）にチラシ等を配布/市の施設に掲示等/市政だより/
会員の口コミ/ホームページやSNS/その他

問 7-②. 今後行っていきたい、継続していきたい広報手段

地域（自治会、学校、スーパー等）にチラシ等を配布/市の施設に掲示等/市政だより/
会員の口コミ/ホームページやSNS/その他

問 8. 近年、年齢や障害の有無、国籍等に関わらず、多様な主体が文化芸術に参加できることが求められていますが、貴団体で多様な主体を受け入れるための取り組みを行っていますか。現在行っている取り組みや今後行っていく取り組みがあれば具体的に記入ください。

行っている/今後行っていく/行う予定がない

問 9. 発表・展示をする際に、多様な主体が鑑賞しやすいように工夫していることがあるもの全てに、○を付けてください。

子どもや外国人の方が読めるようにひらがなでルビをふっている/
チラシや案内などに外国語でも案内をしている/障害のある方も来場しやすいようにしている/
子連れ、子どもが来場しやすいようにしている/配信でも鑑賞が行えるようにしている/その他

問 10. 千葉市は文化団体の皆様に、より多くの市民がより文化芸術に親しめるような活動を行っていただきたいと考えていますが、団体として、市民参加を活性化する取り組みを行っていますか。行っている、今後行っていく場合、具体例をご記載ください。

行っている/今後行っていく/行う予定がない

問 11. 文化団体の皆様は、文化芸術の活動の普及についてご尽力いただいていると存じておりますが、更なる普及に向けて、次代の文化芸術を担う、子どもや若者が加入するための取り組みや、加入後に若者を育成するための取り組みを行っていますか。行っている、今後行っていく場合、具体的取り組みをご記載ください。

行っている/今後行っていく/行う予定がない

問 12-1. 「アーティストバンク」を知っているか

知っている/知らない

問 12-2. 利用・登録してみたいか

利用のみしてみたい/登録のみしてみたい/利用、登録いずれもしてみたいと思わない

問 13. 千葉市の文化振興を発展させるために重点的に連携するべきと考える分野を2つまで選んでください。

経済（キャラクター・アニメコラボ、大型音楽フェス支援等） /

歴史（文化財を活用したアートイベント等） /

スポーツ（x ゲームス等大型スポーツイベントとの連携等） /福祉（障害者アート等） /

こども（こども向けワークショップ等） /

自然（公園などを舞台とした外型アートイベント等）

問 14. 今後、千葉市で文化芸術を振興していくために、特に必要であると考えられることを3つまで選んでください。

市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実 /

博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催 /

市民の文化芸術活動場所の充実 /文化芸術に関する情報提供・情報発信 /

市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催 /

施設やイベント等についてのPRの充実

問 15. 問 14 を実現するために、貴団体でどのような取り組みが実現できるとお考えですか。実施されていることや、検討されていることがございましたらご記載ください。

（3）若者調査

問 1. あなたの主な趣味を3つまで選んでください。

音楽を聴くこと/音楽を演奏すること（バンド・吹奏楽など） /美術鑑賞 /

美術（絵画・彫刻・工芸など） /イラスト作成・投稿（アナログ・デジタル問わず） /

映画鑑賞/演劇鑑賞/演劇をすること/テレビ鑑賞 /

10分未満の程度の短い動画鑑賞（Tiktok、YouTube short など） /

10分以上の長めの動画鑑賞（YouTube、ニコニコ動画など） /写真撮影 /

踊り（ダンス・日本舞踊など） /カラオケ /読書 /文章創作 /マンガを読むこと /マンガ制作 /

ファッション（制作含む） /アニメ（鑑賞・制作含む） /声優ファン /コスプレ /アイドルファン /

ユーチューバーファン（vtuberなども含む） /ネットサーフィン（Twitter、Instagram含む） /

動画作成・投稿（YouTube、Tiktok など） /その他

問 2. 設問 1 で選んだ3つのうち、一番好きな趣味は何ですか。

音楽を聴くこと/音楽を演奏すること（バンド・吹奏楽など） /美術鑑賞 /

美術（絵画・彫刻・工芸など） /イラスト作成・投稿（アナログ・デジタル問わず） /

映画鑑賞/演劇鑑賞/演劇をすること/テレビ鑑賞 /

10分未満の程度の短い動画鑑賞（Tiktok、YouTube short など） /

10分以上の長めの動画鑑賞（YouTube、ニコニコ動画など） /写真撮影 /

踊り（ダンス・日本舞踊など） /カラオケ /読書 /文章創作 /マンガを読むこと /マンガ制作 /

ファッション（制作含む） /アニメ（鑑賞・制作含む） /声優ファン /コスプレ /アイドルファン /

ユーチューバーファン（vtuberなども含む）/ネットサーフィン（Twitter、Instagram含む）/
動画作成・投稿（YouTube、Tiktokなど）/その他

問 3. 設問 2 で選んだ趣味を行う頻度はどれくらいですか。

毎日/週に 2～3 回/月に 2～3 回/半年に 2～3 回/年に 2～3 回

問 4. 設問 2 で選んだ趣味をだれと楽しんでいますか。

個人で行う（共有しない）/知人や友人と一緒に/ネット上の知り合いと行う/
学校のグループやサークルで行う/地域のグループで行う/その他

問 5. あなたは趣味に関する情報をどこから得ていますか、あてはまる番号欄すべてに○をつけてください。

テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/広告/ロコミ/インターネット/SNS（インスタグラム・Twitter など）/
動画（YouTube・Tiktok など）/その他

問 6-1. あなたは、千葉市内で過去 1 年間に美術館へ行く、コンサートを見に行く、劇を見に行くなど、
文化芸術を鑑賞・体験されたことがありますか。鑑賞・体験されたものの中で、主なものを 3 つ
まで選んでください。また、千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験の機会の満足度を教えてください。

音楽/美術/演劇/舞踊（ダンス）/伝統芸能・文化（能・歌舞伎など）/
生活文化（茶道・生け花など）/メディア芸術（アニメ・マンガなど）/
映画（アニメーションはメディア芸術に含む）/芸能（落語など）/歴史的建造物・遺跡/その他

問 6-2. 満足度について

満足している/まあまあ満足している/不足している/とても不足している

問 7. 市内で文化芸術の鑑賞・体験をするにあたり、課題となっているものを教えてください。

鑑賞・体験したいものがない/文化芸術に関する情報を入手しにくい/鑑賞・体験する時間がない/
鑑賞・体験する方法がわからない/一緒に参加する人がいない/観覧料・参加費が高い/若者・こども
向けの鑑賞・体験機会が少ない/現地鑑賞ではなく、オンラインで鑑賞したい

問 8. 鑑賞・体験について、今後どのような点に期待しますか。

現地で鑑賞・体験する機会/オンラインで鑑賞・体験する機会/鑑賞・体験する機会の情報発信/
ファンコミュニティ・趣味仲間との交流の場/参加費の安い（無料の）鑑賞・体験の機会の増加/
その他

問 9. 文化・芸術の学習について、今後どのような点に期待しますか。

授業中にタブレットなどで、絵画画像などを資料として学習する機会/
オンラインで専門家の講座などを見て学習する機会/
現地に行き、コンサートや展示などを直接鑑賞する機会/専門家の出張講座などを受ける機会/
その他

問 10. あなたがご存じの千葉市の事業・イベント・施設すべてに○をつけてください。

千の葉の芸術祭/マジカルミライ/チバリアフリーアートプロジェクト/ROAD TO JAPAN JAM/
千葉市新人賞 /ベイサイドジャズ千葉/Cフェス/ワンコインコンサート/
新人賞サポートプログラム/市民芸術祭/千葉市美術館/千葉市民ギャラリー・いなげ/
旧神谷伝兵衛稲毛別荘/千葉市民会館/千葉市文化センター/若葉文化ホール/美浜文化ホール/

特に知っているものはない/その他

- 問 11-1. 市のイベントや施設の情報を得る手段として、あてはまるものすべてに○をつけてください。
市政だより/千葉市役所ホームページ/各施設のホームページ/千葉市のSNS/各施設のSNS/
ポスター/チラシ/その他
- 問 11-2. どのような手段で発信して欲しいかを2つまで選んでください。
市政だより/千葉市役所ホームページ/各施設のホームページ/千葉市のSNS/各施設のSNS/
ポスター/チラシ/その他
- 問 12. 今後、文化芸術の振興を図るためには市にゆかりのあるアーティストの活躍を進める必要があると
考えています。現在、千葉市内では、市ゆかりのアーティストの活躍を感じることができますか。
感じられる/やや感じられる/あまり感じられない/感じられない
- 問 13. 市ゆかりの若手アーティストに期待することは何ですか。
千葉市の知名度向上/活躍した分野の認知度の向上と参加者の増/
市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増/
市ゆかりのアーティストを中心としたコミュニティの形成/その他
- 問 14. 千葉市で、市ゆかりの若手アーティストが活躍するためにあなたができることは何ですか。
コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入/SNS等での周知/
アーティストが出演するイベント運営への参加/その他
- 問 15. 千葉市で若手アーティストが活躍するために、市が行うべき支援は何だと思いますか。
生活できるような住環境の提供/創作活動を続けるための金銭的な支援/発表の場の提供/
広報の充実/その他
- 問 16. 千葉市は「文化が活発なまち」だと思いますか。
思う/やや思う/あまり思わない/思わない
- 問 17. あなたは千葉市の文化芸術について、千葉市らしさを感じられますか。
感じられる/やや感じられる/あまり感じられない/感じられない
- 問 18. 千葉市らしさを発揮するために、文化芸術として広く発信すべきものを3つまで選んでください。
音楽/美術品/写真/演劇/文学/舞踊（ダンス等）/伝統芸能（歌舞伎など）/
メディア芸術（アニメーション含む）/生活文化（茶道・華道・書道など）/映画/
歴史的建造物・遺跡/マンガ/古典（南総里見八犬伝など）/その他
- 問 19. 文化芸術が千葉市に対しどのような効果を生み出すことを期待しますか。
千葉市らしさの創出/余暇活動の充実/地域コミュニティの充実/
観光資源として市外からの来訪者増/その他
- 問 20. 千葉市の文化振興を活発化させるために重点的に連携すべき分野を2つまで選んでください。
経済（キャラクター・アニメコラボ、大型音楽フェス支援等）/
歴史（文化財を活用したアートイベント等）/
スポーツ（xゲームス等大型スポーツイベントとの連携等）/福祉（障害者アート等）/
こども（こども向けワークショップ等）/自然（公園などを舞台とした外型アートイベント等）/
その他

問 21. 今後、千葉市で文化芸術を活発化させていくために、特に力を入れてほしいことを2つまで選んでください。

市民が気軽に文化芸術に親しむイベントの充実/市民同士の文化芸術による交流の場の充実/
文化芸術に関する情報提供・情報発信/市内外から多くの人を訪れる大規模文化的行事の開催/
経済分野など他の分野や、企業・市民団体等と文化芸術の連携/
文化財や伝統芸能などの保存・活用/千葉市ゆかりの文化芸術の振興/
文化芸術による国際交流や他都市との交流 若手アーティストや作家の育成支援/
文化芸術活動を活性化するための表彰/特にない/その他

(4) アーティスト調査

属性 1. 活動拠点を教えてください。

千葉市内/千葉市外

属性 2. あなたの主な活動分野を選び、活動内容を具体的に記載ください。

映画などのメディア芸術/絵画・写真などの美術/楽器の演奏/
演劇・バレエ・ミュージカルなどの舞台芸術/その他

問 1. 千葉市は「文化的なまち」だと思いますか。併せて理由もお聞かせください。

思う/やや思う/あまり思わない/思わない

問 2. 千葉市はアーティストが活動しやすいまちだと思いますか。併せて理由もお聞かせください。

思う/やや思う/あまり思わない/思わない

問 3. 千葉市のアーティスト支援は十分に行われていると思いますか。

思う/やや思う/あまり思わない/思わない

問 4. 市に行ってほしいアーティストへの支援は何ですか。

練習・創作場所の提供/発表・展示場所の提供/活動費の補助/住む場所の補助・提供/
アーティスト同士の交流が図れる場所の提供

問 5-1. 千葉市を拠点にしている最も大きな理由を教えてください。

問 5-2. 千葉市を拠点にされていない最も大きな理由を教えてください。

問 6. 市民からどんな支援を希望しますか。

コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入/SNS等での周知/
アーティストが出演するイベント運営への参加/その他

問 7. 後進の育成として、千葉市の次世代アーティスト支援・育成のためにあなたができることはなんですか。

問 8. 文化芸術が千葉市に対しどのような効果を生み出すことを期待しますか。

千葉市らしさの創出/余暇活動の充実/地域コミュニティの充実/
観光資源として市外からの来訪者増/その他

問 9. 千葉市では、千葉市で活躍するアーティストとアーティストの公園などを希望する団体とをつなぐ「アーティストバンク」という制度がありますが、より支援を強化するために、どのような機能があると望ましいですか。

アーティストと主催者（団体・市等）とのマッチング/

アーティストバンクの主催者に対する補助/市認定アーティストへの認定制度の創設/
アーティストPRに特化したwebサイトの構築

問 10. 千葉市の文化芸術振興を活発化させるために重点的に連携すべき分野を2つまで教えてください。

経済/歴史/スポーツ/福祉/こども/自然/その他

問 11. 今後、千葉市で文化芸術を活発化させていくために、特に力を入れてほしいことを3つまで選んでください。

市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実/
博物館や美術館、音楽ホールなど、それぞれの特色を生かした質の高い事業の開催/
市民の文化芸術活動場所の充実/文化芸術に関する情報提供・情報発信/
市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催/
施設やイベント等についてのPRの充実/
観光や教育など、様々な分野に文化芸術を取り入れた取組/
市民や文化団体、企業等と連携・協力した事業の推進/
新しい文化芸術への取組み・支援/それぞれの地域の特徴を踏まえた文化芸術の振興/
文化芸術による国際交流や他都市との交流/若手アーティストや作家の育成支援/
こどもたちの文化芸術体験の充実/その他